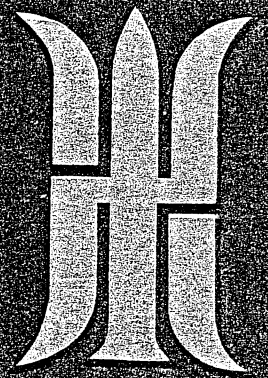


水泳

1951



日本水泳連盟機関雑誌

91

水 泳

昭和26年・第91號

● 目 次 ●

オリンピックをめざして	會 長 田 畑 政 治	(2)
女子競泳とオリンピック	杉 本 傳	(4)
ヘルシンキをめざす飛込選手諸君に	原 秀 夫	(5)
シーズン始のトレーニングに就いて	遊 佐 正 憲	(6)
アジア大會土産話	松 澤 一 鶴	(7)
アジア大會水上競技記録		(15)
早慶・三大學水上競技觀戰記	宍 道 洋 一	(16)
選手のコンディションを知る筋肉診断法	紺 野 義 雄	(21)
あこがれのハワイ行き	上 野 徳 太 郎	(24)
和田氏夫妻來朝		(25)
オリンピック競泳選手強化合宿練習會 (冬季・春季)		(26)
水球春季合同練習記	名 取 正 也	(28)
飛込合同練習記	川 島 正 之	(30)
水球新規則解説	水 球 委 員 會	(31)
水泳指導者檢定委員協議會	多 治 見 義 長	(32)
海外ニュース	辻 富 士 夫	(34)
プ ール 公 認		(42)
東京各大學新人と卒業生の動向	島 田 桃 一 郎	(42)
各地競技會記録		(44)
昭和年26度主要水上競技會要項		(45)
夏季男子高校・中學校競泳選手合宿練習會要項		(51)
連盟日誌・あとがき		(52)

昭和26年度主要競技日程

月 日	競 技 会 名	場 所 プ ー ル
6月4日	第23回早慶対抗水上競技大会	(東京都・神宮)
6月11日	第16回立・日・明三大学対抗水上競技大会	(東京都・神宮)
6月23日～7月8日	関東学生春季水球リーグ戦	(東京都 東伏見及慶大)
8月4・5日	第2回全国勤労者水上競技大会	(長野県・野沢)
8月10・11・12日	日本選手権水上競技大会	(大阪市・扇町)
8月18・19日	東部高等学校水上競技大会	(未 定)
〃	西部高等学校水上競技大会	(奈良県・天理)
8月下旬	第19回日本高等学校選手権水上競技大会 (東西対抗)	(東京都・神宮)
9月8・9日	第24回関東学生選手権水上競技大会	(東京都・未定)
9月14・15・16日	第27回日本学生選手権水上競技大会	(東京都・神宮)
9月21～24日	第6回国民体育大会水上競技大会	(広島県・呉)

競泳 全国男子高校府県対抗・全国実業団府県対抗

全国教員府県対抗・全国青年団府県対抗

社会人，学生，高校3部対抗・全国女子府県対抗

飛込 男女三地域対抗・社会人，学生，高校3部対抗

水球 学生，OB対抗・全東西対抗

9月29日・30日………関東学生秋季水球リーグ戦………(東京都・未定)

オリンピックをめぐって

會長 田畑 政治

現在の日本の選手——これは水泳選手のみではなくすべての運動選手でオリンピックを直接に経験したものは1人もいない。どの競技団体もオリンピックに優勝するとか優勝をねらうというようなことを口にしてはいるけれども、それがどのくらいむづかしいことであるかということは知らないで言っているように思われる。とに角水泳とか陸上にとつて4年に1度のオリンピックは世界選手権であるが、この4年に1度のチャンスに際して、自分のトップフォームを持つて行くことは非常に難しいことであり運が伴うということを考えていないといけない。だから非常に強い選手でも4年に1回の機会にめぐり會はなければ遂にワールドチャンピオンたるの榮譽を得られないことになる。この意味でもオリンピックに出場し得るといふことは陸上とか水泳の選手にとつては非常な幸運であり榮譽である。

オリンピックで水泳の行われる時期であるが、前のロンドンオリンピック大會は例外である時は水泳が陸上競技と平行してオリンピック競技期間の前半に行われたけれども、今度のヘルシンキは昔からの傳統に従つて前半に陸上をやり後半に水泳をやるといふことになつてゐる。陸上が始つて1週間の間は水泳競技は行われないので、それだけ陸上競技より練習期間が長いから有利だといふふうに考えることは非常に大きな間違である。水泳の選手は普通の神經ではオリンピックの雰囲気には壓倒されこの1週間の中に精神的に參つてしまふといふのが通例である。従つて水泳選手は自分たちの試合の始まる前の1週間にオリンピックの雰囲気には壓倒されずに、自分の力に對する自信をつけることが絶対に必要だと思ふ、この競技の始まる前の1週間がどれほど苦しいものかといふことは體驗した者でないといふことが出来ないがこれは重要な問題で、この点は充分頭に入れておくことが必要である。今一つはオリンピックの水泳競技の最初の決勝には自由形100米が行われる。そして100米の勝敗が水泳全体の勝敗を支配することは過去の例において明らかなことだ。

ロサンゼルスオリンピックにおいて水泳が壓倒的な優勝を遂げたこと、これは100米で宮崎が優勝し河石が2等、高橋が5等になるという壓倒的な勝利を得たということから日本チームの全員の氣持を非常に昂揚させて、ああいうふうな成功を収める結果となつたのである。100米に勝つということが一番重大な問題である。従つてこのレースに出る選手の責任は非常に重く、日本水連としてはこの100米に優秀な選手をどうしても養成しなければならない、と同時に100米に出場する選手諸君は自分の責任の大きいことを今のうちから自覺して精進しなければいけない。100米に優勝するかしないかということがひいては日本の水泳がオリンピックに勝つか負けるかといふことの重大な分岐點だといつても過言ではないと思ふ。ベルリン大會の時には遊佐、新井、田口といふ、世界にかつてないようなすばぬけた3人の短距離選手を揃えながら遂に100の優勝を逸し去つたため、あとあれほどの苦戦に追い込まれたといふことを現在の選手諸君は頭に入れて置くことが必要である。

結局100米に勝つといふことは800リレーに勝つといふことにもなる。その意味において短距離選手の養成が目下一番の急務である。この点日本の現在の水泳界が最も重要な100において弱点があることが非常に心配だ。しかしこれはこの春日大に入つた鈴木とか、早稲田に入つた谷とか、日大の谷川というような新人諸君に期待するよりほかないと考えられるから之等新進選手の奮起を要望せざるを得ない。

それからプレストストロークであるがこれは日本の水泳とすればアムステルダム以來ずつと優勝した傳統の御家藝であるだけに今度もどんなことをしても連続して優勝しなければならないが、バタフライには若い選手が澤山いるので大いに期待している。この選手たちは是非共日本の平泳の傳統を守るように一生懸命練習して腕を磨いてもらわなければならない。

1500米——これもアムステルダムの時には負けた

けれどもロサンゼルスでもベルリンでも優勝している。去年の日米對抗ではじめて負けたが、来るべきヘルシンキ大会では**是が非でも優勝**して日本の長距離の傳統を守つてもらわなければならない。これもやはりもう學校を卒業した古橋たちでなく、田中とか北村・田造・川畑といったような新人が古橋をたのますに、自分らの力で勝つという意気込みを持って精進することが**是非共必要**だ。こういつても古橋がこの夏から1500を捨ててよいという意味ではない。古橋がもう今年から自分はオリンピックでは400へ廻るのだということで1500を捨ててしまつて短い方へ廻るということになれば400をさへ失うおそれが充分ある。だからぜひ古橋は1500においても充分泳いでこの夏の選手権大会では1500も優勝するという事をめざしてもらいたい。それが結局オリンピックにおいて今まで日本が1度も優勝し得なかつた400という種目に初めて勝つという成算を得ることだと確信する。古橋は來年のヘルシンキオリンピックにおいては少くとも400には必ず優勝するということと800リレーのアンカーとなり800リレーを優勝に導くということは絶対に自分の責任であるという覺悟でやつてもらいたい。しかしくりかえして言うがそのため今年から1500を捨てるということになつたら自分の一番の目標の400と800リレーを捨てる結果になるから現在學校を卒業して非常に條件は悪いのではあるが**古橋の更に一段の奮起**を要望しなくてはならない。

バックストローク——これは弱い弱いといわれながらこれまで割合に運のよい種目でロサンゼルスでは1等から3等まで取つた、今度も案外新人の間に体の良い選手が揃つているところから見て今度のヘルシンキ大会では優勝のチャンスなきにしもあらずと思われる。是非とも優秀な若い選手が力をのばし充分期待のもてる3名が代表選手となることを期待したい。こうして見ると日本の水泳は1500メートル400メートル100メートルフリー、ブレスト、バック、リレーまで、すべて優勝の可能性はあるけれども、同時にアメリカが非常に強くアメリカも優勝の可能性を持つてゐると見なければならぬ。

ヘルシンキ大会は紙一重の一戦だから氣持ちをゆるめた方が負けである。今年1年間の練習方法、あるいは練習量とか練習に對する熱意というものでどちらが勝つかということが決まるのであつて、今のうちただ勝つ可能性が多いということで氣持を

ゆるめるようなことがあつたらとんでもないことになる。

こと水泳に關する限り日本が勝つか、アメリカが勝つかという一点に歸しているのだから、少しでも日本の水泳選手が氣をゆるめたらすべての種目を失うことになる、このことを充分念頭に入れて置く必要があると思う。

もう一つ選手諸君は**自分の全力をオリンピック**の時に出し得る——自分の力さえ出せば優勝するといふところまで持つて行くということが一番必要なことである。少しでも僥倖を頼みにするという考えは捨て去らなければならない。しかし自分の力をオリンピックにおいて出し切れるということは非常な幸運であることも念頭において自重しなければならない。僥倖を頼まずとも自分の力をオリンピックの時に出し切るという幸運をつかむことには非常な注意深い節制と精進が必要である。その点を充分氣をつけてもらわなければならぬと思う。

最後に今度のヘルシンキは氣候の点では陸上競技などには好適だが水泳に關する限り、オリンピックのプールは22.3度まで温めるけれども練習プールは非常に冷い。ヘルシンキは今までかつてないほど悪い條件で戦わねばならぬことも充分考慮しないと大きい失敗を來すおそれがある。

水泳連盟としてはまづ男子競泳全種目優勝を目指し、その完成後、女子競泳、男女飛込、ウォーターポロの發展に努力しようというふうに今までは考えていたが、今度この方針を更に一步進めて男子競泳は勿論勝たねばならないけれども、女子の競泳、男女飛込も是非少くとも6等までには入る可能性のある人は出場させて、これ等の種目の向上發展に只今より努力することになつた。女子競泳の400メートルリレーは充分入賞の可能性がある。世界のレベルより劣つているといわれる200ブレストも今年から明年にかけての努力いかんによつては第2の前畑が出る可能性は充分ある。水泳連盟は女子の方にも力を入れてゐることを考えに入れて努力を盡してもらいたい。飛込も高飛込は入賞の見込みがあるのだから頑張つてもらわなければならない。

以上私はオリンピックを明年にひかえて選手諸君に期待したいことがらをいろいろのべたのであるが男子競泳の壓倒的な優勝をはじめとして吾々のかかげる目標は今後の**選手諸君の不斷の努力**によつて必ずや實現するものと確信してゐる。(談)

女子水泳とオリンピック

杉 本 傳

來年のヘルシンキのオリンピック大會には日本の水泳が世界各國に伍して覇を争うのであるが女子水泳の方は男子のやうに覇を争へない。で闘うと云う所まで持つて行きたいものだが……私の闘うというのは決勝に残る事を意味するので、豫選でふるい落とされるのは世界の水泳界から存在を認められないと云うことなんで、本當は日本代表なんて云えたものでないから、そんなものは遠慮して貰いたいと思う。女子水泳がオリンピックに出場した第1回は第10回オリンピック(昭和7年ロサンゼルス)で、此のときは前畑がブレストで2位、400リレーが4位飛込では鎌倉が飛板で6位に入つてゐるから男子チームが初めて第8回のパリであつたオリンピック當時よりも好成绩で第2回目のベルリンの際は前畑がオリンピックで日本の女子として初の優勝で偉い氣を吐いた。これは男子が第2回目にアムステルダムの第9回オリンピックで我が鶴田選手が200米平泳に初の優勝で我々を喜ばせて呉れたのに匹敵する。男子の3回目はロサンゼルスで此所では壓倒的な優勝で世界水泳界を驚かせた。處が女子の方はその3回目ヘルシンキと來てゐる「水泳」誌をよむ位の人には誰れでも御承知の通り昨年の日本記録を3年前のロンドンのオリンピック記録と對比するなら誰が決勝に残ると思われませんか、ベルリンから後戦争で女子は余り戦死した人も少ないやうであるのに男子に比べてこれは又何んと云う低調なんでしようか、

昭和18年から田舎に引込んで百姓の眞似見たいな生活をして居まして水泳は余り覗きませんでした。が今回計らずも再び出しやばりまして女の子達を少しばかり視て居りますが仲々以前の時代のやうな氣ではやつて行かれませんか。非常な張切方で練習を續けなければ今夏の第1豫選でこれならと云う見通しがつかないでせう。世間の人々や選手を持つ学校や父兄先輩達は「オリンピックへ行けたら良いじゃないか、出られたらよいよ」と云うやうな安易な氣持で居るらしいです。而して出られたら勝てるだろう相當戦えるだろうなどと考へて居るのではないでしよ

か、オリンピックへ行つたことのない人々は斯ように考へるかも知れません。若し此のやうな考へで選手になつて行つたとしたら斯ような選手は私は可愛想でなりません。

オランダとデンマークが10數年前から女子水泳で世界的に擡頭して來ましたが日本に較べて緯度は高く、氣温は低く、面積も人口も九州位という水泳には惡條件の國が米國と覇を争うやうになつた原因はその國民に生活上の余裕があり日本の女より長い間(年令の上で)泳ぐ機會を持つ事、室内プールが發達してゐる事、非常に熱心な指導者が居る事等がそれであると思ひます。日本も戦前より戦後の方がプール(屋外)が増し、女學校が高等學校になつたので一年だけは皆長く泳げるやうになりベストテンも前よりずつと上つて來てゐる事は確かであるから今に傑出したものが現われる事は確かであるが、今の所そんなものは折悪くも居ないので困りものだ。オランダやデンマークのやうな状態にならなくても近い中には男子の位置と同様な時代が出現出来るやうに思ふが、此れには日本各地に居られる女子水泳の指導者各位の絶大なる協力を頼むして初めて成し得るものと確信する。何故ならば、日本女性はオリンピックでは勝てないかという否、既に前例として前畑が立派に立證して居ると答へることが出来るからである。

今まで女子は目標が無かつた。有つても國內だけの小さな範圍であつた。オリンピックへも行けないものと思つて居た所が水連の方針も確定して闘えるものは連れて行かうという事になつた。本夏には米國から女流選手を迎へねばならない。ただ迎へるだけでは濟まない。此れと闘つて勝たねばならない。女の子は男の子の割合に吞氣らしい。何クソ已れが勝つてやる、そう云う氣で練習するのではなく指導者にもたれるやうなふうがあるやうに思われる。そこで指導者達に御注意したい。今夏闘える所までいや勝てなかつたならその責任の大部分は其の泳手を持つ指導者にあるものと思つて下さい。

ヘルシンキをめざす飛込選手諸君に!!

原 秀 夫

来るべき来年七月のヘルシンキ大会飛込競技を豫想して、之に出場する飛込選手としての最も大きな要素は、先ず何と云つても「寒くても平気で自分の飛込の出来る選手」だと思ふ。伯林大会の時でも可成り寒かつた。曇つた日などは各國から集つた文字通り數十人の選手の中に混つて、10分に1回位しか廻つて來ない練習の「番」を待ちながら、寒さで硬直して來る筋肉を夢中になつて按んだり摩つたりしながら苦闘した事は、當時の日本飛込選手が、今でも判明り覺えてゐる事と思ふ。それが今度は更に當時の寒さに倍加(?)したコンディションに立ち向ふのだとすれば、余程此の點を準備して萬全を期さないといふ、假令行つても充分闘へない結果になる。

最も極端な場合を豫想すれば、雨でも降つて温度が急に下降した日に競技が行はれたならば、世界一の米國選手の中でも、寒さに非常に弱い選手だつたら10-12種目位で筋肉が硬直ケイレンして、思はぬ大失敗をし大番狂はせが生れる可能性さへも想像出來得る。従つて來年のオリンピックを目指して精進してゐる男女飛込選手は、この際技術の猛練習もさる事ながら、それにも増して寒さに對する抵抗力をつける事を特に怠らずにして欲しい。この事を更に具体的に云へば伯林大会の男子の柴原、女の大澤の兩選手は當時19度位の水温で150-200回、時間にして4-6時間の練習に充分耐えた人達であつた。だから今度選ばれて行かうとする選手ならば先ず最低當時の兩選手位の体力を造つて、更に其の上に最近の複雑な飛込技術を身につける事が、絶対に必要だと云ふ事になる。

斯様な點を考慮して、練習日程・練習方法を造つて見ると、次の様な私案が浮んで來る。

◆ 練習日程

起床— 6.30 朝食前体操—15~20分
朝食— 7.30
練習— 9.00~11.00 (2時間)
晝食—12.00
休憩—12.30~15.30 (晝寝等)

練習—16.00~18.00 (2時間)

夕食—19.00

就寝—21.00

勿論學生選手ならば學校に行かねばならず、社會人ならば会社に勤務する事が必要だろう。毎日これをやる事は特別の合宿の時を除いては不可能に近いだが會社の休みの日にはこの日程通り出来る筈だし少くとも起床から朝食迄及午後及夜の練習日程は明日から來年六月最終豫選の日迄本人の覺悟次第で1日も缺かさず實行出来る筈である。

◆ 練習方法

① 朝食前の体操

水泳補助運動を軽く然し丁寧に確實にやる。

② 午前の練習 2時間

軽い豫備体操 10分位、水泳 200米、競技種目を各1種目宛一廻し(飛板 高飛込兩方の選手は兩種目共)一般練習1時間、水泳200~400米。

③ 午後の練習 2時間

軽い豫備体操 10分位、水泳 200米、競技種目を各種目宛一廻し(午前と同様)特別練習1時間 水泳 200~400米

右の練習方法の中で特に今迄と異つた點と思はれるのは先ず泳ぐ量の非常に多い事である。之は色々の議論もあると思はれるが(改めてこの點だけについても書いて見たい)是非實行した方が良いと信じてゐる。次に午前午後共必ず競技種目を全部一回宛廻すことである。之は選手によつては實に苦しい事だと思ふが、之を實行する事によつて競技當日に於ける落着が出来る事と、飛込は1回限りだといふ感覺に基いて、その1回に全力を傾ける習慣をつける意味で競技に強くなろうとする選手にとつては絶対に必要な事と思ふ。

第(三)に、午前の(四)一般的練習と午後の(四)特別練習であるが、これは私の考へでは午前は種目全般に亘つて平均した練習をやり、午後は其の選手の特に弱點、缺點と思はれるものだけに力を集中して練習するのが良いと思ふのである。練習と云ふ

とどの選手に對しても同様で 良いと云ふ事はあり得ない。従つてこの日程、方法が練習の全部でない事勿論である。

だから選手諸君はこの最低線を実行して、更に夫々工夫を凝した「アルファ」を加へ、益々張切つて練習して呉れる事を期待する。既に「ヘルシンキ」に向つて矢は弦を離れている。オリンピック第1次豫選最終豫選と次々に試練の時が近づきつつある。

早大庭球部の大先輩福田雅之助氏の言を拜借すれば

☆

この一飛は絶対無二の一飛なり

されば身心を擧げて飛ぶべきなり

この一飛に技を磨き体力を鍛へ 精神力を養ふべきなり

この一飛に今の自己を發揮すべし

これを飛込する心と云ふ。

☆

ヘルシンキを目指す男女飛込選手諸君 大いに頑張つて下さい。 以上

シーズン始のトレーニングに就て

遊 佐 正 憲

水溫みシーズンを迎えると多くの選手諸君は冬期に於て体操 その他のスポーツによつて鍛えた筋肉を實際に水中に於て動かすことになる。又實際全ての選手諸君はそうありたいものである。6月近くともなれば冬期の時の様には体操その他の運動にそう長時間を費す事は出来なくなる。午前午後の練習に忙殺され、しかも十分なる休養も取らねばならぬ。

起床後と練習前の10分間程度のものになつてしまふでしょう。この時の体操は十分筋を伸ばし關節を柔かにする程度で十分である。

この筋を伸ばし關節を柔軟にすることも並大抵の事ではない。多くの選手諸君の体操を見て居ると形式的に過ぎる様に思へる。

硬い關節、縮んだ筋肉で記録の向上を見ようとする事事態が無理であり矛盾である。

最初水に這入つた時は体が沈んで搔く腕にも力が這入らない。この時期に無理をする事は避けるべきである。

昨年の好調子の泳ぎを思ひ浮かべ乍らゆつくり泳ぐ事が大切である。

大体4.5日程度で沈みがちな体も浮いて来る様になる。

練習始めの時は出来るだけ長距離を泳ぐべきである。この泳ぎ方も2,000米泳ぐ場合400米程度を數回に分けて泳ぐ様な方法がよいと考へる。

身体が浮き始めれば800米とか1,000米の長距離

を一氣に泳ぐ事も結構である。

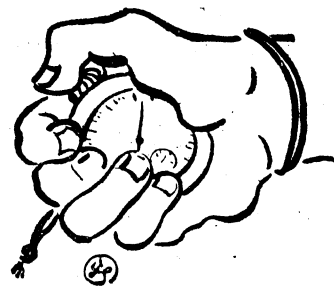
練習開始2週間—3週間程度過てば、ぼつぼつスタートダッシュも結構である。

身体が水に馴れる迄は急ピッチの泳ぎは避けるべきである。

バタ足の練習は出来るだけ長時間(10分間20分間)を練習する方が短時間を數回行なふより効果的である。要するに練習始めの時期に於ては全てに無理をしない事である。

その意味に於ても1,000米ロングの時でも身が浮き水のキャッチも思ふ様に氣持よくキャッチ出来る時は徐々にピッチを上げ、フォームが崩れる様なればピッチを落して疲勞の回復をまつ、この様な方法で1,000米に於て6,7回も繰返せば比較的早く調子が出る。この場合でも急にピッチを上げる事は感心出来ない。やはり徐々に上げて行くべきである。

焦らず徐々に確實に泳ぎ込んで行く事が一番大切なことである。



アジア大会土産話



第1回アジア競技大会開会式： 3月4日ニューデリー競技場、日本チーム秩父宮御下賜旗を下げ、大統領に敬禮する。すぐ後を續行するネパールは日本に好意をもち、日本チームと同じに行動すると稱して日本チームの終りに、國名をもつたものが接して歩いて居る。

アジア大会の由来

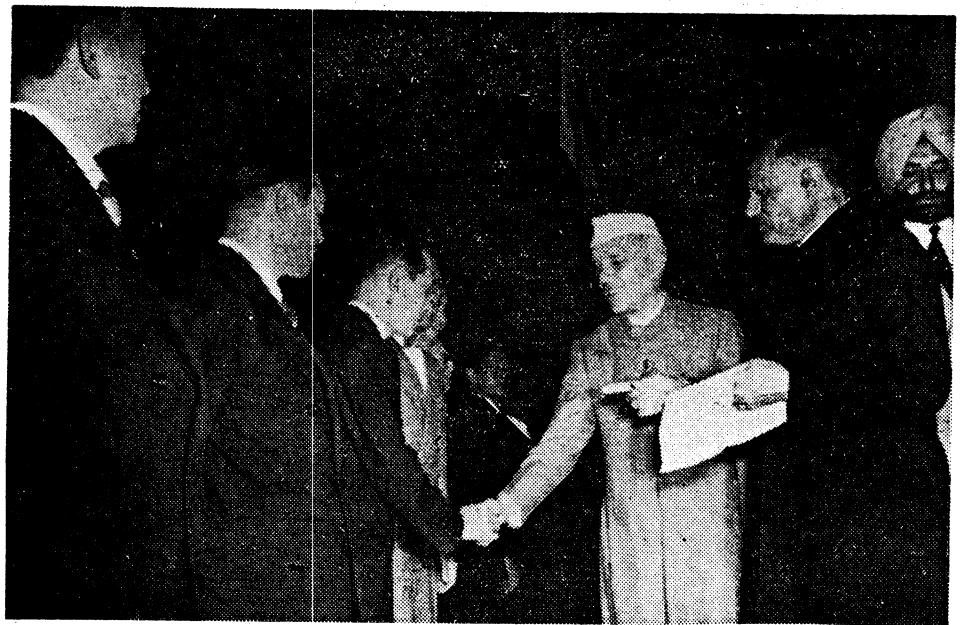
アジア大会についての報告を特に水泳中心でまとめてみたいと思います。今度行きましたのは私はアジア競技連盟の評議員という資格でありましたし水泳の方は責任もなく簡単にすませるつもりでおりましたところが、行ってみると水泳の方はまるつきり手薄で、その方の手傳いまでさせられて、両方へ力を注がなければならず意外に忙しい思いをして参りました。従つて両方のことについて簡単に述べさせてもらいたいと思います。アジア大会の由来を聞いてみますと面白いところがありますので御報告しておきたいと思います。それは御承知の様に極東選手権大会が日本とフィリピンと中国の間で行われておつた、それにインドの選手を招聘した事もありましたがインドとしてはそれによつて非常に刺戟を與えられたようでしたけれども、とても極東大会の地域まで参加することは距離の點で大變だといふので、1932年ごろにウエスタン・エーシアテイツク・ゲームスといふもの即、西域アジア大会を組織することを考えました。それはスエズ以東、シンガポール以西の地域のアジア競技で1934年にニューデリーで行うことは行つたのですが、主として陸上競技が中心で

當時はパレスタイン、アフガニスタン・セイロン、イラン、インドの5ヶ國で競技を行つた。後からその當時の蘭領東インドも加わるということになつたのですが、この競技はその後第2回目をパレスタインでやることになつて、1938年が豫定されておつたのですが、到頭國際的な情勢で、東京のオリンピック同様にこれが出来なくなつた。従つて東洋地域としては極東大会も西部アジア大会も両方なくなつたので、そこでインドの當事者は新しいもの一つ持ちたい、というようなことで考えておつたようですが、1947年のはじめごろから計画を立てて、インドのN.O.Cであるオリンピック・アソシエーションの承認をとるにはとつたが、インドのオリンピック・アソシエーションでは積極的には動かなくて結局綜合競技としては開催不能となり陸上競技中心の大会をやらざるを得なくなつた。その爲1948年に入つて具体化して、ロンドン・オリンピック大会の機会に漸く東洋各國と會談して方針が出来あがつたという様な譯で、その時以來準備をして1949年2月に9ヶ國が集つて、アジア競技連盟の結成を行つたというような次第ださうです。ただし、その時にアフガニスタン、ビルマ、インド、パキスタン、フィリピンの5ヶ國は正式の全權が來まして、正式に

署名して、これらがオリジナルメンバーということになつて、その他の國が後から加盟する形になつたそうです。ところがパキスタンが遠慮してしまつたので、現在ではオリジナルメンバーは4ヶ國で、その後今度の大會までに段々各國が加わつて來たという譯であります。その間日本の参加が受け付けられたのです。所が會議の席でフィリッピンが「講和まで日本を参加せしめたくない」という反對をしたのですが、一方ではその他の國の評議員から「講和の有無に拘らず、日本を参加させようと思えば、この會の権限で出来るのではないか」というような意見も出たとのこと。結局IOCの方からの「日本の競技で國際スポーツ・フェデレーションに復歸を認められたものは参加出来る」という条件にかなつてゐるものだけを認めようということになつて、その線で参加が許可された。議事録をよく読んでみると正式の意味のフルメンバーシップをとつていなかった譯です。それが今回の評議員會におきましては、日本が大デレゲーションを連れて來たというばかりでなしに、色々な意味で立派な行動をしたということが高く買われまして、非常な尊敬を勝ち得て、従つて評議員會その他の空氣なども非常によくなりました。今度の評議員會の決議中に、日本がフルメンバーシップを興えられたということと、その他の役員改選ということが一番重要な問題でした。たゞし一番時間をとつたのは随分くだらないこと——モットーに英語を使う、使わないという問題などにとらわれてしまつて、妙なところで時間をつぶして終いました。尙開催地につきましては第1回がインドで行われ第2回が1954年にフィリッピンで開催される。本来1950年11月にこの大會が開催される豫定だつたものが延期されて51年になつたのですが、この延期は臨時のもので決して將來の例としない。従つてアジア大會はオリンピックの中間年において行われるという原則は、どこまでも、保たれるという事で、すでに認められているマニラ大會が54年に

行われることは、再確認したのであつて、特に今度の評議員會できまつた譯ではない。たゞ日本が第3回を申出ておりますが、正式に東京へアジア大會を招請することは、形式の上では第3回に對しては日本だけしか申込んでおらぬのですが、色々他の國との關係があるし、今申上げたように、アジア大會を結成する時のオリジナル・メンバーというような格付け問題がありまして、なかなか日本へそのまゝ容易に來るとは考えられないのですが、有力な申出でとして扱われております。しかし現在迄はまだ議決になつておりません。

評議員會方面のことはその程度ですが、たゞアジア大會の憲法の上で、陸上競技と水泳とそれから藝術競技、これだけが必須の種目としてどの國が大會を開きましても採決しなければならぬ種目で、他のスポーツ競技はアマチュア競技であるならば、参加した4ヶ國の承認があれば原則としてどれを加えてもよいということになつております。その意味で今後は日本の水泳としてアジア大會を無視しない方がよいと思います。大會期間中フィリッピンのイラン博士と話をした所によると、今次の大會はやはり前例にならつて、フィリッピンとしては5月ごろにやりたいということでありました。嘗ての極東大會と同じような条件で参加出来ると思いますから1954年のためにわれわれ水泳の團體も準備したいと思うのであります。



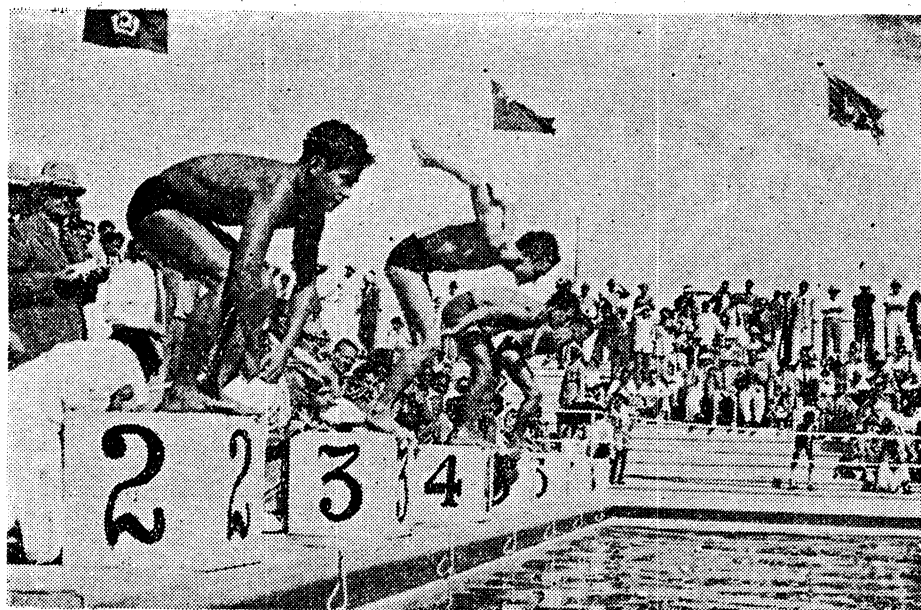
3月2日 スタジアムで各國評議員に握手する印度首相ネル氏。
左より松澤一鶴氏・松本龍藏氏・淺野均一氏・ネル首相・ソンデイ氏
(大會組織委員長) パチアラ侯 (アジア競技聯盟會長)

アジア競技大會の施設

今回行われましたのは陸上競技、自轉車競技、サッカー、バスケットボール、重量挙げ、それに水泳と藝術競技が行われておりました。そのうち主競技場では陸上競技、自轉車、サッカーが行われバスケットボールも主競技場のフィールドの隅に設けられましたアウトドアのクレイ・コートで行われました。重量挙げは競技場の入口にありますテント張りの小屋掛けで行いました。水泳は競技場の東に隣接した地區に50メートルと18メートルのプールが新設され、そこで行われました。大体陸上競技場の方は今年の1月に完成したのですが、それも本来ならば1950年に完成すべきものが遅れて1951年に完成した爲に大會そのものが延期されたというような始末で、水泳に至つては、われわれのチームがニューデリーに到着しました時にはまだ工事をやつておきまして、飛込塔も全然組立てられていないという極めて緩慢な準備ぶりでありました。施設全般にわたりまして、比較的よくはやつてはいるのですが、何しろ準備がとても遅いのです。例えば陸上のハードルの如きも、日本選手が行つて練習する時には木で作りましたハードルがあるので、コーチ諸君がびつくりして木のハードルに対する注意を興えていると、競技前日イギリスから立派な金屬製のハードルがつくという始末でことごとく時間眞實でない間に合わないのです。眞際になつても間に合えばまだいい方で、水泳プログラムの如きは、大會の前半期間に行う豫定だつたのですが、施設が間に合わないのでもうやく競泳だけをはじめに行いまして、中に2日間休みをおいて最終の2日目に飛込み、水球を行う開會式が始つてからの1週間によく飛込み塔、水泳施設をこしらえあげて間に合わすという騒ぎで國際規定による競技會の前の練習もへつたくれもない。そういう點は中國以上の漫々のあきれた譯であります。水の濾過設備の如きは2日目か3日目によく運轉を開始したり、水泳の脱衣室はとうとう競技終了まで使えなかつたというような、實にのんびりしたものであります。しかしプールの構造はコンクリート造りでなかなかモダンな設計で、細かいことを申し上げますれば缺點だらけですが、他の施設からくらべればよいものでした。

例えばコースも、はじめは7コースとして設計されたもので、プールの底に引いてある白いコースラインは確かに7本引いてあるが、それを参加者の數

の關係から8コースとして使つたために、白いラインの眞上にコース・ロープの浮き繩が位置している訳で、私や、シンガポールのチームあたりが氣がついて苦情を申出たのです。しかし8コースにしないと競技は豫選をやらなければならないからというのでそのまま遂行してしまふ。コースラインをつけまじ金具なども、日本のようにオーバーフロウの中に金具を埋め込んであるような器用な眞似はしていないので、ターニング面から細い、まがつた針金を出しまして、それに細い木綿繩にところどころ木の浮きがついたコース・ロープが結びつけてあるという有様で、繩のゆるいくらいのことは問題外です。競技開始後二、三日経つてみるとどういふ積りか水を増したので水面の水位があがつてしまふ。カギが下にまがつてついているから浮き繩全体が沈んで泳いでいる時決して見られない。コースラインのないところでレースをやつているようなことで、コースから出る人がありはしないかと心配したのですがそれもなしにどうやら無事終了しました。そういう點では非常に苦勞させられたのです。それからプールの上縁が水の、オーバーフロウの面からせいぜい20センチか25センチ位しかないので、競泳のスタート飛込みの最低の高さくらいしかない。規則違反ではないが随分低いものを作つたものだと思つておきますと、レースの直前に高さ50センチの四角い木箱をもつてくる。それがスターティング・ブロックだ。4分板くらいでとしらえた軽い箱で、それをたゞコンクリートの面においてあるだけです。スタートで蹴つとばしたら後にひつくり返える。およそチヤチヤなもんで選手がびつくりして、どうしたらいいかと思つてしまひ、結局第1日100米の豫選や1500米決勝のスタートは後から一生懸命押えて、台が後退するのを防ぎました。そういう有様で實に準備が緩慢であつたということがお判りだろうと思ひます。この邊の事情は寫眞でも明らかで、スターティングブロックを人力で支えていることとか、コース・ラインのひつかける金具が甚だ妙な工夫になつてることがお判りになるだろうと思ひます。プールのスタンドも閑散で、とにかく見物人があまり来ていないのです。飛込塔の構造は全部パイプの熔接で出来ておきまして、作つている途中では台がゆれて仕様がないうという苦情も出たが、出来あがるとしつかりしたものになりました。スプリングボードが固いのと傾斜が急で大變困つていたようでしたが、参加者



水泳第1日 3月5日 100米自由形豫選 第2組のスタート、ニューデリーのプール施設を示すのに面白い写真である。コースロープの浮き縄や金物などの有様がよくわかる。

がインド、イランしかないし、一々委員にいつてもどうにもならぬのであきらめて、そのままおいといたような次第です。プールの浄化装置は英国製で、これは現在日本ではみることは出来ない立派なものです。濾過器は大きいのが二基ついておりましたが、モダンなものであります。脱衣室の一部にエンジンルームが準備されて居つたのですが、到着した濾過器の方が大きかつたので、後の壁をおち抜いて設置するという騒ぎで、その爲に工事也非常に遅れたものと思うのです。濾化装置も新式なもので、日本では多くの場合毎日使用を始める前に下から水を送つて逆流させ、上に留りましたカスを洗い流すのつですがこの式は水を入れると同時に濾過器の底から空気も送り込み、空気の泡が上に行くに従つて大きくなり、ブクブク出る時に上に溜つてゐるきたないゴミを泡と水の力で吹き飛ばし少量の水で洗うことが出来るような方式になつておりました。薬品で消毒もしておりましたが、そのほかに空気を吹込んで空気中の酸素で細菌を殺菌するという式を併用しているのですが、われわれがいる間その調節がうまく行かないので、水がプールに出るとやたらにアブクが出て来る。仕方がないので競泳中は機械の運轉を停止させたのですが、とにかくプールの濾化装置は見事なものがついておりました。そういう意味ではなかなかモダンなプールでありました。スタンドはせいぜい3500位で、5000人は入らないだろうと思

ます。それでもインドの人達からみると非常に新しいもので、ネール首相が検分に回つて来た時でも、プールの美しさに非常に感心したようでありました。

委員会の状況

競技会前日の忙しい評議員会の中に各種競技の技術委員会が行われて、結局私もその一つである水泳の委員会に出なければならなくなり、行つてみますとまだ競技会の組合せが出来てないという騒ぎでありまして、それから手傳いまして豫選の組合せから役員の手合せまですべてやらされてしまいました。委員長はおつたのですが例のシ

ーク族の人で、インド特有なヒゲをもつた、ターバンを被つてゐるおじさんで、大變鷹揚ですがなんにもしてくれないのです。實に困りましたけれども、当日は松本君もだれもいない、私1人で汗かいて委員長代理を勤め、組合せから競泳、飛込・水球に至るまでのルールの疑義まで解釋しなければならぬようなわけで、今思つても冷汗ものだつた次第です。

翌日から水上競技開始ということになりました。参加國は4ヶ國でありまして、ビルマの選手が競泳だけ5名、インドが、競泳、水球、飛込み全種目参加、全部で17名、これが一番大きいチーム、イランが4名、このうち飛込みが1名入つておりますフィリッピンが8名、シンガポールが10名、これには水球選手を加えております。はじめ日本に送られて來ました水泳の一般競技規定の中には女子競泳と飛込み、(ハイダイビング及スプリングボード・ダイビング兩方入つておりましたが)これらは参加者がなくて女子種目は全部消えて、男子種目だけが行われた。その邊のことでも、極めて簡単に種目を取消してしまいました。競技の結果は、公式の記録をもつて來ましたので別表で見たいと思

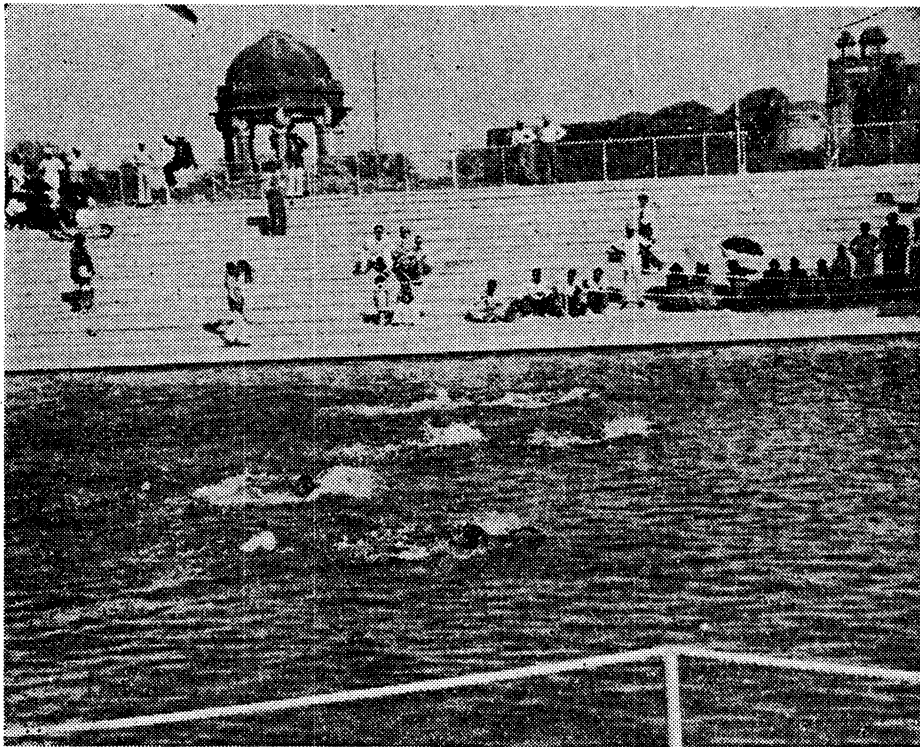
水上競技

100の決勝記録がインドのナグという人で1分4秒7豫選の時は3秒、一番いいタイムが3秒くら

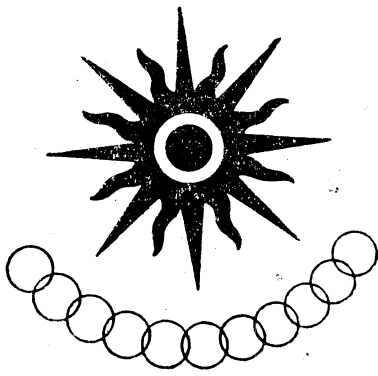
い、フィリッピン選手は 豫選はいゝが決勝はシンガポール、インドに押えられてしまいました。このような程度の結果であります。それから 400 米自由形勝者がシンガポールの ネオチユイコク(梁水國)というのですが、中國系の大學生選手で「シンガポールの古橋」といわれてるそうで、古橋君の話をしてくれとせがまれて大いに汗をかきました。泳ぎは掌を急に下げまして突込んでかく、というような泳ぎ方で、古橋君の話をどこかで聞いて、その型をとつていづもりかも知れませんが、レースぶりははじめから飛ばしておりました。とにかく 400, 800, 1500 を 1 人でとつてしまいました。400 が 5 分 13 秒、800 が 11 分 2 秒 2、1500 が 21 分 43 秒 6 というような程度で、フィリッピンが全部これに押えられてしまひまして大番狂わせをしたというようなことがあります。泳ぎの方は まあ特に申上げるほどのことはございませんで、とにかく日本の高等學校の生徒を連れて行つたら一通り勝てたという氣が致しました。1500 くらいになると早いのと遅いのと、21 分に 2 回くらい遅れて行くのがありまして、6 等なんか 23 分 38 秒という程度で、回数勘定がややこしくて弱りました。やはり回数を日本式に 100, 200 といわないで 1500 を 30 回と勘定して、100 米行くと 2 回へらして 28 回、200 では 26 回という風に知らせて居り

ます。これはやはりオリンピックでも おそらくそれでやられると思うのです。そういうことにも日本選手に少しは、なれてもらわぬと 遽にやられると見當つきかねると思います。ブレストはフィリッピンがとつて 100 は 1 分 16 秒 3、200 はフィリッピンが 1, 2 等とつたが 2 人とも 2 分 50 秒台、泳いだ選手の中では一番フォームが整つていゝと思ひますが、フィリッピンのブレストは オーソドックスでありまして、シンガポールの選手が バタフライをやつたのですが 100 メートルほどから比島のオーソドックスに抜かれてしまうという程度の泳ぎでありました。昔イルデフォンゾを出したフィリッピンであります。泳ぎのあの鋭さは全然ありません。凄味のある泳ぎではありませんでした。戦後陸上などはフィリッピンはいゝところをみせておりましたが、水泳は立ち直つてはいないようで氣の毒に感じました。リレーはオリンピックと違つて 400 米でシンガポールが勝ちました。それから 300 のメドレー・リレーが入つております。これはフィリッピンが勝つたというような次第であります。特に申上げるほどのことはありませんが、100 バツクのレースの中で 1 人 4, 5 番目ですがインドの選手がターニングで失格しました。この時はターニング・ジャツジから報告をもらおうと思つておつたのですが、いつまで経つても申

告が來ない。この時も私はチーフジャツジをやつて居てコースを歩いて見ていたので、確かに誰かどうんと手前でひつくり返えつて居たのを確めて居つたのですが、だれからもその反則をいつて來ない。ターニング・ジャツジは 1 コース 1 人ついておりましたのですから更に注意して催促しましたら、確かにやつたといつて申告して來ましたがそれがインドの選手だつたのであるほどいゝなかつたのも無理ないと思ひました。そういうのを督促して歩いたり一つのレースの結果を出すのに 15 分から 20 分かゝる、實に厄介で、それらを督促しながら、ようや



水泳第 3 日 300 米メドレーリレー決勝の風景で少い観衆。コースロープは沈んでしまつてゐる。背景はムガールモ朝の史蹟で土地の人はプラナ・キラ(ただ古城と云う程度の意味)と云つてゐる。



EVER ONWARD

(カットはアジア大会のマーク)

く無事にすませたような譯で、競泳だけでいゝ加減手を焼いてしまつた上に飛込の審判までやらされて十何年ぶりかで審判やつたような始末であります。ところが FINA ルールブックその他をもつて行かなかつたのでテクニカル・コミッティーの時も、競技の時も、記憶でやつたのですが、飛込み、水球となると、新しいことが云えない、不用意で大變困りました。飛込競技では、計算の遅いこと、實に参りました。ただ飛込みの審判用採點板、これはアメリカ式の新しいものを使つておりました。點數が全部本になつております。ファイバーの薄いものに印刷してあつて、螺旋のバネなんかで製本してある、隅つこにインデックスがついていて、10からはじめて9.5、9という風についております。このインデックスをとつてあげればよろしいので、非常に簡単だと思ひます。これは昨年アメリカの AAU 室内選手権大會の時にもそれを使つているのをみました。アメリカでは例の得點計算表が特別なものが出來ておつて、規定飛びなどは一定の難易率のところ定規をあてると迅速に表がくり出せるような定規がいつもきちんと直角に動く装置になつたものがあります。それとブック式になつた採點板が何冊か組になつておりました。それで飛込みの競技をやる例になつております。インドは本はありましたが計算板はなく、従つて非常に計算に時間がかかりました。飛込競技中の事件としてイランの選手が英語が判らない。イランの役員も、フランス語は判るが英語のしやべれぬ人が多かつた。やつているうちに、アナウンスした飛込みと、飛んだ飛込みとが違ふという事件が起きまして、イランの方から抗議が出た。競技がすんでからイランのコーチが大分どちやどちやつておりました。たつた3人のゲームでしたが、氣を使うことえらいものでした。飛込種目はあまりむずかしいものはございませんで、せいぜい1回かそこらの宙返りくらいの程度で、ただ比較的よくやつていたと思

うのは途中宙返りでかなり綺麗にやつた。鮮やかだと思ひました。それから水に入ります角度などはかなりいゝが、全体としてぎごちないのと、板のあがりになかつた。もつとも板が悪いのかも知れませんが傾斜が強かつたりしたので飛びにくかつたように思ひます。飛板にはフアルクラムの設備がなく、下の台と枕を動かそうと思へば動かないことはないが、重いから動かすものがないので、そのまま無理に飛んでおつた。

日本水泳の不参加

とにかくインド滞在中は水泳選手を連れて行かなかつたことを至るところで多くの人から質問されました。インド總理大臣ネールはじめみな何故水泳選手を連れて來なかつたかと詰問される始末です。飛行場の税關あたりで係が書類を書いているうち、突然顔をあげてどうして連れて來なかつたか、と聞かれた時には驚きました。各層の人達が残念に思つたということを知つておりました。そのたびに一々申訳しなければならぬ。大体、日本の冬は寒いのだ、ということ強調して、時期的に困難だということ力を説いて参りました。

私は、その代りと思ひまして、着いた翌日から午前中インド、ビルマ、シンガポールあたりの選手のコーチをすることを引受けました。そうしてそれが毎日午後1時くらいまでかかりました。晝飯済ませて午後の競技の審判をやり、3時半か4時くらいにすみますと、5時から各國のティーパーティーというようなものがありまして、大概一晩に2つくらい會合がございました。これも各國が非常に日本に對して好意を示してくれるからなので、あんまりすげない眞似も出來ず、これには努めてほとんど全部出席したために、参りましてもニューデリーの街をろくにみるひまがなかつたような次第で、最後の日、無理にひまをつくつて市内見物に参りまして、閉會式までの僅かな時間を見學に使つたので、ハイダイビングとボロをみる機会を失いました。

後から報告を聞きますと、ハイダイビングはスプリングボードの例もあつたので事故も起らず、すんだようであります。イラン選手は2位に食込んで圓満に納りましたが、ウォーター・ボロはインドのレフェリーが大分ひどいことをやつたらしいので、シンガポール選手から「どうしてお前、レフェリーやらぬのか」といわれ閉口しました。シンガポールにいわせ

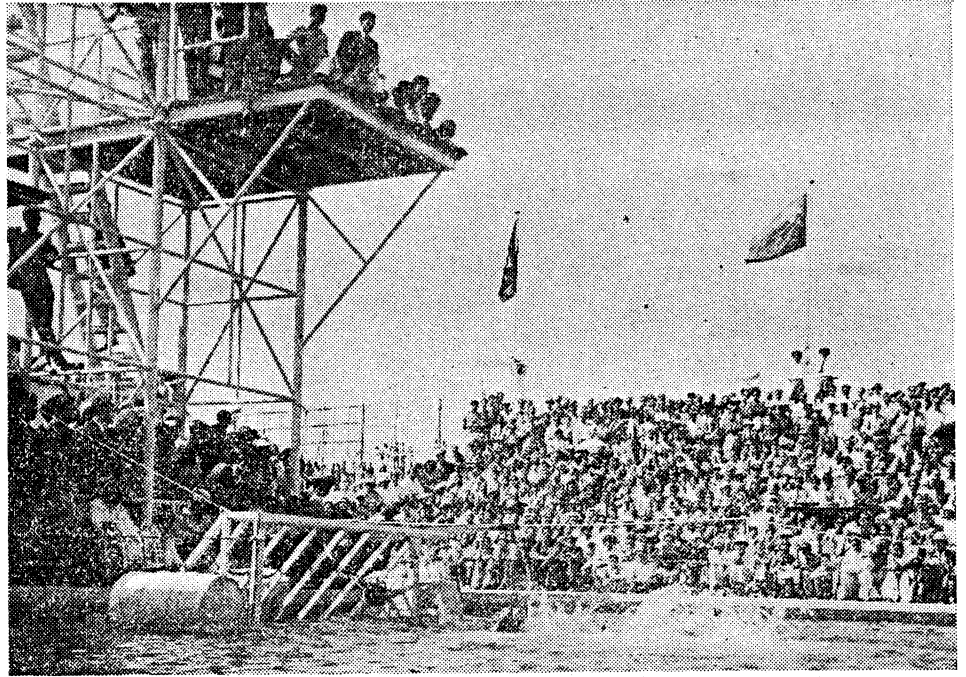
るとレフェリーが悪いため頭負けた、大變ゲームが荒れたそうであります。しかし、練習をみましてもそうまい選手ではなかつたように思います。ただシンガポールの選手は 1936 年のベルリンオリンピックの歸りに日本がシンガポールでエキジビジョンをやりました。長途の旅行の疲労で 4-2 で負けたことがあります。その時負けました時の水球の選手がまだ入つておつた。それを未だに手柄話にやつておりました。まあ、そんなことで非常に老練なプレイヤーかと思つて注意してみました。シュートなんか

は大變強いが、年令のせい、あんまり動きませんでした。お互いにマークを外して、いやむしろマークを構わず、勝手なプレーをやるというゲームだつたようで、どつちもどつちだという批評でした。練習状況から、さもありません、と思うのですが、ウォーターボロのゴールがなんと妙な設計になつております。大きなドラム罐が浮についでいるのはいいが、ゴールラインより突出している。これは困る、下げないか、と抗議してもなかなか下げないし、そういうようなことで、極めてプリミチーブなゲームをやつた訳であります。

以上綜合して見ると、水泳は今度のアジア大會の中ではあるいは一番見劣りしたゲームではなかつたかと思ひます。ただ、單にわすかの種目しか行わない水泳のプログラムをエキジビジョンでうめて充實を計るとかというような計畫が全くない。正式種目の競技をその数だけしかやらないのですから、決勝の日でも競泳が 3 種目か 4 種目しか行われぬ。しかも漫々の進行度ですから、一つに 20 分かけて 3 種目行いますと競技終るといふようなことで、實にあつさりしてしまつて、大變無駄のない進行ぶりといへばそれまでだが、實に技巧のない競技ぶりでありました。

インドの水泳界

あとはインドの水泳の現状といふか、それにつ



水泳最終日 3 月 11 日 : 水球、シンガポール對インド、寧ろ水球ゴール飛込塔の構造を示す爲に載せた。

て氣のつきました點を二つ三つ述べますと、インドの体育団体としては スイミング・フェデレーション・オブ・インディア、これは 1945, 6 年ごろから FINA に加盟しております。従つて、インドの國際的水泳団体は出來ているかと思つた。ところがゼネラル・プログラムの中にインドのサッカー、ホッケーのような代表團の紹介記事は載つていない。ロンドンオリンピック大會に全印チームの代表として團長となつた ハク という人の記事の中に、インドの國際水泳団体は今出來つゝある、という報告が入つていたので、インドのスイミング・オーガニゼーションの歴史を役員の方に聞くと、奥歯にもものはさまつたい方をして、實ははつきりしたことを聞けなかつた。こつちも忙しかつたので突つこんで遂に聞くことが出來ませんでした。競技大會を前にしまして、かなり紛糾があつたらしく見受けられるのです。まだ未發達の状況にあることは確かであります。大体ニュージーランドには水泳がほとんどありません。有力な運動クラブにプール場はありますが、水泳団体もクラブもありません。一番發達しているのは昔の首府カルカッタ、ここには昨年 40 年記念式を行つたようなクラブもありますし、それからすぐそばにある ベンガルなどはかなりしつかりした水泳団体があるようであります。ボンベイあたりもよいプールと水泳クラブがあるようです。しかしインドの役員達と話してみますと、ボンベイ



ネオ・チュウイ・
コック選手
(シンガポール)
400, 800, 1500,
400 米リレー、
300 米メドレー
・リレーの 5 種
目に金メダルを
獲得、シンガポ
ールの古橋と云
はれて居ると云
う。

はい、プールをもっているけれども、それはイギリス人とか、インド人でもいゝ人達ばかりのクラブで一般的に普及していない、一般的に普及しているのはカルカッタが中心で、カルカッタが一番有力だということを申しておりました。インドの水泳が発達しないのはプールがないからだ。この人達はどこでやっているかという、プールのありますのはニューデリーあたりでも英國人がおいて行つた社交クラブか運動クラブ、こゝらには 25 ヤードではありますがかなかなか綺麗なプールがあります。私らの呼ばれたティーパーティーの行われた社交スポーツ・クラブにはありますが、そんなところのプールをみてさえ、ボンベイの人達は「なんだ、ニューデリーのプールには木の葉が浮いてるぢやないか、ボンベイのは素晴らしいぞ」と自慢しております。それほど一般に使用されておらない、一般に使用されるのは何かといういわゆるタンクというもので、そのタンクとは何かというと、古い街が都市計画をして街が出来あがりますとお寺にくつつけた水垢離場というか、水をかぶつたりする場所ではありますが、それがインド大衆の水泳場になつている。それが普通に使われる水泳プールであるらしく、タンクに何メートルかの水泳コースをつけて練習しているという程度なのですが、それがきたないので、水泳に使つては

ならない、というような禁制のお布れを出している地区もあるらしいのです。そんなことでインドの水泳が強くなるためには プールを作らなければならぬ日本がやつたようなことを 同じ東洋人に出来ない訳はない、というような議論をする人もあり、何れにしても日本の水泳は あらゆる面でお手本になつているということは確かでありまして、そのタンクといつたようなものの實状をみて来るひまもございませんでしたけれども、川に入つたりする習慣のある國民ですが、案外水泳は發達しておりませんでした。

各國の日本に對する空氣

最後に前回の常務理事會でも お話したことです。水泳におきましても一つ是非日本の指導を頼みたいということをインド人達もよくいつております。今度ヘルシンキの歸りには ニューデリーに飛ぶかも知れないから、その時は時間の都合のつく限りなんとかするから……とお世辞いわざるを得なかつたのですが、なんとか日本の水泳をみたいという役員の熱望に答えてやりたい氣持から、いわざるを得なかつたのであります。一般インド人の今度の大會で日本の競技團體に對する信頼感というものは非常なものでありまして、あらゆる機會に話合つてみますと、競技ばかりでなしに、すべての面において日本というものに頼つてゐる。それから一番心配しておりましたフィリッピンなどが、はじめのうちは一寸日本の選手と口をきくのも、はばかつてゐるところがありましたが、競技の終りにはそんなことは一つもみられません。終には案外、日本チームと仲良くなつたり、日本チームの部屋に遊びにきたりしているという状況がみられたので、本質的には、スポーツマン同士の心持はフィリッピン側にもそう反感があるようではないのです。イラナン博士あたりも 54 年の大會までにはフィリッピンの國民感情もやわらげて行きたいといつており、何かにつけてフィリッピン對日本のスポーツを計畫して、相當色々のことをいつて來ると思ひますが、台灣もなくなつたし、日本としても可愛いがつてやらなければならぬのではないかと思ひます。そういうことで、この大會における日本チームに對する信頼の度合ということからのみ考えても、講和が濟んだら、東洋諸國は日本に對してかなり厚い友情を示してくれるのではないかと、特にスポーツの面ではそれが強いのではないかと思ひます。そういう意味でもわれわれも都合のつく限り、これをリードしてやらなければならぬのではないかと思ひます。そういう感じを得て來たことを申上ずて一應私の報告を終りたいと思ひます。

(了)

☆ アジア大会水上競技記録 ☆

アジア大会の水上競技は 3 月 5, 6, 7, 10, 11 の 5 日間ニューデリーの施設プール (50 米) で 舉行された。参加國と参加人員は次の通りであつた。

ビ	ル	マ	5 名	} 計 44 名		
印	度		17 名			
イ	ラ	ン	4 名			
フ	イ	リ	ピ		ン	8 名
シ	ン	ガ	ポ		ー	ル

100 米自由形

豫選記録

①	サチン・ナーク (印度)	1:04.7 (1:04.3)
②	W. ウォルターズ (シンガポール)	1:04.7 (1:04.1)
③	ソテロ・アルカンタラ (フィリピン)	1:04.8 (1:03.3)
④	ナールハーターブ・ラジャブ (フィリピン)	1:04.8 (1:03.3)
⑤	K. ミツチエル (シンガポール)	1:07.8 (1:07.3)
⑥	アイザック・マンソール (印度)	1:08.2 (1:06.2)

400 米自由形

①	ネオ・チュウイー・コック (シンガポール)	5:13.8
②	モハメッド・マーラ (フィリピン)	5:31.4
③	ビマール・チャンドラ (印度)	5:32.5
④	B. ミツチエル (シンガポール)	5:36.8
⑤	ソテロ・アルカンタラ (フィリピン)	5:42.5
⑥	セイン・ポー (ビルマ)	6:01.7

800 米自由形

①	ネオ・チュウイー・コック (シンガポール)	11:02.2
②	ゼラフィン・ヴァイル ^{ラニエバ} チーバ (フィリピン)	11:25.2
③	モハメッド・マーラ (フィリピン)	11:30.7
④	ビマール・チャンドラ (印度)	11:55.0
⑤	セイン・ポー (ビルマ)	12:47.1
⑥	サントス・ハッタチャラヤ (印度)	14:01.5

1500 米自由形

①	ネオ・チュウイー・コック (シンガポール)	21:43.6
②	モハメッド・マーラ (印度)	22:17.5
③	ゼラフィン・ヴァイル ^{ラニエバ} チーバ (フィリピン)	22:21.7
④	B. ミツチエル (シンガポール)	22:47.3

⑤	ビマール・チャンドラ (印度)	22:47.5
⑥	セイン・ポー (ビルマ)	23:38.7

100 米背泳

①	アルテミオ・サラマツト (フィリピン)	1:16.3
②	カンテイ・シヤール (印度)	1:17.0
③	エデルベルト・ボナス (フィリピン)	1:17.4
④	L. チー (シンガポール)	1:18.8
⑤	ロバート・ティン (ビルマ)	1:26.7
⑥	キー・ティン (ビルマ)	1:34.0

200 米平泳

①	ジャキント・ケイコ (フィリピン)	2:54.4
②	ルネ・アマブヨク (フィリピン)	2:54.8
③	ヂエハンギール・ナイガムワラ (印度)	3:11.0
④	トフイー (イラン)	3:11.2
⑤	K. ミツチエル (シンガポール)	3:13.4
⑥	ハバネスワール・パンデイ (印度)	3:14.1

400 米リレー

①	シンガポール	4:19.8
②	フィリピン	4:23.2
③	印度	4:28.8
④	ビルマ	5:07.5

300 米ドレーリレー

①	フィリピン	3:36.5
②	シンガポール	3:39.5
③	印度	3:43.6
④	ビルマ	4:15.7

飛板飛込

①	K. P. タツケル (印度)	371.25
②	アサ・ダツト (印度)	327.20
③	アスガリ (イラン)	271.45

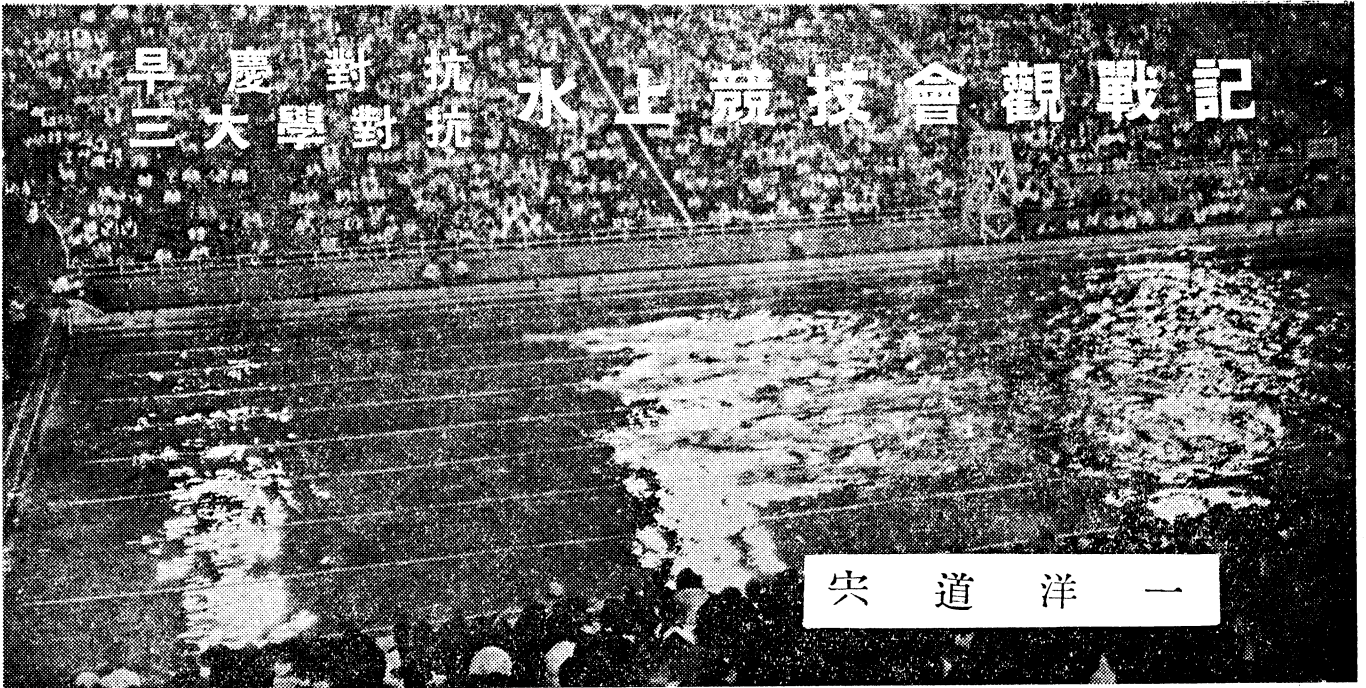
高飛込

①	K. P. タツケル (印度)	352.05
②	アスガリ (イラン)	325.35
③	T. T. ダンド (印度)	276.60
④	カマウエ (イラン)	250.85

水球

①	印度
②	シンガポール

早慶對抗 水上競技會觀戰記



穴道洋一

寫眞は早慶戦の全景

早慶對抗

慶は新人を豊富に揃えて早に對抗したが、未だ調子にのらず、皆實力以下に戦つて早に降つた。これに反して早は旧人、新人ともすべり出し良く背泳、平泳共チームとしてのバランスもよくとれて、堂々30對9で優勝した。

100米では、新人の青山(慶)と谷(早)が激しくせりあつて青山が勝つたが共に61秒台に止まり、期待に反した。しかし谷の進歩は著しいものがあり今夏の活躍は大に期待してよさそうだ。200となると此の兩人は意外に振はず早の田中純と杉原に簡単にひねられてしまつた。殊に田中純は早くも2分14秒台をものにして先づオリンピック800リレーの資格を確保したかに見えるが、400の方は聊か心配である。高校時代の200の雄だつた慶の松岡はとんとレースにならず、大に失望したが、昨年もシーズン始めは同じだつたから一縷の望みは持ちたい。早の杉原も200では大分よくなつたが100はまだまだである。400、1500に優勝した早の田中寧は期待通りシーズン始めとしてはかなりの好調をみせて一先づ我々を安心させ、その上1500の田造、北村が豫想以上に活躍して何となくホツとしたような感を與えてくれた。慶の杉浦は可もなし不可もなしといつた所。

200平泳は、早の梶川が故障で欠場となつた爲、慶の清水の一人舞台かと思つたらさにあらず、調子が出なかつた所へ、昨年本大會で優勝した早の長澤が

猛烈に追つて殆ど同着という接戦を演じた。清水は辛くも勝つたものの大に心配だ。長澤が後半あれ程とばす力があるならもつと前半から出すべきで200位のレースで前半をセーブするなどはもう古い。すべからく日大の山本式たるべきである。早の飯田がさつぱり振はなかつたのはどうしたことか、100背泳は下馬評でよかつた慶の新人木田がレース負けしてあわれを止め、早大の中島・芦田・正村に全勝させてしまつた。併し依然として、12.3秒から脱し得ないのは來年を前にして氣をもませること甚だしい

三大學對抗

早慶對抗のときは6分の入りだつたが、三大學はほとんど満員だつた。矢張り古橋等のにおいがあるとみえる。所で日大は大量に大物を送り出したが、依然強力な陣容を保ち、中長距離で明治に喰いこまれた外は堂々と明立を壓倒して五連勝をとげた。明治は自由形陣が可なり強化されたが背泳・平泳が盲点となつてあえなく敗れ、立教は往年のおもかげ全くなく、まさに氣息えんえんと言つた形、90:55:5は先づ順當な戦績といえよう。

100、200は共に日大の新人鈴木がベテラン丸山・西等を堂々離して鮮かに優勝、先づヘルシンキ行きの確約を與えてくれた。彼は昨年迄岡崎の高校に居て稍々その名を知られており、今年も調子がよいといわれていたが、こうも活躍しようとは誰も思はなかつたろう。慾を言えば谷川を出してもつとせつたら

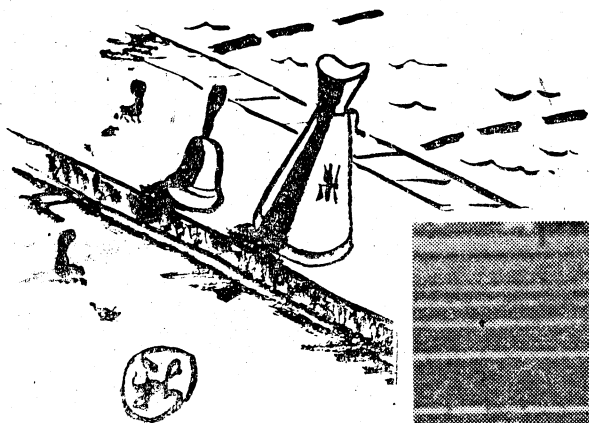
と思う。100 で3着となつた明治の吉村も全く下馬評に出てこなかつた新人中の新人である。日大の丸山は100, 200 共全く精彩を欠き、立教の田中ははてんで問題にならなかつた。明治の香川は今後を期待してよい。400, 1500 は日大の川畑が、勝つたが好調とは言えず、かえつて明治の林と新人石丸がよくすべつて好記録を出した。石丸は高校時代よりづつと進歩し、日大新人安岡と共に今後の中長距離界の中堅となるべき人であろう。期待された明治の新人神川は病気で欠場、鷹野は只泳いだけと言つた感じだ。200 米平泳、日大の新人山本、これは又何と言う慧星であろう。勿論 観音寺高校の山本を知っている人は多いが、日大に来てこうも急速に第一線に出て来ようとは恐らく何人も豫想しなかつたに違いない。100 を 1:14.0 で入り萩原を2米近くおいて引返したときはもう浮くだろうと見ていた。所がそのままするするとすべつて軽くゴールイン、押したストップウォッチが 2:40.0 感心するより、あきれたような氣持だつた。2着になつた日大の萩原だつて昨年の此の大會と同じ程度の記録であつたから決して不調とは言えない。又3着の日大平山もよく滑つて 2:48.4 の好記録を出し、大に希望をもたせてくれた。日大はこの他に五味・毛利・下坂等が居る

から大したものである。

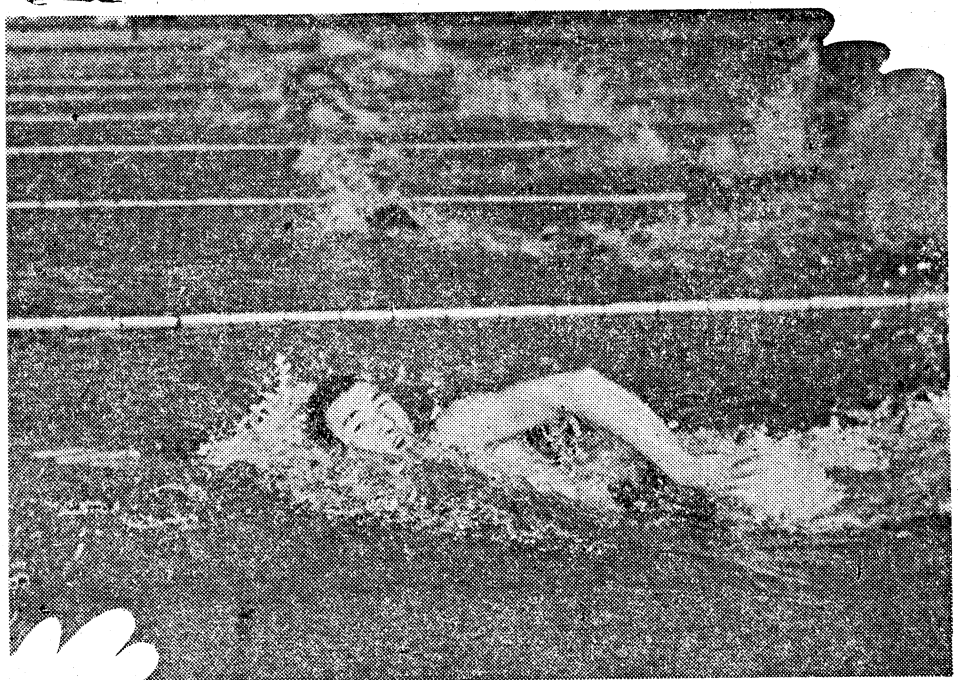
100 米背泳、早慶戦と同じく最も低調で 1:12.0 の余り香しからざるタイムで、日大の宮田・上村が夫々 1, 2 着とは困つたものだ。米國・南米・歐洲では 7, 8 秒がザラだから、おそくとも今年中に 10 秒を割る選手が數人出てこないようでは來年はまづ絶望だ。

800 リレーは谷川が出なくても日大の優勝は先づ動かなかつたが明治が可なり肉迫して一寸面白いレースだつた。

以上兩大會の結果から考えると、秋のインターカレッジは先づ日・早の優勝争い、慶明の3位争いということにならう。唯日大は鈴木が高校生で出られないかわりに谷川が出場するが、早大は谷と梶川が早高生である爲出場出来ず、聊か痛い所である。慶明は先に新人の活躍如何によつてその運命がきまることにならう。日本選手権は此等四校の旧人、新人が社會人となつた古橋・濱口・橋爪・東・宇田等のベテランに挑んで雌雄を決することになるが、戦後永らく水泳界を抑えてきた此等の古豪が、田中寧を先頭とする學生陣に勝つか、降るかは將にヘルシンキの運命を決する重大な鍵とならう。



三大學・100 米自由形に於ける鈴木弘君(日)



第23回早慶對抗水上競技大會

6月4日 於神宮プール 天候晴 氣温 26.5° 水温 23.5°

競 泳

◎ 100 米自由形

1	青山 幸郎	(慶大)	1:01.8
2	谷 訥	(早大)	1:01.8
3	小池 哲雄	(慶大)	1:02.0
4	杉原 満弘	(早大)	1:02.6
5	浪花 欣吾	(早大)	1:03.2
6	和氣 壽彦	(慶大)	1:04.0

◎ 200 米自由形

1	田中 純夫	(早大)	2:14.4	大會新記録
2	杉原 満弘	(早大)	2:15.8	
3	谷 訥	(早大)	2:18.2	
4	高橋 勝	(慶大)	2:19.0	
5	松岡 信義	(慶大)	2:19.6	
6	青山 幸郎	(慶大)	2:20.2	

◎ 400 米自由形

1	田中 寧夫	(早大)	4:47.0	大會新記録
			1:06.2 2:19.0 3:33.0	(正式計時)
2	田中 純夫	(早大)	4:53.8	
			1:08.4 2:22.2 3:37.6	
3	杉浦 貞夫	(慶大)	4:55.8	
			1:08.8 2:23.8 3:41.0	
4	北村 康雄	(早大)	4:58.2	
			1:07.0 2:22.4 3:40.4	
5	高橋 勝	(慶大)	5:06.2	
6	松岡 信義	(慶大)	5:07.4	

◎ 1500 米自由形

1	田中 寧夫	(早大)	19:23.2	大會新記録
2	田造 勝美	(早大)	19:31.6	大會新記録
3	北村 康雄	(早大)	19:36.4	
4	杉浦 貞夫	(慶大)	20:10.6	
5	中西 理雄	(慶大)	20:44.2	
6	岡本 光彦	(慶大)	21:47.0	

	田中	田造	北村
100	1:08.2	1:10.4	1:09.4
200	2:22.4	2:26.8	2:25.8
300	3:39.4	3:44.6	3:43.4

400	4:57.0	5:04.0	5:02.0
500	6:15.0	6:22.0	6:22.0
600	7:33.8	7:41.4	7:40.6
700	8:52.2	9:00.8	8:59.2
800	10:10.8	10:19.4	10:19.6
900	11:29.4	11:37.4	11:38.2
1000	12:47.6(正式)	12:55.8	12:57.6
1100	14:06.8	14:15.0	14:17.8
1200	15:26.0	15:34.8	15:38.6
1300	16:45.6	16:54.4	16:58.8
1400	18:05.4	18:14.4	18:18.0
1500	19:23.2	19:31.6	19:36.4

◎ 100 米背泳

1	中島 雅好	(早大)	1:12.4
2	芦田 拓郎	(早大)	1:13.2
3	正村 孝司	(早大)	1:14.2
4	田中 令吉	(慶大)	1:14.6
5	木田 雄三	(慶大)	1:16.2
6	白井 孝	(慶大)	1:17.0

◎ 200 米平泳

1	清水 敏夫	(慶大)	2:48.2
2	長澤 二郎	(早大)	2:48.4
3	高橋 武夫	(慶大)	2:54.2
4	匠 賢一	(早大)	2:54.4
5	飯田 俊太郎	(早大)	2:58.0
6	齋藤 利一	(慶大)	3:11.8

◎ 800 米リレー

1	早大	9:07.2	大會新記録
	田中(純) 杉原 谷 田中(寧)	2:16.6(正式) 2:18.2 2:18.4 2:14.0	
2	慶大	9:27.6	
	青山 松岡 杉浦 高橋	2:20.2(正式) 2:20.8 2:24.8 2:21.8	

得 点 表

	早 大	慶 大
100米自由形	2	4
200米自由形	6	0
400米自由形	5	1
1500米自由形	6	0
100米背泳	6	0
200米平泳	2	4
800米リレー	3	0
	30	9

水球競技

慶應大學 8 (3-3 / 5-2) 5 早稻田大學

相良	G.K	飯田
田島	L.B	芦澤
平井	R.B	谷村
加島	H.B	田代
藤野	L.F	安藤
小谷	C.F	今村
北村	R.F	遠藤

審判員 和田 幸一

3 小河原正光	(慶大)	57.21
4 矢野正次	(早大)	49.15
5 坂元信夫	(早大)	43.72
6 波多野勇	(慶大)	37.33

得点
慶大 8 点
早大 4 点

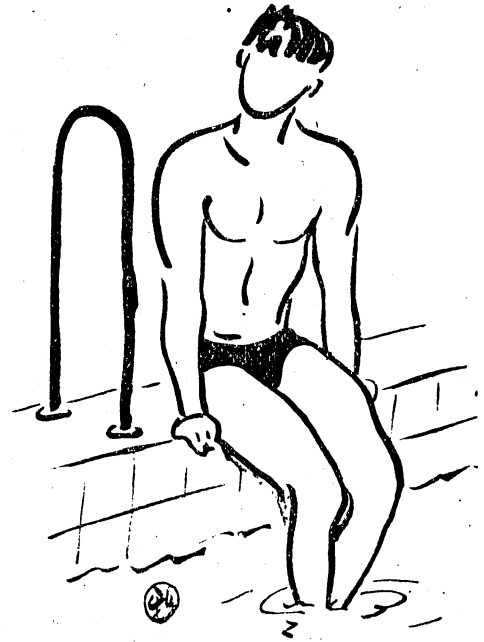
飛込技技

◎ 飛板飛込

1 森澤厚	(慶大)	79.81
2 矢野正次	(早大)	58.20
3 小河原正光	(慶大)	57.32
4 坂元信夫	(早大)	54.46
5 山本嘉雄	(早大)	48.00
6 波多野勇	(慶大)	42.26

◎ 高飛込

1 森澤厚	(慶大)	80.07
2 山中嘉雄	(早大)	63.76



第16回立・日・明三大學對抗水上競技大會

6月11日 於神宮プール 天候晴 氣温 25° 水温 22°

競泳

200	2:22.6	2:25.8	2:27.2
300	3:39.0	3:43.2	3:44.0
400	4:56.8	5:02.4	5:02.8
500(正式)	6:14.8	6:21.8	6:21.4
600	7:33.4	7:41.2	7:41.4
700	8:52.2	9:01.4	9:01.2
800	10:09.6	10:19.0	10:19.0

◎ 300米メドレーリレー

1 日大 (町野、萩原、丸山)	3:26.8
2 明大 (木部、久保田、西)	3:28.8
	1:12.6(正式)
3 立大 (金森、大澤、天野)	3:40.6

◎ 800米自由形

1 川畑彌	(日大)	10:09.6
2 林法正	(明大)	10:19.0
3 石丸宗介	(明大)	10:19.0
4 鷹野強	(明大)	10:27.6
5 安岡信雄	(日大)	10:35.0
6 本山昌平	(日大)	10:37.6

川畑	林	石丸	
100	1:08.0	1:09.4	1:10.2

◎ 200米自由形

1 鈴木弘	(日大)	2:12.6
		1:02.6
2 西擴	(明大)	2:16.2
3 丸山茂幸	(日大)	2:17.0
4 香川義英	(明大)	2:18.6
5 寺田大策	(明大)	2:22.4
6 佐坂宏夫	(日大)	2:23.2

◎ 100米背泳

1 宮田春雄	(日大)	1:12.0
2 上村稔	(日大)	1:12.0

- 3 木部 俊之 (明大) 1:13.0
- 4 清野 満平 (日大) 1:15.0
- 5 中村 學 (明大) 1:16.4
- 6 砂田 正行 (明大) 1:17.0

◎ 200 米平泳

- 1 山本 正雄 (日大) 2:40.0 大會新記録
1:14.0
- 2 萩原 孝男 (日大) 2:45.0
- 3 平山 綽保 (日大) 2:48.4
- 4 久保田 省三 (明大) 2:54.6
- 5 道吉 晃 (明大) 2:58.0
- 6 大澤 晋 (立大) 3:00.0

◎ 400 米自由形

- 1 川 畑 彌 (日大) 4:53.4
1:06.4 2:20.4 3:37.6
- 2 林 法 正 (明大) 4:54.4
1:09.2 2:23.4 3:39.6
- 3 安岡 信雄 (日大) 4:58.8
1:08.0 2:23.2 3:41.0
- 4 本山 昌平 (日大) 5:00.0
1:08.8 2:23.0 3:40.2

- 5 植月 弘次 (明大) 5:00.4
- 6 鷹野 強 (明大) 5:05.4

◎ 100 米自由形

- 1 鈴木 弘 (日大) 1:00.4
- 2 丸山 茂幸 (日大) 1:01.4
- 3 吉村 健三 (明大) 1:01.4
- 4 西 擴 (明大) 1:01.6
- 5 田中 武 (立大) 1:02.4
- 6 佐坂 宏夫 (日大) 1:03.2

◎ 800 米リレー

- 1 日 大 9:04.8
鈴木 丸山 川畑 安岡
2:14.0 2:15.6 2:16.6 2:18.6
(正式)
- 2 明 大 9:11.4
西 香川 植月 林
2:16.0
(正式)
- 3 立 大 9:51.6
田中 會我 加藤 井上
2:22.8
(正式)

得 点 表

校名		立大	日大	明大
種目				
300米	メドレー	1	5	3
800米	自由形	0	10	12
200米	自由形	0	12	10
100米	背泳	0	15	7
200米	平泳	1	16	5
400米	自由形	0	14	8
100米	自由形	2	13	7
800米	リレー	1	5	3
		5	90	55

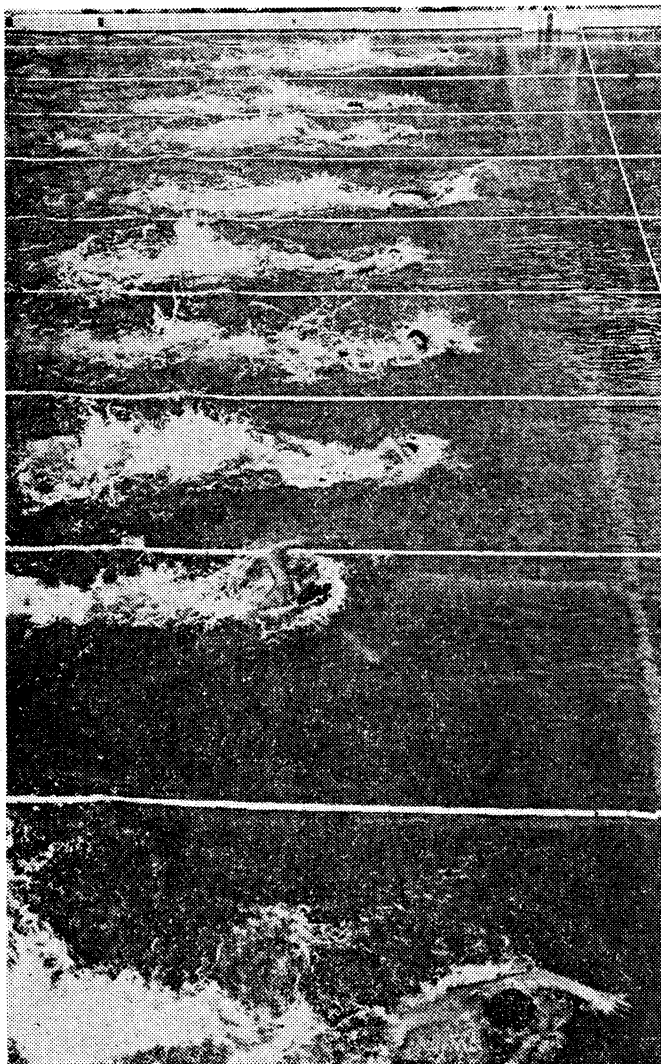
順位 3 1 2

水 球 (番外)

O B 7 ($\begin{matrix} 2-4 \\ 4-3 \end{matrix}$) 7 現 役

- 葉室 鐵夫 五味 茂雄
- 濱口 喜博 竹安 三徳
- 東 昇 小杉 徳雄
- 橋爪 四郎 中島 勝美
- 杉山 祐二 笥 良夫
- 太田 光雄 徳島 寅男
- 鈴木 源一 竹村 敏雄

審判 和田 幸一



三大學 100 米自由形、25 米附近の競合ひ

選手のコンディションを知る

筋肉診断法

— 昨夏の日米對抗戦について —

北海道大學醫學部 紺野義雄

1. まへがき

昨年夏の日米對抗戦の終了した翌日に、私は日米両チームの選手の筋肉調査をしました。この結果が日本の敗因に主要な関係をもっていること、日本の敗因は、選手の筋肉に過勞が凌つていて、米國チームに比して遙かに悪いコンディションだつたといふことが、一部の新聞に報道になつた時、筋肉硬度の調査とはどんなことなのだろうかと随分疑問を浴びたものでした。

あれから再び、シーズンを迎へる様になつたこの10ヶ月の間に、私の筋肉硬度に關する研究は、日本体力醫學會、日本体育學會、この4月の日本醫學會總會などに發表して、一應醫學専門家の間にも紹介されたばかりでなく、陸上競技の一流選手の間にも、最近では競輪のプロ選手の間にも、新しいスポーツマッサージの方法と共に流用されて來ました。私は、選手達が、從來の古い習慣的な練習からもう一步つき進んだ醫科學的練習法に關心が向けられたことを心から嬉しく思つています。今回、水泳には全く縁のなかつた私が、本誌に之を記すのは、松沢一鶴氏の「あなたの御専門からみられた水泳に對するどんな批判でも御遠慮なく述べて下さい」といふお言葉をそのまゝうけたからです。とかく、一應の權威者になればなかなか自分の意見をまげると日本人特有の根性がきゝ入れ難いものなのに、同氏のこうした言葉には流石に國際的な權威が感ぜられて「私の研究が少しでもお役にたつならば……」とお引受けした次第です。

2. コンディションを観る法

從來のスポーツ醫學の研究範圍に於ては、試合前の平常の様子からみて、次の試合には果してよいコンディションであるか、悪い調子であるかを適確にみることは出来なかつたといつてよい位です。大抵の研究は、試合の終了後身体の變化をみていたので、例

へば泳いだり走つたりした後に、炭酸ガスを吐く息で計つたり、血液や尿をとつて試合前のと比較したりしていました。ですから競泳前と競泳後の比較は出来ても試合前の調子は良いか悪いかといふ選手の最も切望する期待に副ふ答は先づ得られなかつたのです。

今回着目した筋肉の研究は、この點に於て從來のいろいろの調査法よりは遙かによくコンディションの良否をみる事が證明されたのです。

それではどのようにしてみるかといふことを、次に平易に述べたいと思ふ。

筋肉には通常一定の硬さがあるのです。赤ん坊の体の筋肉はふわふわと柔らかであるが大人の筋肉は割合に硬くなつてゐることは誰しも知つてゐるところです。同じ大人でも勞働者の筋肉と平常人の筋肉は違ふ様です。女と男の筋肉も硬さに於ては普通違ひますが、こんな大ざつばなことは誰でも知つてゐることなのです。ところがこれを試してみますと筋肉の硬さは時によつて随分變つてゆくのです。それは大てい運動の前後に大きな變化があります。例へば全校マラソンを終つてみると脚のこぶらが硬くなつて歩けなくなつてしまふことなどその一例です。筋肉は疲れると硬くなるといふことは私達の日常に於て誰しも経験するところなのです。これを反對から云いますと硬い時の筋肉は運動に適さないといふことになるのです。筋肉の硬さを「筋硬度」と呼びます。それで、筋肉の硬い日は今日は良い調子ではないと考へて一應間違いないことになります。それでは赤ん坊の筋肉は硬くないから運動能力があるか、といふ疑問が出て來ます。これについては後でのべますが筋肉はただふわふわとゆるく柔らかいではいけないのです。筋肉には、力を入れた時うんと固くなる力がなければなりません。よく腕をぐつとまげて力を入れますと腕の筋肉が硬くもり上つて俗にいふ力こ

ぶが出来ますがあの様にならなければなりません。では硬いのが力があるかといふますと、それでもない。結局普通ん柔かくて、それが力を入れた時に硬くなる程よいといふことになります。この柔かさと力を入れた時の硬さの差が大きい程よいといふことになるのです。ピストン堀口の筋肉は平常は女の筋肉の様に柔かかつたといふことをいふます。それでいて力こぶは石の様に固かつたのです。この硬さの差を私は「硬度差」と呼ぶことにしました。陸上競技の選手も一流の選手のよい時は「硬度差」が大でした。

3. 筋硬度差の大きい体は柔軟である

赤ん坊の筋肉は柔かいが、力を入れても硬くならないのです。即ち「筋硬度差」が小さいから運動の能力がないのです。硬度差の大きい筋肉は、よく伸び、よく体が屈ることになります。即ち柔軟な筋肉の人は硬度差が大で、運動に最も適していることになります。こうした筋肉はよく伸びることが大ですし、よくちぢむ力をもつてます。即ち収縮力が大でよく伸びることが出来ます。ベルリンオリンピックの三段跳に優勝した田島選手は、こうした身体の状態を「むちの様に柔かな身体」といわれました。即ち柔軟な身体で、別にいふますと硬度差の大きい時がよいといふ事になるのです。

4. 硬さをみる方法

ではどうしてこの筋肉の硬さや硬度差をみるとよいかといふことになります。その一つの方法は、手をもつて筋肉を触ってみることです。これは馴れると誰でも解りますし一番簡単な方法なので大てい手でさわってみます。アメリカの陸上選手達もこれをしていたといふことを陸連の織田コーチがいつて居られました。又昨夏のアメリカ水泳チームのキツバス監督もこうして見ていました。しかし本當にこの手で触ってみる方法は（これを觸診といふます）馴れるまで相當にかゝります。私は朝晩この觸診を研究して、今日は何秒で走れるかといふことが解るまでに6年間かゝりました。然し、多くの人達はこんなに専門的に解る必要はありませんが、一應知っておくことは大切なことです。

もう一つの方法は、器械をあてゝみる方法です。これには「筋硬度計」といふものをつくりました。この器具は、一年半かゝつて改良して最近良い品に完成しました。ストップオツチ位の小型のもので、筋肉におしあてるだけですから誰でも使へます。詳しい使用法はこゝでは省略します。昨年の日米水泳の

時は、私は、手でみる觸診と、測定器の両方で選手の調子をみました。

5. 長い調子だつたアメリカ選手

さて、日米對抗の時の兩チームについてのべましょう。あの時全選手中最良の機能を示していたのはフオード紺野（米）でした。彼の筋肉は最も柔軟でどこにも筋肉の硬化しているところをみ出すことが出来なかつたからです。脚も、腕も素晴らしい調子でした。試合終了後に於てすらこうした調子だつたのですから彼の驚異的な記録は勿論偶然でなかつたのです。スタック（背）もいふ調子でした。この2人は腕と脚の強さに良いバランスがとれていました。一般に米チームは良好で、筋の硬化していたのはクリブランド（自由）1人位で、あとムーア（自）は脚が硬化していました。ダイビングのマリノは脚の筋肉が硬化を示していたので「脚が良くない」と云いましたら「そうだ私は脚が疲れていて少し歩くとだるくなる」と答へ「どうしたらよいのか」といふので、リンパ法を教へましたら喜んで脚をなでておきました。問題の「マーシャル（自）はどうか」と云はれましたので「今少し筋肉が弛んでいて緊張力がない」と云ふと「ではどうしたらよいのか」と聞くので、「最近練習の量が足りない様に思ふ、一度猛練習を越して休養したら筋肉がしまるでしょう」と答へたら鍛練不足を指摘されたのか皆がどつと大笑いをしてしまいました。

一般に米選手は良く体の調子に注意していた様ですし、特にキツバス監督は1人1人の結果について「どうですか」ときいて自分の参考にしていく點流石と感心しました。

これに反して日本の選手は、こうしたことを知らないのかどうか全く無關心に近かつた様です。最後になつて古橋選手と眞木選手が熱心になつていました。

日本の選手は、萩原選手以外殆んど大なり小なりの疲労を残して筋の硬化を示していました。梶川、山本、東選手等は最も極度の筋硬度を示していて、例へば腿（モモ）の筋肉などごりごり感ずる様でしたし、私が手を觸れると痛くくすぐつたい程硬くなつていました。こうしたことを知らずにレースに出るなど私にはとても考へられない事でした。こんな調子では實力の何割かしが發揮されないでしょう。古橋君も最良の調子ではありませんでした。私は調査した後で古橋の腕を一寸みましたら、右腕のつけ

根の後ろの方の筋肉が 内部に硬化状態があらわれていて、私が軽くつまんだ丈でも「痛い」といつて顔をしかめてしまいました。それで私は次の様なことを古橋選手に話しました。「私はさき程は、脚の腿(モモ)のところと 腕の2頭膊筋の2ヶ所しかこの器械をあてなかつたし、手もこゝしか觸れなかつた。しかし運動は常に全身的なものなので、疲労は全身に少しづつでも現われているものです。だからかりに貴君の体をもつと詳細にみていつたら 背中にも腰にも肩にも まだまだ疲労の残りがあるに違いない。これでは決して 最良の調子とは云へないでしょう。貴君は超人的に強いから この状態に勝っているのですが、貴君自身としては もつといふ記録が出る余地があるわけです。今は決してよくはない」といふました彼は真剣になつて肯いたのです。そして「僕は確かに今は調子が良くない。去年あたりまではどんなに泳いでもケロリと 疲れがとれたが今年はそうではない。疲れを覚えていつまでもとれない様に思ふそれで僕は 今なるべく休養する様にしたいと思つている」といふました。「そのはずです。この疲労は筋肉の内部のもので、何年も前の疲労の積つたものと考へられる。年令的に若い時は練習後の疲労恢復法など、例へば スポーツマッサージの様なものをしてなくても記録は伸びるけれども、何時かはこうした状態になる。だから 常に疲労恢復の方法をしなければならぬ」といふと「どうするのですか」といふので、新しいスポーツマッサージを教へた。例へば腕はこの様にするのでといつて、右腕の後ろの痛かつたところをして教へたら そのうちに柔くなつて痛みは全然なくなつてしまいました。

6. 科學的な練習法

さて、私は水泳の専門家ではないので、そのトレーニングの科學的な方法は知らないのですが、筋肉をみて、これが今いふか悪いか、どうすればトレーニングの効果を擧げられるかについては 多少の方法を語ることが出来るのです。又疲労を恢復する新しいスポーツマッサージ(私はこれをリンパ法と呼稱して醫學會に發表した)についても、多くの人々に教へてあげたいと思つています。選手のコンディションの良し悪しを決定するものは、實に筋肉の状態にあるといふ考へは、もう 10 年も前に 私は自分の選手生活の中から見付けていましたので、今迄主として陸上の選手を對象として 數100人調査をして、この結論を裏付けました。

又私のこの主張には約 6000人の各種の年令別、職業別の筋肉調査の結果からもいへることなのです。測定器はこの目的でつくられました。

筋肉のコンディションをみるといふ 新しい見方については、私は日本のあらゆるスポーツ面に知らせたいと思つています。それはスポーツを愛好する人々が最も良いコンディションで 最善をつくして戦つてほしいと念願するからです。水泳は 世界的な水準をいつてます。しかし もつともつと飛躍する余地は残されていると思います。失禮ながら もつと判つきり申しますと、合宿でみた選手達の マッサージの時、うつ伏になつた1人の選手の脚の上に上つて、脚でござし踏んでいるのをみました。私は實際これには驚いたのです。こんな野蠻なマッサージ法を、日本を代表するチームの合宿で行われているなど 本當に夢にも考へられなかつたからです。30 年前の方法から一步も出ないことになります。

キツパス監督は 私に「日本のチームのコンディションを調べましたか」と聞くので「調べてない、多分過勞であろうと思ふ」と私は 答へましたら「私もそう思われる、日本の選手の 練習には變化がない」といつてました。この時は試合の前でしたし 私は一度も日本の選手やコーチの方々には 逢つたことはないのです。それなのに「多分過勞だろうと思ふ」といつたのは、新聞などで知る範圍では、そう考へられたからです。

私は最近大阪のある水泳関係の人から、「もう日本はアメリカに勝てない」といふ話をきかされました。何故かといふと「今のアメリカでは 日本式の猛練習をやる様になつたから 到底あの偉大な体力には及ばない」といふのです。

しかし私はそうは思わない。水といふ 絶對的質量に對する筋肉運動の反作用が スピードになるとすれば、砲丸や圓盤を投げる時、体の大きい者と小さい者とのハンデキャップを考へるのは 自づから異つて來るからです。

昨夏のコンノを見た人は、あの小さな体でと驚いたでしょう。あの時の彼は、疲れを知らない最もよい筋肉のトップコンディションであつたといふ意外に私は説明づけられないからです。体の大小は水泳のスピードには關係はないと思ふ。疲労のない、それでいてよく鍛練された、強靱で、しかも柔軟な筋肉に仕立てたら、日本の水泳は再び アメリカを抑へられるであらうことを確信するのです。(1951-4-28記)



水泳日本

あしがれのハワイ行き

上野 徳太郎

先日久し振りで野田一雄君と長話しをする機会を得て、非常に嬉しかった。カズさんと話をしながらフと思い出したことは、カズさんもその一員であつた日本選手6人組による第1回ハワイ遠征のことであつた。以下日本競泳史の一部資料となるかもしれない思い出話をちよつと記して、私自身の記録ともしよう。

水泳日本の近代的な要素をもつ国際競技として、重要な役割りをつとめた第1回のハワイ遠征は、まあ簡単に言えば、ハワイの邦字新聞である日布時事社と私の務める東京日日新聞社(いまの毎日新聞社)一というと甚だ大きく聞えるが、恐縮な言い草ながらその彌次ウマは、この私であつた一が斡旋して實現したものであつた。ハワイに行つた日本選手の数は、1人の監督を含めて僅かに6人という少数ではあつたけれども、實質的には日布對抗競技とみていいもので、前の水上競技連盟創立早々の頃に、一種の民営?の国際水上競技が實現された事實は、水泳関係者の多くのものに記憶されていいことだと思ふ。これは、大正15年(1926年)のことであつた。

最初のハワイ遠征が實現したについては、もちろん、日本側にとつてそれ以前にそれ相當の刺戟があつたことは見逃せない。それは、これより先き大正13年(1924年)のパリにおける第8回オリンピックに出場した日本チームは、高石君が100米と1500米で各々第5位となり、齋藤巍洋君が100米背泳で第6位の成績を與えられ、800米リレー(宮畑、野田、小野田、高石)でも決勝第4着という大成績を得たので、これらの人々の胸のうちには、その後の国際競技を目標ける大野心がもくもくと湧きでたことは、想像するにたかくない。パリのオリンピックの翌年、第8回極東大會に大勝した日本チームは、もうその頃は、極東大會などは、とうの昔に目標以外のものであつたのである。

高石君、齋藤ギョウさんなどが、まず第一に目をつけていたのが、他ならぬハワイである。その頃の

ハワイの水泳は、米國の水泳界にとつて、今日の時代よりも、もつと重きをなしていたもので、アントワープとパリのオリンピックの100米に續けて優勝した例の有名なデューク・カハナモクの出身地で、背泳のケアロハ、短距離のサム・カハナモク等もいたのだから、ほんとうに「あつこがれのハワイ」だつたのである。

或る事業計畫の實現に際し、通信連絡の便宜を多分に持つている新聞通信社がその中に入るのは、自他ともに極めて便利であることは言うまでもない。ハワイ乗り出しの一策を考えていたギョウさん、高石君の氣持ちは、なんとしても先ず第一に、ハワイの現地に伝えられなければならなかつた。この連絡と斡旋に當つたのが、ハワイの日布時事東京特置員?というような仕事をしていた塩津誠作さんと小生であつた。塩津さんの本務は、實は東京の日本電報通信社の外國關係通信を扱うことで、歐米事情や英文の大家であつた塩津さんは、その頃すでに60歳近くの御人と思われた。いつも和服姿で袴をはいていたが、水泳などというスポーツについての連絡には不得手らしかつた。それでも熱心な塩津さんは、足しげく私のところに來られ、私も度々電通の塩津老を訪れたのもである。この遠征の連絡員にもう1人いたが、たしか日布時事の今井さんという人で、今井さんは、塩津さんと違つて、たまたまハワイから東京に來ていた人であつたと思ふ。

日布時事からの話で、ハワイのAAU當事者も日本選手大歓迎というわけであつたが、こつちの関係者も大喜び、高石君、ギョウさん等は大きいそぎの選手團編成に動いたわけである。自由形の200米400米を得意とし、パリのリレー・メンバーであつた野田カズさん、早大の長距離で強かつた佐竹孝君、同志社中學時代から背泳で強かつた木村象雷君と顔觸れが極つたが、監督も選手に使える人というわけで、これもパリのリレーに出たハタさん事、宮畑虎彦君が選ばれた。しかし、長距離の佐竹君が急に都合が

悪くて行けなくなつたので、同志社中學ボーイの新井ヘブ（信男）君が代つた。

そのときの送別會のことを思い出すと、可笑しくなる。——いまの電通ビルでない電通社の地下室で送られるもの宮畑監督以下6名、この栄ある一行を送る主催者側は僅かに2名、即ち塩津老と小生の二人きりであつた。おそらく日本における國際競技出場選手の送別會としては、その規模の小なることの最高記録であらう。このとき東京日日新聞社から、

たしか1名金200圓ずつの餞別を贈つたことを覚えている。その頃小生の月給は金80圓ぐらいたつたがこの餞別の200圓が、相當なものだつたか少ないものであつたかはいま判断がつかない。

ハワイでは、日本チームは800米リレーで世界新記録をつくつた。そしてこの遠征が切つかけとなつて、その秋には日本はハワイ選手を迎えることが出来、3年後には松澤カクさんが監督で女子選手の一團がハワイに出かけた。（5月31日記）

和田勇氏御夫妻來朝

—昨年8月ロサンゼルスに於て行はれた全米選手権水泳大会に出場した日本選手團一行に宿舍を提供され、親身も及ばぬ、御世話を下さつた和田勇氏御夫妻が4月11日商用の爲め來訪されました。本連盟では賓客として御迎へし、歓迎会の後、藤田専務理事以下が日光、奥日光、箱根等を御案内、その後同氏は郷里和歌山に歸省され、大阪、兵庫、奈良、京都、伊勢、熱海、江の島、鎌倉等を観光の後、水連の歡送会に出席、6月3日ロサンゼルスに歸られた。



【寫眞説明】

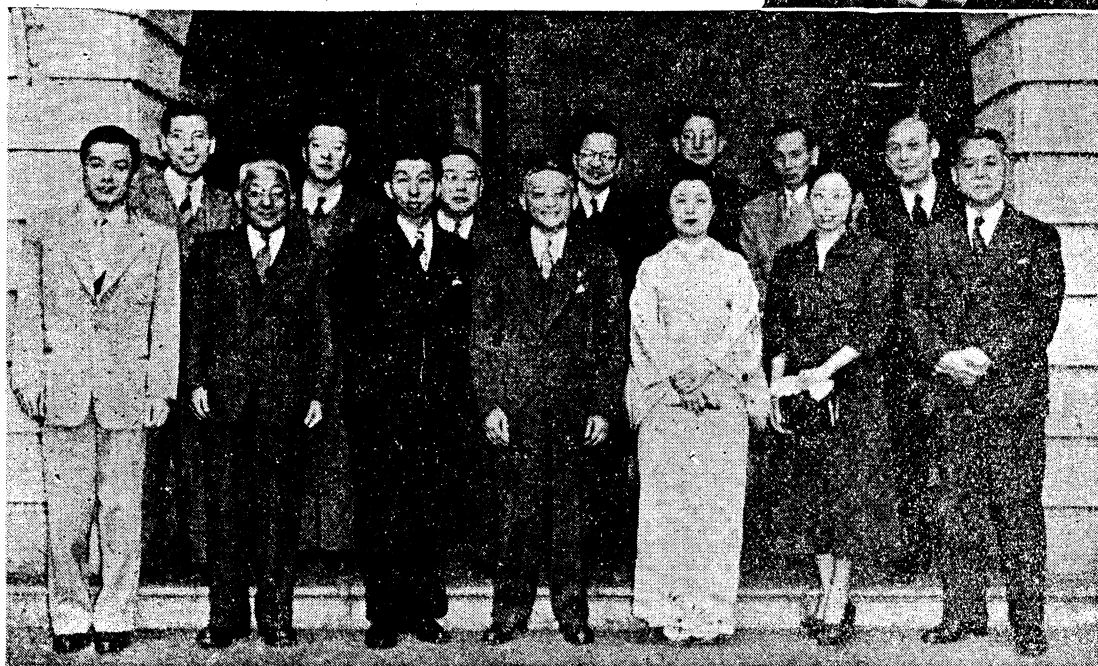
（上より）
ローブウエー見晴合に於ける夫妻。
背景は中禪寺湖、華嚴の瀧。

村山氏邸の関西支部歓迎会。

高輪閣に於ける歓迎会。

前列左より遊佐、熊谷、高松宮殿下、和田、高松宮妃殿下、和田夫人、松澤。

後列左より清川、原、田畑、東、藤田、織田、西本の諸氏。





オリンピック競泳選手

強化合宿練習會

冬期合宿

全國より選抜した高等學校及び大學低學年の優秀選手 38 名が参加して行つた。

期 日 自昭和 25 年 12 月 29 日
至 26 年 1 月 7 日

場 所 東京大學室内プール
Y.M.C.A 体育館 (宿舍 太栄館)

指導員

清川 正二(背泳擔當) 小池 禮三(平泳擔當)
遊佐 正憲(自由形短) 牧野 正藏(自由形長)
原 秀夫(マネージャー兼トレーナー)

選手 自由形短距離

谷川禎次郎(佐伯一高) 鈴木 弘(岡崎高)
後藤 暢(浮羽高) 佐坂 宏夫(川島高)
谷 訥(津島高) 堂崎 治好(瀬戸田高)
杉原 満弘(早高) 庄司 義弘(安房一高)
香川 義英(三次高) 高橋 勝(三原高)
田中 武(立大)

自由形長距離

浅野 満(中京商高) 北村 康雄(高知商高)
鷹野 強(磐田農) 川口 友平(伊東高)
神川 裕康(瀬戸田高) 横田 宜明(傳習館高)
粕谷 保(安房一高) 石橋 明(傳習館高)
田中 寧夫(早大) 松岡 信義(慶應高)
杉浦 貞夫(慶大)

平 泳

萩原 孝男(日大) 清水 敏夫(慶應高)
長澤 二郎(早高) 山本正雄(観音寺一高)
田中 守(丹原高) 水貝 利重(早大)

背 泳

倉橋 範彦(濱松西高) 中島 雅好(早高)
大久保憲二(逗子開成高) 黒佐 清(佐伯一高)
和氣 壽彦(慶應高) 近藤久仁正(中京商高)

清野 満平(石巻高) 關川 重久(佐渡高)
上村 稔(日大) 芦田 拓郎(早大)

途中で東大プールのモーターが故障になり水温が落ちた爲め体操を主として行つた。

尚自由形の青山(成蹊高)、寺田(長崎東高)、西(明大)、田中純(早大)、平泳の梶川(早高)、背泳の宮田(日大)は選抜されたが都合に依つて不参加だつた。

春期合宿

前回(冬期)選抜した選手の外に社會人になつてなをオリンピックを目指す古橋、橋爪、濱口、東、宇田の諸選手は泳ぐ機会並に後進選手と接する機会が少くなる事を考慮して特に本合宿に参加せしめた期日も本合宿が終つてすぐ屋外のプールで練習を続ける事が出来るやうに4月の末を選んで行つた。

期 日 自昭和 26 年 4 月 24 日
至 5 月 3 日

場 所 東京大學室内プール
Y.M.C.A 体育館 (宿舍 太栄館)

指導員

清川 正二(背泳擔當) 小池 禮三(平泳擔當)
遊佐 正憲(自由形短) 牧野 正藏(自由形長)
原 秀夫(マネージャー兼トレーナー)

選手 自由形短距離

谷川禎次郎(日大) 青山 幸郎(慶大)
鈴木 弘(日大三高) 後藤 暢(浮羽高)
佐坂 宏夫(日大) 寺田 大策(明大)
谷 訥(早高) 堂崎 治好(瀬戸田高)
杉原 満弘(早大) 庄司 義弘(安房一高)
香川 義英(中野高) 高橋 勝(慶大)
西 擴(明大) 田中 武(立大)
濱口 喜博(日本鋼管)

自由形長距離

浅野 満(中京商高) 北村 康雄(早大)

鷹野 強(明 大) 川口 友平(伊 東 高)
 横田 宜明(傳習館高) 粕谷 保(安房一高)
 石橋 明(傳習館高) 田中 寧夫(早 大)
 松岡 信義(慶 大) 杉浦 貞夫(慶 大)
 田中 純夫(早 大) 古橋廣之進(大同毛織)
 橋爪 四郎(A. I. U.) 東 昇(富士製鐵)

平 泳

萩原 孝男(日 大) 梶川 孝義(早 高)
 清水 敏夫(慶 大) 長澤 二郎(早 大)
 山本 正雄(日 大) 田中 守(丹 原 高)
 水貝 利重(早 大) 宇田久壽秀(富士製鐵)

背 泳

倉橋 範彦(濱 西 高) 中島 雅好(早 大)
 大久保憲二(逗子開成高) 黒佐 清(佐伯一高)
 和氣 壽彦(慶 大) 近藤久仁正(中京商高)
 清野 満平(日 大) 關川 重久(早 高)
 宮田 春雄(日 大) 上村 稔(日 大)
 芦田 拓郎(早 大) 木田 雄三(慶 大)

神川(明大)は病氣の爲め不参加であつた。

5月3日の合宿最終日に公式記録會を行つた。選
 手は相當疲労してゐたが比較的好成績であつた。

記録會 東大プール非公認25米(○印のみ正式計時)

800 米 自由形

○ 田 中 寧 夫	1:08.0	2:19.0	3:33.2	4:47.4	6:04.8	7:22.0	8:39.8	9:55.4
○ 粕 谷 保	1:08.0	2:23.4	3:42.2	5:03.0	6:24.2	7:46.0	9:08.8	10:30.4
杉 浦 貞 夫	1:09.8	2:27.2	3:47.8	5:07.8	6:29.0	7:51.8	9:13.6	10:30.4
石 橋 明	1:10.4	2:27.2	3:47.4	5:08.0	6:30.4	7:52.8	9:15.8	10:40.4
北 村 康 雄	1:11.0	2:28.6	3:49.4	5:12.0	6:36.2	8:01.4	9:25.4	10:49.4
横 田 宜 明	1:13.6	2:34.4	3:57.0	5:20.0	6:43.4	8:07.4	9:32.2	10:53.0
川 口 友 平	1:14.0	2:34.0	3:57.0	5:21.0	6:48.2	8:13.2	9:37.2	11:01.2

200 米 平 泳

○ 梶川孝義 36.0 1:16.2 2:00.0 2:44.8
 田中 守 36.2 1:17.2 2:00.2 2:45.0
 ○ 長澤二郎 37.0 1:18.8 2:03.0 2:48.6
 宇田久壽秀 35.4 1:15.2 2:00.4 2:49.4

100 米 自由形

○ 濱 口 喜 博	28.6	59.8
○ 後 藤 暢	29.2	1:00.8
谷 川 禎次郎	28.8	1:01.0
○ 青 山 幸 郎	29.0	1:01.4
○ 田 中 武	29.2	1:01.4
鈴 木 弘	29.0	1:01.8
庄 司 義 弘	29.0	1:02.2
西 擴	28.8	1:03.0
寺 田 大 策	29.6	1:03.2
杉 原 滿 弘	29.2	1:03.2
香 川 義 英	30.0	1:03.8
堂 崎 治 好	29.8	1:04.0
高 橋 勝	30.0	1:04.4

300 米 自由形

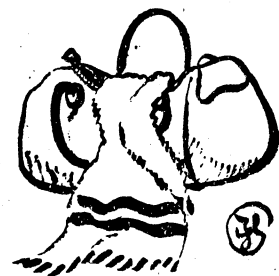
○ 古橋 廣之進	1:07.0	2:19.0	3:32.0
東 昇	1:07.8	2:20.0	3:35.2
橋爪 四郎	1:04.8	2:18.2	3:36.0

400 米 自由形

○ 田中純夫	1:06.8	2:19.2	3:33.8	4:52.4
浅野 満	1:08.0	2:22.6	3:38.8	4:55.0
鷹野 強	1:08.8	2:23.2	3:39.0	4:58.4
松岡信義	1:05.0	2:20.0	3:43.0	5:10.2

100 米 背 泳

○ 芦 田 拓 郎	32.8	1:10.0
○ 和 氣 壽 彦	34.0	1:12.0
清 野 満 平	35.0	1:12.2
倉 橋 範 彦	35.0	1:12.6
上 村 稔	33.6	1:12.6
黒 佐 清	35.2	1:13.0





水球春季合同練習記

名 取 正 也

オリンピックへの強化、一般的レベルの向上、と云ふ目的で去る5月4日より1週間 東大室内プールで行はれた水球合同練習は 数々の成果を擧げて無事終了した。

一部、二部、三部の殆んど各校が参加して 総員60名以上が連日熱心に指導を受け、お互の技を磨きあつたのはシーズン初の大きな収穫であらう。又毎日後半に行はれた練習ゲームには各校チーム、混成チーム、或は OB チームとメンバーが提出されて與へられた時間が足りなくて腕を撫して居る者も多かつた程の盛況であつた。以下共に練習に参加した一OBの立場から練習の跡をふりかへつて見ることが更に將來のこの種の合同練習に参考に成れば幸ひである 今回の日程は左記の通り進められた。

- 第1日 基本練習、ラウンドパス、ロングパス、踏足
ゲーム、早一慶、日一中、混成
- 第2日 基本練習、スタートダッシュ、リターンダッシュ
ゲーム、早1—早2、慶1—中、慶2—混、
- 第3日 基本練習、ゴールシュート、キーパーの出方
ゲーム、早1—早2、慶1—日、慶2—三水會、中—混、三水會—OB混
- 第4日 基本練習、フォワードの位置
ゲーム、日一中、慶一—早1、成城—混、早2—混
- 第5日 基本練習、バックのマーク、GKの返球
ゲーム、早一中、日—混、慶一—混、混—三水會
- 第6日 基本練習、フォワードの動作
ゲーム、早1—慶1、日—成城、中—慶2日2—早2、三水會—混
- 第7日 基本練習、三角システム

ゲーム、慶1—中、慶2—日、三水會—混
OB 終了

右の日程が示す通り前半は特に初歩者の爲の基本技、基本動作の練習法を示し、後半は新ルールに習熟する爲にゲームを行ひ選手に反則の説明をしつ一方レフェリーの笛の研究を行つたもので、幸ひ各校の學生選手の外に大勢の OB の参加を得基本にゲームに若い連中を指導されたのは感謝の外は無い。ただ連日70名餘の人員と、それを2時間といふ時間内にポロの全般的の基本技と新ルールをマスターしやうといふことは最初から無理があつたと云へる。従つて基本練習を受持たれた時任コーチは非常に苦勞せられた様であるが、全般的に見て習得者はレベルの差が大きく中にはその練習法の眞意を理解し得ないものと他方それより高度の練習法を期待して居たものがあつた様で、後日の委員會の席上、現在のウイークポイントであるゴールキーパーの技術、或はフローティングフォワードに對するバックマンの防禦法等に更に突込んだものを欲しいといふ意見も多かつた。そしてその充實した基礎練習を行ふ爲には事前に更に細かい打合せと研究を指導者間で行ひ開始に當つて、ヘッドコーチから説明をなし、要すれば選手に模範を示させ、直に各コーチが分擔してポジション毎にコーチをするといふ方法が望ましい。然し今回の基本練習法によりポロの基本技の中で最も大きなポイントをそしてその練習法を會得して歸つた者が多數であらう。

そして特に本當に學ぶべき學生諸君よりも、OB連中の方がこの練習により何ものかを掴まうとする努力が強かつた様に思へる。學生選手は一應これ等の技術をマスターてゐると考へてもシーズン始めに新にスタートする氣持を持つてもらひ度い。ゲームを見ても色々新しいテクニクを身に付けてプレーを行つてゐる選手にも

何かその底に本式の基本技術に 缺けてゐる様に思はれるものが多いと感じたのは OB 特有のおせつかいではなさそうだ。學生選手諸君は、更にフェアにオーソドックスのポロを確立して 時任コーチが云はれる様に「笛の無いゲーム」を目標にせねばならない。

次に練習ゲームであるが、笛の練習をしやうとする人が、和田、勝村、鷺田の三氏のみであつたのは心細い、三氏は交代に熱心に指導を行ひ、特に和田コーチは一つの信念を持つて 一貫した笛を吹かれたのは心強い。

ゲームの運び、チームのコンビネーション等未だあまり見るべきものは無かつたが、新進中央大學の進歩の跡は著しい、又早慶兩校は連日 20 名以上の選手を出席させ、その傳統を示すシステムを見せて居たのは喜ばしい。反則に對する新しい考へ方に次第に慣れて來た様であるが、やはりゴール前では未熟なタックルを行ひ、消極的なキープをしたり、クイックシュートに對して キーパーとバックとの防禦方向の分擔といふ点、研究の餘地が多々あつた。

委員會で問題となつたのは、やはりこの ゴール前での反則であつて、どの程度のチャージを反則とするかを一應結論を出した。即ち、相手方の体の上を泳ぐこと、自由なる動作を妨げること、といふ点の解釋であつて、單にゴール前で体觸してゐるだけでは反則にはならない。そして更に相手が体を斜にしてゐる場合 その上に位置して浮いてゐる場合は許される。然しそれが前の二つの点にひつかかれば笛を吹かれる。即ち 相手方に重味をかけてかぶさつたり、相手方が泳ぎの姿勢に移つてからも なほその上に位置する場合は反則となるのである。そこでバックは相手方の体にすり寄つて マークするのはよいがそのまま 眞後から相手方へ來るボールに飛び出したり、相手方がボールをとる後に二掻き 三掻き泳ぎ出すときそのまま体を重ねて チャージすることは反則である。バックはボールへ飛出すときは必ずどちらかのサイドに移つてから出なければ 相手方の上を越える事に成り反則となる。この点未熟なものが多い様である。

但しゴール前のケースは さう簡單では無い。ハンドオフと補球動作、球に動作する権利はバックもフオーワードも同等であること、或は伸び上る姿勢と法ぎの姿勢の區別等々、レフェリーの眼を誤らす諸種の問題がある。この場合ゴール前では 常に得点に關係するし、又下手にアドバンテージをとると更に

混乱する恐れがある。この点レフェリー全員が實際に確乎たる一線を持つことが望ましい。

ゴールキーパーは フローティングシュートに對して未だ非常に弱い、既に 10 年以上経過してゐるこのシステムに防禦體勢を整へることが 本年の課題であらう。これは キーパーだけで處理する技術ではない。マークする バックとキーパーのコンビネーションが出来なければならぬ。バックのタックルは相手方のシュートを狂はすことは勿論、自陣キーパーにタイミングを合せることも出来る筈である。

更に種々問題がある。例へば、ボールを投げる技術に缺けてゐる爲にただキープをする者、これは明かに相手の反則を待つてゐる、相手方フリースローにわざと悪返球して味方チームの 態勢を直さうとするもの、ゴールキーパーが ゴールより飛出して反則をとられ相手に球を渡さず ゴール迄戻つてから投げる者、試合開始、再開時のスタートに 再三前にせり出して注意を受ける者等、レフェリーの強い決斷を要するものがある。

以上思ひ付くままに書き續けたが、オリンピックへの熱意はこの合同練習を力の溢れたものとし、又今後への眞剣な問題を數々提出した事は 大きい收穫であつた。

最後に我々國際舞台に 恵まれなかつた水球が早くその檜舞台に十數年雌伏の成果を示して 次の發展へのポイントを得たいと思うのは 單に水球關係者ばかりではあるまい。

練習全期間を通じて委員長藤田氏、澤海氏が我々オリンピックへの熱と 希望の練習を觀戰指導せられた。これ等水球人の意氣が 此の夏のゲームに立派に實を結ぶことを希つて筆を擱く。(26-5-25)



飛込合同練習記

川島正之

期 日 5月4日—10日
場 所 東大室内プール 水温 26°
コ ー チ 原(秀)、毛利、川島、西澤
参加選手 毛利、山下、坂本(章)、牧之島、馬淵(日大)
森澤、小河原、波多野(慶大)
矢野、坂本(信)(早大)
女子 木村、時任

シーズンオフ中に実施すべく、計画の強化合宿も実現する事が出来なかつたが、今回競泳練習終了後の2時間を利用、飛込合同練習に入った。シーズン突入と共に各校それぞれの練習計画も有り一貫した練習方法を取れなかつたきらいもあつたが、オリ

ピックを明年に控えた年のシーズン始めとしては低調の感があつた。勿論水温 25°~26° の此の季節に於ては良好のコンディションのもと、参加選手も熱心に練習をつんだが、相當の成果を上げ得たものと期待した。此の合同練習を低調なりとの感をいだしめたのは、冬季中の選手各自のトレーニング不足と練習開始の遅延に原因するものと思われる。

然しながら合同練習実施の効果と、其の後の選手の眞摯な練習は必ずや、シーズン始めの低調をカバーして、先年以上の技術の向上發展をもたらしてくれるものと信じて止まない。

績 1500 米 舊 聞

績 1500 米舊聞を御披露しよう。1927年瑞典のアルネボルグ選手が突如19分7秒2の世界新記録を作つた事が報道された。當時の世界記録は 20分4秒4 で日本では超人高石選手の 21分59秒4 が日本記録なので、あまりけたの外れたこの記録は何かの誤りだと日本では誰も本當にしなかつた。然しその後ラップタイムが判つて成程同じ人間でもこんなに早く泳げるものかと呆れてしまつたのであつた。

その後牧野選手等が 19 分台に進出して来ると、これは日本選手によつてアルネボルグの記録も何とかなると……この記録を目指しての猛練習が續けられたのであつた。1932年ロサンゼルスオリンピックで少年北村、牧野両選手が他國の選手を問題とせず 19分12秒 と 14 秒で 1, 2 位となり、その翌年北村選手によつて 19分8 秒ともう一息のところ迄迫つたが及ばず切齒扼腕したのであつた。

アルネボルグの記録から11年目の1938年8月10日が日本水泳界の記念すべき日となつた。神宮プールに於ける

關東選手権大會……競技會前から水連關係者は天野選手がすごく調子がいい、世界記録が出るかも知れないと張り切つてゐたが、一般はこれを知らず、幸運の觀衆は僅かに3000名であつた。當日彼は強引な泳ぎで最初から飛ばし遂に 18:58.8 役員も選手も觀衆も文字通り狂喜乱舞 3000 の歡聲で神宮プールがガアーンとうなつてしまつたのであつた。當日の役員長であつた現田畑會長は天野選手が泳ぎ始めから終りまでプールサイドを行つたり來たりして聲援し、しらずしらずに禁煙場所で煙草に火をつけて喫い、さては火のついた方を口に入れて火傷をするなど世界記録的な興奮を示したのであつた。

翌日の新聞は世紀の英雄 11 年ぶりアルネボルグの記録を破ると 4 頁の新聞をこの記事で半分位埋めてしまつたのである。

これは世界中の水泳關係者を驚かし當時世界各國に讀者を有すると云はれた獨逸の水泳新聞シュイマーは、「この記録は世紀の驚異であり、世界水泳史上特筆大書すべきものだ」と書いた。この記録も1949年古橋、橋爪両選手によつて書き換へられる迄奇しくも 11 年間世界公認記録として輝いたのである。

水球新規則解説

水球委員会

本規則実施一年間の実績を反省検討し、本規則の疑点を生じ易い諸点に関する水球委員会の解釋を左記の通り改正した。

一、新規則解説に対する態度

本規則は文字の上からは舊規則に還つた様な印象を受けるが精神に於ては次記の理由により、飛躍的進歩を目指したものと考へられる。本規則の指向するところは

イ、ゲームのフェア化

ロ、ゲームのスピード化の二点である。

理由

- A. 水泳誌複刊第二號所載（海外ニュース・オリンピック詳報の水球項＝略＝若しも 審判の標準が特別改善されない限り水球はオリンピック種目から除外されるだろう。）との記事
- B. 一九四九年度國際水球委員会の希望により各國が南米規則を試用し、其の結果を檢討して水球競技の進歩を計らんと試みた経緯
- C. 相手方の自由な動作を妨げる反則（假に以下妨害反則の語を用ひる）に關して舊規則第十七條b項及d項を各前後に分離して前者の前半（捕へ、沈め、引戻し）及後者の後半（蹴り以下）のみをメジャー・ファウル、に残し、他をオーデナリー・ファウルに移したこと。

右により妨害反則の内、意識的で然も判断容易なもののみ二つをメジャー・ファウルに残し、無意識的に犯され勝であつて軽度且程度の判定に困難を伴ふものをオーデナリー・ファウルに移した爲に審判員が判定を下し易くなつた。他にもメジャー・ファウル、ペナルティ・ファウルを整理して反則と夫に對する罰則の均衡に努めた點が認められる。

従來の水球に就て考へざるを得なかつた點は、此の妨害反則の問題であつて、水中で行はれる爲に判定困難且其の罰則が反則の性質に對して均衡を缺く傾があつた爲に、審判員は其の摘発に躊躇する場合もあり之がゲームを乱暴にして、ロンドン・オリンピックに於て水球競技が一般の不評を蒙ることとなつたのであるが、日本に於ても軌を一にしてゐたのであつた。

本規則は以上の従來の水球競技の缺點を調整したものであつて、特に悪性で、且判断容易な第十七條A・B二項を退水によつて罰し。他は反則がフリー・スロー＝過ぎないオーデナリー・ファウルとして判定することになつたので、審判員はゲームの主導權を握り易くなり、ゲームのフェア化、スピード

化を促進することが手易くなつた次第である。

以上を具体的に掲げるならば

1. タツクルは許される。
2. 然し未だボールを保持してゐない相手方にタツクルの前提としてその自由な動作を妨げることは妨害反則を構成する。
3. 明らかにボールを支配してゐても未だボールを保持してゐない相手方の自由な動作を妨げることも妨害反則を構成する。
4. 競合ひ或ひは飛んで來るボールに双方が飛つく等、ボールが未だ何れの支配とも明かでない場合に、其のボールにプレーする爲に双方の体が觸れ合ふ如き軽度の体觸は、其等の競技者が意識的に相手を押すのでない限り（換言すればボールにプレーするものである限り）ファウルとすべきでない。
5. ゴール前で未だボールが來ない前に好位置を占める爲に押合ふのは明かに反則であるが其の判定基準は押合ひの大きな原因となつた方を反則とすべきである。競技者は何れの場所へでも移動することは自由であるが相手方の居るところに相手方を押除けて行くことは許されない。審判員は此の反則に特に注意する必要がある。
6. オーデナリー・ファウルは意識的でない場合は同一種類の反則を同一人が繰返へし、犯してもメジャー・ファウルとして罰すべきでない。然し例へば當時マークが近すぎて妨害反則を構成するもの或は相手方に抜かれて後より追ひかける際に足の上を泳いで降りる意志を示さない如きは意識的反則と見做すを適當とする場合もある。
7. 審判員は例へばセンター・ボールを取つた後の衝突の如き不可避的に起る性質の反則と注意すれば犯されないで済む（例へば當時マークが近過ぎて相手方の自由を妨害し、好位置を占める爲に相手方を押し、或は抜かれて追かける場合足の上を泳いで降りようとしない等）妨害反則を區別してを判断する必要がある。前者は例へ同一人により繰返し行はれてもオーデナリー・ファウルとして判定するのが正しい。後者は意識的と考へられる場合は注意を與へ時にはメジャー・ファウルとして判定すべき場合もあり得るわけである。
- 又審判員は見事なタツクルとタツクルが一瞬早過ぎる爲の妨害反則は紙一重の相違であることに留意し見事なタツクルを育て助長する方向にゲームをリードする心掛が必要である。
8. 相手方フリー・スローに對してボールを速かに渡さないことは反則である。此の反面審判員は速かにボールを渡すことが損にならない様にゲームをリードする必要がある。
9. タツクルに對するハンド・オフの問題
タツクルに對するハンド・オフは反則である。
何れにしる……以下變更なし。

水泳指導者検定試験委員協議会

期 日 昭和26年6月9-10日
場 所 東京大學山上會議所並にプール

出席者

山形縣水連	五十嵐伊市郎	國井 董
福島縣水連	橋 登	吉田 勝平
群馬縣水連	池谷 君夫	津田 貞
	宮下 茂	
栃木縣水協	荻原 光臣	田中 武夫
	周治 國平	
茨城縣水連	多治見義長	
神奈川縣水連	今関 將	小泉 正延
山梨縣水連	寺田 忠雄	雨宮 快暢
伊豆駿河灣游協	太田 勇	
静岡縣水協	宮崎 正二	望月 末吉
濱名灣游協	井上 利夫	鈴木 暉
愛知縣水連	淺野 俊雄	村瀬 慎爾
岐阜縣水連	山田 修	
石川縣水協	阿部壯次郎	中田 周三
三重縣水連	松田 千明	勝田 清和
琵琶湖水協	山本 吉春	辻 花子
和歌山縣水連	慈幸 嘉一	小山 幸雄
岡山縣水連	濱田 昭	山上 祐司
廣島縣水連	石本 松人	阿野 栄恵
高知縣水連	山本 邦彦	
佐賀縣水連	豆田 光夫	
本	部 (いろは順)	
松澤 一鶴	西本 秀雄	時任 巖
岡本 勁一	岡本 良作	川島 正之
吉田 勝平	多治見義長	内藤 徹
中靜 文一	上野徳太郎	小林 高志
米谷 義郎	小森 栄一	佐々木 救
澤海 東助	左近允正矩	笹島 恒輔
菊田 保孝	三上 節造	白山源三郎
森 秀五		

2、3日來續いた霧雨の天候も案ずる事なく、當日は雨も上り恵まれた協議會日和となり 定刻前より熱心なる参加各加盟團體の 代表者諸氏の参集は申込を受けた團體數を遙かに超過し、本部を啞然たらしめた程の盛況振りを示し、彌が上にも普及發展の機運を旺盛にしたのであつた。

定刻 10 時飛躍的發展の第一歩として先づ日本水泳連盟松澤普及部長の宣言により 協議會の幕が落されたのである。

第一日 (9日)

松澤普及部長の開會の挨拶に引續き、協議會の主旨である二つの議題に付き説明があつた。其の1は本年度 (26.5.26) 理事會に於て 審議決定した検定試験規則の改正に對し 細部に渡る説明が行はれた其の2は昨年迄本連盟に於て實施して來た 水泳指導者講習會並に検定試験が 意外に加盟團體より支持を得られず 全國的普及運動に大きな障害となつてゐることを痛感し、今迄の方法を廢し、水泳指導者講習會並に検定試験を各加盟團體に於て實施し 實施する場合には 新たに本連盟理事會の承認した試験委員を 少くも 2 名含む委員會を組織して行ない、検定試験に合格した者に對しては 合格證を日本水泳連盟の名に於て發行する旨の報告があり、尙検定試験の全國的統一を期する爲に 検定委員の協議會を開き本協議會に出席せる加盟團體の 試験委員と水連理事會指名の委員とを以て、水泳指導者検定試験委員とし、この委員 2 名以上を含まざる 試験委員に依つて行われた 検定試験の合格者に對しては水泳連盟よりの資格證は發行しない。この協議會は毎年行ふので、その機會に検定委員の増加は 認める等の説明があつた。

續いて各専門毎に検定委員として 是非必要なる諸点に付いての解説が行はれた。

1. 救助法 説明及模範實演 擔當 小森栄一氏
2. 補助体操 説明 擔當 吉田勝平氏

— 晝食 休憩 —

3. プールに於て補助体操の實技 擔當 吉田勝平氏
4. 飛込競技法説明 擔當 川島正之氏
5. 水球競技法説明並に演技 擔當 澤海東助氏
時任 巖氏

以上を以て第1日の日程を終了し、午後5時より 体協食堂に於て、日本水泳連盟の招待による 晚餐會に臨み、今夏名古屋に於て實施される 日本泳法大會

の討議其他の座談會を行い、午後 8 時出席の各加盟
 團體代表は水泳日本の前途を祝福しつつ散會した。

第 二 日 (10日)

午前 10 時東大山上會議所に再會、檢定試験實施
 に於ける諸説明特に學科内容に付いて松澤普及部長
 より説明があり、終つて直ちに質疑應答が行はれた
 質疑應答に入るや各加盟團體は各々指導者としての
 立場の相違がある爲本檢定試験が公的なものとして
 認められる様に文部省と共催の基に實施出来るよう
 取計らつてもらいたい等の活潑なる意見が長時間に
 亘り交換され晝食時間を忘れる程の熱心さであつた
 午後は檢定試験に於ける試験問題及び講習科等の
 細部の打合せを行い。一同プールに向つた。プール
 に於ては泳法の實技研究をなし、午後 4 時全日程を
 終了し解散した。

普及部の一大行事である第 1 回本協議會は全般を
 通じ大成功裡に幕を閉じた、(多治見義長記)

水泳指導者資格檢定規則

(26.5.24 理事會決定)

第一條 日本水泳連盟は本連盟並に加盟團體が行つ
 た水泳指導者資格檢定試験(以下檢定試験とゆう)
 の結果に基いて毎年少くも一回水泳指導者の資格
 あるものを公認發表しなければならぬ。

第二條 檢定試験は本連盟の理事會が承認した檢定
 試験委員中より少くも 2 名の委員が加つた 7 名以
 上の實施試験委員によつて行い、上記本連盟承認
 の委員は實施の際に試験に立會わねばならぬ。
 實施試験委員は原則として左の要目を檢定し得る
 者を含むことが必要である。

(1) 標準泳法、(2) 競泳、(3) 水球競技、(4) 飛
 込競技、(5) 救助法、(6) 水泳醫事

第三條 檢定試験は左の科目について行ふ。

1. 學 科

(1) 水泳概説、(2) 水泳史、(3) 初心者指導、(4) 標
 準泳法、(5) 水泳管理、(6) 水泳醫事、(7) 救助法
 (水泳救助者資格檢定試験合格者はこの科目を省
 くことが出来る)、(8) 競泳法、(9) 飛込競技法、
 (10) 水球競技法

2. 實 科

	男 子	女 子
1. 速泳100米	1:30秒以内	2:00秒以内
2. 背泳 50米	50秒以内	1:20秒以内
3. 平泳100米	1:50秒以内	2:30秒以内
4. 潜 行	25 米	20 米
5. 立 泳	踏足にて10米物 を持運び30秒兩 手で保持して停 止する	全
6. 横 泳	扇足・横休にて 25米	全
7. 飛 込	5米以上より逆 飛	3米以上より逆 飛
8. 浮 身	指導法のみ	全
9. 救 助 法	救 助 法 人 工 呼 吸	全
10. 水 泳 補 助 体 操	指 導 實 施	全

速泳、背泳、平泳については受験者が男子35歳、
 女子30歳以上のときは限定時間と20%増してもよ
 い。

立泳の實施は片手で物を水面上に捧げて 5 米踏足
 で泳ぎ、次に両手で同様に保持して 30秒間同一位
 置に停つて泳ぎ終つて再び片手で持つて泳ぎ歸ら
 しめる。物は水球ボールを標準とする。

横泳は25米を12掻き以内で泳ぎ得るのを標準とす
 る。

5 米飛込台の設備のない所では適當の高さの固定
 飛込台を用いる。

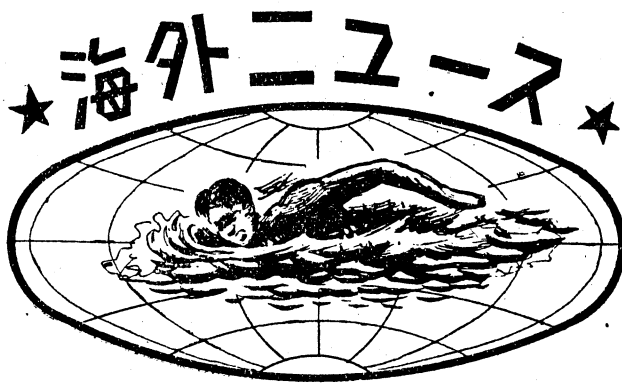
補助体操に就ては体操指導の能力を見、なるべく
 本連盟の水泳補助体操要項を指導する。

第四條 檢定試験は毎回全科目受験を原則とするが
 受験再度以後の場合は不合格科目のみに就いて受
 験せしめることができる。

第五條 檢定試験を行う加盟團體は檢定料をとるこ
 とができる。

第六條 檢定試験を行つた加盟團體は、合格者に對
 し合格證を與え、本連盟宛その結果を報告し、合
 格者に對する本連盟公認の資格證を請求しなければ
 ならぬ。

報告には受験者の履歷(水泳履歷を含む)試験の
 採点表を添え、合格者には他に寫眞(二枚)資格證
 發行手数料その他指定した必要なものを添えて請
 求しなければならない。



辻 富士夫

NEWS FRASH

★オリンピック 1500 に準決なし

FINAの理事會は1950年9月初旬(4日-6日)パリでの會合でヘルシンキのオリンピックでは1500米自由形の準決勝は行わず、タイムレースの豫選で8名のファイナリストをきめることをきめた。

★パンアメリカン水上競技大會

第1回パン・アメリカン競技大會は2月25日から3月9日までブエノスアイレスで行われた。水泳競技はアメリカが優勢をしめ男子で4女子で6計10種目の優勝を獲得した。

アメリカの代表選手は最良のコンディションで最優秀の選手が選ばれたやうには考えられない。そのため男子飛込は古い選手が出て飛板、高飛ともメキシコのジョアキン、カピラに1位をさらわれて居りまた男子競泳の400,1500ともブラジルの岡本テツオ選手が優勝してゐる。しかしカピラといい、岡本といいともに相當の實力を發揮したことは否めない。ただ女子競泳はアルゼンチンがなかなかよく特に自由形200,400に優勝した15歳のマリア・シュルツのすぐれた記録に對しては今のいかなるアメリカの精鋭をもつてしても破り得まい。シュルツは世界の優位をねらう今やかくれもない一偉力である。

なをアマチュア、アスリートによるとアメリカの飛込のリーとアンダーソンは一年以上も競技から離れていたとのことである。

また男子平泳の1着アルゼンチンのドミンゲの2分43秒8は在モンテヴィデオ石原田の頼りによるとオーソドックスの泳ぎだとのことである。

パンアメリカン大会の記録

【男子】

100米自由形

- | | | |
|---|------------------------|--------|
| ① | リチャード・クリーブランド(米) | 58.8 |
| ② | ロナルド・ゴーラ(米) | 59.5 |
| ③ | ニカシオ・シルウエリオ・フエレル(キューバ) | 1:00.0 |
| ④ | アルベルト・イサツク・アウマダ(メキシコ) | 1:00.4 |
| ⑤ | セサル・エー・ガルド(アルゼンチン) | 1:00.8 |
| ⑥ | ルネ・ムニョース・リベラーニ(キューバ) | 1:02.8 |

400米自由形

- | | | |
|---|------------------------|--------|
| ① | テツオ・オカモト(ブラジル) | 4:52.4 |
| ② | ウィリヤム・ヒュースナー(米) | 4:54.5 |
| ③ | トナテイウ・グチエレス・オルギン(メキシコ) | 4:57.2 |
| ④ | ルイス・チルド(コロンビヤ) | 4:58.7 |
| ⑤ | フェデリコ・スワンク(アルゼンチン) | 4:59.6 |
| ⑥ | カルロス・ボナレッチ(アルゼンチン) | 5:01.4 |

1500米自由形

- | | | |
|---|------------------------|---------|
| ① | テツオ・オカモト(ブラジル) | 19:23.3 |
| ② | トナテイウ・グチエレス・オルギン(メキシコ) | 19:24.5 |
| ③ | エフレン・フイエロ・マンリ(メキシコ) | 19:57.4 |
| ④ | バーウエル・ジョーンズ(米) | 20:10.3 |
| ⑤ | カルロス・ボナジツチ(アルゼンチン) | 20:10.2 |
| ⑥ | ウィリヤム・ヒュースナー(米) | 20:11.3 |

100米背泳

- | | | |
|---|-----------------------|--------|
| ① | アレン・スタック(米) | 1:08.0 |
| ② | ペドロ・ガルワオ(アルゼンチン) | 1:08.3 |
| ③ | バーウエル・ジョーンズ(米) | 1:09.8 |
| ④ | クレメンテ・メヒア・アウイラ(メキシコ) | 1:10.2 |
| ⑤ | イロ・モンチロ・ダ・フォンセカ(ブラジル) | 1:11.1 |
| ⑥ | フェルナンド・パワン(ブラジル) | 1:11.5 |

200米平泳

- | | | |
|---|-------------------------|--------|
| ① | エクトル・ドミンガス・ニモ(アルゼンチン) | 2:43.8 |
| ② | ウィリー・オット・ホルダン(ブラジル) | 2:47.5 |
| ③ | パウエン・スタス・フォース(米) | 2:47.6 |
| ④ | オルランド・コツサーニ(アルゼンチン) | 2:48.6 |
| ⑤ | マヌエル・サンギリ・ペタンコウルト(キューバ) | 2:51.5 |
| ⑥ | アデマル・グリホ(ブラジル) | 2:58.1 |

800 米リレー

① 米國	ゴ クリーブランド・ヒューズナー	9:06.0
②	ブラジル	9:13.0
③	アルゼンチン	9:19.5
④	メキシコ	9:30.0
⑤	チリー	9:50.9
⑥	サルバドル	9:54.3

300 米メドレーリレー

① 米國	(スタック・ジョーンズ・クリーブランド)	3:16.9
②	アルゼンチン	3:20.7
③	メキシコ	3:22.5
④	キューバ	3:25.4
⑤	ブラジル	3:27.5
⑥	サルバドル	3:40.6

飛板飛込

①	ホアキン・カピヤ・ペレス (メキシコ)	201.716
②	ミラー・アンダーソン (米)	199.066
③	サミュエル・リー (米)	191.916
④	アルベルト・カピヤ・ペレス (メキシコ)	160.033
⑤	ミルトン・ブジン (ブラジル)	158.900
⑥	グンテル・ムンド・ボルグス (チリー)	128.916

高飛込

①	ホアキン・カピヤ・ペレス (メキシコ)	159.966
②	サミュエル・リー (米)	153.533
③	ミラー・アンダーソン (米)	136.566
④	ロドルフォ・ペレア・シェフエンテス (メキシコ)	134.800
⑤	アロルド・フスコ・マリアーノ (ブラジル)	125.950
⑥	エウヂエニオ・オベルンドルフエル (アルゼンチン)	112.783

【女子】

100 米自由形

①	シャロン・ジヤリ (米)	1:08.4
②	ジャックリン・ラビアン (米)	1:09.9
③	アナ・マリア・シユルツ (アルゼンチン)	1:10.6
④	エイレーン・ホルト (アルゼンチン)	1:10.7
⑤	マグダ・ブルツゲマン・シュミット (メキシコ)	1:11.8
⑥	ピエダデ・ユウテイノ・ダ・シルワ・ダワレス (ブラジル)	1:12.2

200 米自由形

①	アナ・マリア・シユルツ (アルゼンチン)	2:32.4
②	ベテイー・ミュレン (米)	2:32.3
③	エイレーン・ホルト (アルゼンチン)	2:36.5
④	ピエダデ・ユウテイノ・ダ・シルワ・ダワレス (ブラジル)	2:37.0
⑤	タリタ・アレンサール・ロドリゲス (ブラジル)	2:47.9
⑥	ジャックリン・ラビアン (米)	2:49.1

400 米自由形

①	アナ・マリア・シユルツ (アルゼンチン)	5:26.7
②	キャロリン・グリーン (米)	5:33.1
③	ピエダデ・ユウテイノ・ダ・シルワ・ダワレス (メキシコ)	5:33.6
④	ベテイー・ミュレン (米)	5:34.3
⑤	クリスチーナ・クハト (アルゼンチン)	5:40.4
⑥	マグダ・ブルツゲマン・シュミット (メキシコ)	5:49.6

100 米背泳

①	モーリン・オブライエン (米)	1:18.5
②	シャイラ・ドナヒュー (米)	1:20.5
③	マグダ・ブルツゲマン・シュミット (メキシコ)	1:21.0
④	ネリダ・イルマデル・ロシオ (アルゼンチン)	1:21.6
⑤	ワンナ・ロツコ (アルゼンチン)	1:22.2
⑥	アナデ・サンタ・リタ (ブラジル)	1:22.4

200 米平泳

①	ドロテア・トウルンプル (アルゼンチン)	3:08.4
②	ベアトリス・ローデ (アルゼンチン)	3:10.3
③	キャロル・ベンス (米)	3:14.7
④	マニガレット・ハルトン (米)	3:16.9
⑤	アドリアナ・エルナンデス・アルワレス (メキシコ)	3:18.9
⑥	ガブリエラ・ランヂェルフオルト (チリー)	3:24.1

300 米メドレーリレー

①	米國 (オブライエン・ベンス・ジヤリ)	3:49.3
②	アルゼンチン	3:59.7
③	メキシコ	4:13.2
④	ブラジル	4:26.5
⑤	チリー	4:28.3

400 米リレー

① 米 國 (ヂヤリ、グリーン、ミュレン、ラビアン)	4:37.1
② アルゼンチン	4:48.1
③ ブラジル	5:02.6
④ メ キ シ	5:22.1

飛板飛込

① マリー・カニンガム (米)	131.930
② パトリシヤ・マツク・コミツク (米)	128.083
③ ドロレス・カステイヨ (ガテマラ)	109.900
④ イルマ・ロサノ・ガヨ (メキシコ)	100.800
⑤ エルガ・ムント・ボルグス (チリー)	90.333
⑥ デリア・コスタ・アルメイダ (ブラジル)	86.366

高 飛 込

① パトリシヤ・マツク・コミツク (米)	65.716
② アルロタ・リオス・ラウレンサナ (メキシコ)	65.133
③ マリー・カニンガム (米)	51.533
④ ドロレス・カステイヨ (ガテマラ)	49.950
⑤ イルマ・ロサノ・ガヨ (メキシコ)	47.333
⑥ エルガ・ムント・ボルグス (チリー)	46.966

水球リーグ戦

ブラジル	6-3	チリ	-
メキシコ	1-13	アルゼンチン	
米 國	6-2	チリ	-
米 國	7-0	メキシコ	
ブラジル	0-7	アルゼンチン	
チリ	2-5	メキシコ	
チリ	0-10	アルゼンチン	
米 國	5-8	ブラジル	
メキシコ	3-4	ブラジル	
米 國	2-9	アルゼンチン	

得点 アルゼンチン8点、ブラジル6点、米國4点
メキシコ2点、チリー0点

★米國東部學生水上競技大會

上記大會は3月15日から4日間 ハーバート大學の
25碼プールで舉行された。結果は下の通りで注目す
べき記録が可なり生れた。

50 碼自由形

① D. シェフ (エール大)	23.2
② R. ニューゼント (ラトガーズ大)	23.1
③ R. リード (エール大)	23.6
④ D. ヘッドベルグ (ハーバード大)	23.6

⑤ L. ザンジャール (バツフアロ大)	24.3
⑥ J. マツクナマラ (ハーバード大)	24.5

100 碼自由形

① D. シェフ (エール大)	51.5
② R. リード (エール大)	51.7
③ R. ニューゼント (ラトガーズ大)	52.0
④ W. ファーンズワース (エール大)	52.1
⑤ J. マツクインタイヤー (ダートマス大)	53.4
⑥ L. マンソン (エール大)	53.6

220 碼自由形

① J. マーシャル (エール大)	2:06.8
② W. ムーア (エール大)	2:08.1
③ J. マツクレーン (エール大)	2:09.1
④ J. ブラム (エール大)	2:12.9
⑤ J. クレイギー (陸軍大)	2:16.7
⑥ D. ジョーンズ (ウイリヤムス大)	2:17.9

440 碼自由形

① J. マーシャル (エール大)	4:31.0
② W. ムーア (エール大)	4:38.1
③ J. マツクレーン (エール大)	4:40.1
④ バーク (ハーバード大)	4:45.1
⑤ D. スミス (陸軍大)	4:49.2
⑥ F. チェムバーレン (エール大)	4:52.0

1500 米自由形

① J. マーシャル (エール大)	18:22.8
② W. ムーア (エール大)	18:44.5
③ J. マツクレーン (エール大)	18:59.4
④ F. チェムバーレン (エール大)	19:55.6
⑤ D. ジョーンズ (ウイリヤムス大)	20:22.1
⑥ J. バンダースルイス (海軍大)	20:29.1

100 碼背泳

① J. トーマス (ノース・カロライナ大)	58.8
② R. トーマン (エール大)	58.8
③ D. ウェーシー (アンハースト大)	62.0
④ R. オーウオーター (コロンビヤ大)	62.7
⑤ J. スタインハート (ハーバード大)	63.6
⑥ R. ハーグレイブ (プリンストン大)	64.5

200 碼背泳

① J. トーマス (ノース・カロライナ大)	2:08.2
② R. トーマン (エール大)	2:09.5
③ J. スタインハート (ハーバード大)	2:17.6
④ R. ハーグレイブ (プリンストン大)	2:17.6
⑤ D. ウェーシー (アンハースト大)	2:19.0

⑥ B. ジョンソン (海軍大) 2:19.6

100 碼平泳

- ① R. ブラウナー (プリンストン大) 1:01.2
- ② S. スミス (エール大) 1:02.1
- ③ A. カーツマン (セトン・ホール大) 1:02.4
- ④ フイツツ・ジロール (ラサール大) 1:02.8
- ⑤ ダイヤモンド (ユニオン大) 1:03.5
- ⑥ F. ブラッチ (ダートマス大) 1:03.8

200 碼平泳

- ① R. ブラウナー (プリンストン大) 2:22.4
- ② A. カーツマン (セトンホール大) 2:25.5
- ③ F. ブラッチ (ダートマス大) 2:26.1
- ④ W. オスボーン (エール大) 2:27.2
- ⑤ S. スミス (エール大) 2:28.6
- ⑥ R. パロツト (トリニティー大) 2:32.1

400 碼リレー

- ① エール大學 (マンソン・ファーンズワース
ブラム・シエフ) 3:28.9
- ② ハーバート大學 3:34.9
- ③ 陸軍大學 3:36.2
- ④ ブラウン大學 3:40.7
- ⑤ ラドガーズ大學 3:41.5

300 碼メドレーリレー

- ① エール大學 (ファーンズワース・スミス・リード) 2:55.6
- ② ハーバード大學 2:56.2
- ③ 海軍大學 3:00.2
- ④ ダートマス大學 3:00.9
- ⑤ セトンホール大學 3:04.1

150 碼個人メドレー

- ① J. トーマス (トス・カロライナ大) 1:31.8
- ② R. トーマン (エール大) 1:33.3
- ③ D. グレーイ (ブラウン大) 1:37.9
- ④ P. コウチ (ナイヤガラ大) 1:37.8
- ⑤ W. デスプレス (ハス・カロライナ大) 1:39.5
- ⑥ ベンザ (セトンホール大) 1:41.4

1 米飛板飛込

- ① R. ハードリッチ (エール大) 113.33
- ② P. デイリングム (ハーバード大) 109.80
- ③ J. カナー (デューク大) 100.76
- ④ J. マーチン (陸軍大) 90.83
- ⑤ C. ハードルストン (スプリングフィールド大) 84.48
- ⑥ F. マンハイム (ハーバード大) 83.78

★マーシャル世界新記録

ジョン・マーシャルは、3月24日夜ニューヘヴンのエール大學(25碼プール)で行われたコネチカット州 AAU 水泳大會で世界記録更新の競泳を試み、440碼自由形に4分28秒1、途中計時の400米に4分26秒9の二つの世界新記録を出した。公認世界記録はマーシャルが昨年つくた440碼4分31秒2、400米4分29秒5である。

★紺野世界新記録

3月15日ホノルルで開かれた全ハワイ高校對抗水上競技大會で紺野選手は220碼自由形(25碼プール)に2分6秒6の好記録を出し、さらに3月9日ハワイプナホウ・プール(25碼)で440碼自由形に4分30秒6の世界新記録を樹立した。また途中の400米でも4分29秒0の世界新記録をつくつた。

★紺野、河本好記録

ハワイ AAU 室内水上選手権大會は4月14日ホノルルで行われたが、紺野は220碼自由形に2分6秒1の好記録を出した。また、イヅリン・河本は440碼自由形に5分26秒3で優勝した。

★クリーブランドが75ヤードに全米新記録

リチャード・クリーヴランド(オハイオ州立大)は3月24日オハイオ州立大室内プールで舉行のエキシビジョン75碼自由形に35秒7の全米新記録を出した。従來の最高記録は1944年アラン・フォード(エール大)の36秒である。

★220 ヤード平泳に全米學生新記録

ミシガン大對オハイオ州大定期水泳戦は2月24日アン・アーバー(ミシガン州)で行われ、オハイオ州大が55對29で17連勝をとげたが、220碼平泳ではオハイオ州新人ジェランド・ホーランが2分17秒2の全米學生新記録を作つた。

★アメリカのジュニア・オリンピックス

アメリカの AAU は1945年からジュニア・オリンピックスを開催、毎年陸上、水泳など17歳以下の選手の競技會を各地區で行つてきているが昨年12月の AAU の總會で1951年から水泳は各地で同時に開かれた競技會の成績を電報で集め全國的な成績を出すことになつた。

★オーストラリア・ニュー・サウス・ウエールズ選手権

…オランダ女子選手参加…

オーストラリアのニュー・サウス・ウエールズ 1951 年度選手権大会は 1 月 4, 6, 9 日 ノース・シドニー オリンピックプール(55ヤード)で舉行されたが、ニュージーランドの選手のほか世界的選手である オランダのイルマ・シユマツヘルと グレタ・ハリアートが参加した。大会記録次の通り。

◇100 ヤード自由形

① W. グリフィン (ニュージーランド)	1:10.8
② ヘルマン (濠洲)	1:11.0
③ ジヤコビ (ニュージーランド)	1:12.6
④ ザリンスキ (ク)	1:12.8
⑤ レツゲ (濠洲)	1:13.6
⑥ ダガン (ク)	

◇220 ヤード自由形

① イルマ、シユマツヘル (オランダ)	2:30.2
② ジョンソン (ニューサウスウエールズ)	2:37.6
③ グリフィン (ニュージーランド)	2:42.0
④ ヘイマン (濠洲)	2:43.6
⑤ プレサートン (ク)	2:44.0
⑥ ジヤコビ (ニュージーランド)	2:45.4

◇440 ヤード自由形

① イルマ・シユマツヘル (オランダ)	5:25.6
② ジョンソン (濠洲)	5:35.6
③ ナツシュ (ク)	5:51.6
④ グリフィン (ニュージーランド)	5:54.0
⑤ プレサートン (濠洲)	5:54.8
⑥ レツゲ (ク)	6:09.0

◇880 ヤード自由形

① ノートン (南濠)	11:37.4
② ジョンソン (ニュージーランド)	11:55.0
③ プレサートン (濠)	12:31.8
④ ベーバー (ク)	13:26.4
⑤ デュワー (ク)	13:33.4

◇220 ヤード平泳

① ホスキング (濠)	3:17.2
② レツゲ (ク)	3:30.2
③ アウシュツツ (ク)	3:33.2
④ ケイヴス (ク)	3:38.2
⑤ リアン (ク)	3:40.4
⑥ ロフクオード (ク)	3:43.0

◇110 ヤード背泳

① グレタ・ハリアート (オランダ)	1:18.2
② デイヴイス (濠)	1:18.2
③ マチエツト (ク)	1:23.2
④ パインズ (ク)	1:24.0
⑤ ハル (ク)	1:26.2
⑥ マンリー (ニュージーランド)	1:33.0

◇440 ヤードリレー

① ニュージーランド	4:59.2
② ボンデイ	5:11.0
③ マンリー	5:21.0
④ スピット	5:21.4

◇3×55 ヤード個人メドレー

① ジョンソン (濠)	2:09.8
② ホスキング (ク)	2:14.4
③ ダガン (ク)	2:20.8
④ グリーン (ク)	2:26.0
⑤ パインズ (ク)	2:26.4
⑥ ケイヴス (ク)	2:28.8

16 歳以下の選手権

◇55 ヤード自由形

① モラン (濠)	32.8
② フォアサイス (ク)	33.2

◇110 ヤード自由形

① モラン (濠)	1:15.2
② フォアサイス (ク)	1:15.6

◇220 ヤード自由形

① モラン (濠)	2:49.0
② フォアサイス (ク)	2:49.0

◇110 ヤード背泳

① ハル (濠)	1:23.8
② ウィリアムス (ク)	1:26.0

★400 米平泳にクライン世界最高記録

ドイツのヘルベルト・クラインは 3 月 25 日 ヘルム シュタットで行われた競技会で 400 米平泳に 5 分 30 秒 2 の世界最高記録を出した、前世界記録は 1948 年 オランダのモツプ・ポンテの 5 分 40 秒 2 である。(註= 400 米平泳は世界記録の公認はされない。) つづいて彼は 4 月 8 日 マンハイムの 25 米プールで 200 米平泳に自己の持つ歐洲記録を 1 秒 2 更新する 2 分 31 秒 4 の新記録を出した。

★女子 150 ヤード背泳にウイレマ世界新

オランダの女子水泳選手 ヘールチェ・ウイレマは4月15日ヒルヴェルスムで行われた水泳競技会で150碼背泳に1分40秒1の世界新記録を出した。従来記録はオランダのキントが1948年にロッテルダムでつくつた1分42秒1である。

★100 米平泳にセケリイ世界新記録

ソ連対ハンガリー国際水泳競技会は5月12日モスクワで舉行されたが、ハンガリーのエヴァー・セケリイ嬢は女子100米平泳で1分16秒9の世界新記録を出し同記録の公認を要求した。尙男子500米自由形でソ連のコルダッチは5分56秒1のソ連新記録を出した。

註=女子100米平泳の従来世界記録はヴァレリー(フランス)の1分17秒4で、男子500米自由形のコルダッチの5分56秒1は歐洲新記録となるはずである

★ソ連 800 米繼泳に歐州新記録

ソ連は5月11日男子800米リレーに8分46秒9の歐洲新記録をつくつたと公表した。イズヴェチヤ紙によるとウシヤコフ、メシユコフ、ド布林スキー、ドラピヤの4選手が泳いだものでもとの歐洲記録はハンガリーの8分48秒4である。

★500 米平泳に世界最高記録

ドミンゲス7分1秒4

4月4日ブエノスアイレスで行われた水上競技会500米平泳にアルゼンチンのヘクトル・ドミンゲスはオランダのボンテの持つ世界記録を9秒2破る7分1秒4の世界最高記録を出した。しかしこの種目は世界の公認記録にない。

★ジャニーまた優勝

110 ヤードに 59 秒 2

オーストラリア遠征中のフランス水泳選手ジャニーは2月24日メルボルンで開催中のオーストラリア水泳選手権の110碼自由形に出場、59秒2のオーストラリア新記録でまたオーストラリアの新人バリーダグは880碼自由形に10分21秒3で優勝した。またオランダ女子水泳の第一人者 シューマツヘルも同大會の220碼自由形に2分31秒3で優勝した。

★カンタベリー大會

カンタベリー百年祭ゲームが、ニュージーランドのクライストチャーチで昨1950年12月20日から4日間行われアメリカの男子水泳チームはこれに参加したが、一種目のほか全部に優勝した。監督兼コーチはワシントンACのレイ・ドーターズ氏が當つた。

記録はAAU機関紙から採録したが種目は男女とも平泳は一つもなく、また同じ種目を何度もやつており正規の競技会の形はしていない。

男 子

☆110ヤード自由形 ① ジェームス・マックレーン(米)59秒9 ② ボモント(カナダ) ③ ハッチウエル(ニュージーランド)

☆110ヤード自由形 ① ボモント(カナダ)59秒6 ② マックレーン(米) ③ ヒュースナー(米)

☆220ヤード自由形 ① ジェームス・マックレーン(米)2分14秒5 ② W.ヒュースナー(米) ③ ギルクリスト(カナダ)

☆440ヤード自由形 ① W.ヒュースナー(米)4分57秒9 ② ギルクリスト(カナダ) ③ ケレウエイ(オーストラリア)

☆110ヤード背泳 ウルフ(米)1分10秒4 ② ボモント(カナダ) ③ ギブス(ニュージーランド)

☆110ヤード背泳 ① ウルフ(米)1分10秒9 ② ギブス(ニュージーランド) ③ ハリング(ニュージーランド)

☆110ヤード背泳 ① ウルフ(米)1分10秒7 ③ ハリング(ニュージーランド) ② ボモント(カナダ)

☆220ヤード背泳 ① ウルフ(米)2分39秒6 ② ギブス(ニュージーランド) ③ パスレー(ニュージーランド)

女 子

☆110ヤード自由形 ① シューマツヘル(オランダ)1分6秒7 ② ヒックス(オーストラリア) ③ ブリッドソン(ニュージーランド)

☆110ヤード自由形 ① シューマツヘル(オランダ)1分11秒7 ② ブリッドソン(ニュージーランド) ③ ヒックス(オーストラリア)

☆110ヤード自由形 ① シューマツヘル(オランダ)1分7秒0 ② ウェリントン(イギリス) ③ ヒックス(オーストラリア)

☆220ヤード自由形 ① シュマツヘル (オランダ) 2分30秒6 ② ヒックス (オーストラリア) ③ ウェリントン (イギリス)

☆110ヤード背泳 ① ハリアート (オランダ) 1分17秒2 ② デイヴィス (オーストラリア) ③ パスカル (オーストラリア)

☆110ヤード背泳 ① ハリアート (オランダ) 1分23秒7 ② パスカル (オーストラリア) ③ スチュアート (ニュージーランド)

☆220ヤード背泳 ① ハリアート (オランダ) タイム不明 ② デイヴィス (オーストラリア) ③ エイト (イギリス)

☆220ヤード背泳 ① ハリアート (オランダ) タイム不明 ② デイヴィス (オーストラリア) ③ エイト (イギリス)

★長水路世界十傑

— 1950 年度 —

さきに本紙で紹介したドリニー氏の 世界十傑は短水路で出た記録、長水路で出た記録の區別なく 一緒にしてつくつたもので 實力の比較には不便だがオーストラリアのズイム・ニュースは 長水路で出た記録だけをもとに十傑をつくつている。参考までこれを紹介することにした。(註に辻挿入)

〔男 子〕

【100米自由形】(×印は110ヤード)

① カダス (ハンガリー)	57.6
② ジャニー (フランス)	57.7
(註) 濱 口 (日本)	58.1
×③ クリーヴランド (アメリカ)	58.2
④ マックレーン (アメリカ)	59.0
(註) 眞 木 (日本)	59.2
⑤ ミロスラヴィツク (ユーゴ)	59.2
×⑥ スコールズ (アメリカ)	59.3
⑦ ペデルソル (イタリア)	59.5
(註) 丸 山 (日本)	59.6
⑧ オニール (オーストラリア)	59.6
⑨ ゴラ (アメリカ)	59.7
⑩ 丸山 (日本)	59.8

【400米自由形】(×印は440ヤード)

① 古橋 (日本)	4:33.2
×② マーシャル (オーストラリア)	4:39.3
③ マックレーン (アメリカ)	4:40.4

④ 紺野 (アメリカ)	4:41.8
(註) 田中寧 (日本)	4:42.8
⑤ 東 (日本)	4:43.4
⑥ ムーア (アメリカ)	4:43.9
(註) 橋 爪 (日本)	4:44.4
⑦ カダス (ハンガリー)	4:45.2
⑧ アグニュー (オーストラリア)	4:45.5
(註) 田中純 (日本)	4:47.2
⑨ ジャニー (フランス)	4:48.0

【1500米自由形】(×印1690ヤード)

① マーシャル (オーストラリア)	18:37.0
② 紺野 (アメリカ)	18:44.4
③ 東 (日本)	18:47.2
③ 田中寧 (日本)	18:59.6
(註) 古橋 (日本)	19:02.2
⑤ 橋爪 (日本)	19:06.8
(註) 川口義 (日本)	19:14.0
川 畑 (日本)	19:24.2
⑥ マックレーン (アメリカ)	19:24.9
(註) 田中純 (日本)	19:32.8
北 村 (日本)	19:36.8
藤 野 (日本)	19:38.6
本 山 (日本)	19:39.6
川口友 (日本)	19:40.0
⑦ スチベチツク (ユーゴ)	19:44.1
⑧ ソルダス (ハンガリー)	19:44.2
⑨ テイラー (アメリカ)	19:44.5
×⑩ アグニュー (オーストラリア)	19:48.0

【200米平泳】

(註) ブローナー (アメリカ)	2:36.8
① ブローナー (アメリカ)	2:37.6
② 萩原 (日本)	2:38.4
③ クライン (ドイツ)	2:38.6
④ スタスフォース (アメリカ)	2:39.0
⑤ 梶川 (日本)	2:39.0
⑥ ルシアン (フランス)	2:40.6
⑦ 清水 (日本)	2:41.8
⑧ オカナー (アメリカ)	2:41.8
(註) 宇田 (日本)	2:42.8
長澤 (日本)	2:42.8
⑨ メネス (ハンガリー)	2:43.4
⑩ ラスク (スウェーデン)	2:43.8

【100米背泳】(×印110ヤード)

① トーマス (アメリカ)	1:07.2
② スタック (アメリカ)	1:07.2
×③ ウィード (南阿)	1:07.9
④ ブロックウエー (イギリス)	1:08.0
⑤ ソーマン (アメリカ)	1:08.0
⑥ フェッターマン (アメリカ)	1:08.7
⑦ ニルソン (スウェーデン)	1:09.4
⑧ ヨシノブ (アメリカ)	1:09.4
(註) 山本 (日本)	1:09.6
⑨ 山本 (日本)	1:09.8
⑩ キーヴィット (オランダ)	1:10.0

【女子の部】

【100米自由形】(×印110ヤード)

① セケリー (ハンガリー)	1:05.8
② テメス (ハンガリー)	1:06.2
③ シュマツヘル (オランダ)	1:06.4
④ ヴェツセン (オランダ)	1:07.1
⑤ G・アンデルセン (デンマーク)	1:07.9
×⑥ マックエイド (オーストラリア)	1:08.5
⑦ フレディン (スウェーデン)	1:09.6
×⑧ ウェリントン (イギリス)	1:09.6
×⑨ ルンドクイスト (スウェーデン)	1:09.7
⑩ スペンサー (オーストラリア)	1:09.9

【400米自由形】(×印440ヤード)

① セケリー (ハンガリア)	5:18.2
② デイヴィス (オーストラリア)	5:23.5
③ アンデルセン (デンマーク)	5:30.9
④ カラマ (アメリカ)	5:30.9
⑤ グリーン (アメリカ)	5:31.7
×⑥ ノートン (オーストラリア)	5:31.7
⑦ シュマツヘル (オランダ)	5:31.9
⑧ カワモト (アメリカ)	5:36.4
⑨ クラインシュミット (アメリカ)	5:36.4
⑩ トーマ (フランス)	5:37.4

【200米平泳】(×印220ヤード)

① ノヴァク (ハンガリー)	2:59.0
② フェルガウエン (ベルギー)	3:00.1
×③ ゴードン (イギリス)	3:01.7
④ ボニール (オランダ)	3:01.8
⑤ デグルート (オランダ)	3:02.2
×⑥ リオンズ (オーストラリア)	3:03.6

⑦ セツケリー (ハンガリー)	3:04.3
⑧ ロルペル (ドイツ)	3:05.7
⑨ ルシアン (フランス)	3:06.4
⑩ ゼンセン (デンマーク)	3:07.4

【100米背泳】(×印110ヤード)

① マックドワル (イギリス)	1:16.3
② テメス (ハンガリー)	1:16.4
×③ デイヴィス (オーストラリア)	1:16.6
④ ヘルブルック (ドイツ)	1:16.8
×⑤ ファンデホルスト (オランダ)	1:17.2
×⑥ ハリアート (オランダ)	1:17.2
⑦ オブライエン (アメリカ)	1:17.9
⑧ エイツ (イギリス)	1:18.5
⑨ スチュアート (ニュージーランド)	1:18.6
⑩ パスカル (オーストラリア)	1:18.6

◇ オリンピックで

決勝に残るには

最近の世界水泳界の状況からして、オリンピックで決勝に残り得る記録を一應考えてみると、およそ次の程度ではなからうか。(カッコ内はオリンピック記録)

男子

100 米自由形	58秒6	(57秒3)
400 米自由形	4分42秒0	(4分41秒0)
1500 米自由形	19分00秒0	(19分12秒4)
100 米背泳	1分08秒8	(1分05秒9)
200 米平泳	2分40秒0	(2分39秒3)
800 米リレー	9分05秒0	(8分46秒0)

女子

100 米自由形	1分08秒0	(1分05秒9)
400 米自由形	5分25秒0	(5分17秒8)
100 米背泳	1分18秒0	(1分14秒4)
200 米平泳	3分02秒0	(2分57秒0)
400 米リレー	4分45秒0	(4分29秒2)

昭和25年度の20傑表から上記の記録内の人を拾うと、濱口・古橋・東・田中(寧)・萩原・梶川の6名である。今年は15名位は出てもらいたいものだ。(宍道)

プー ル 公 認

昭和 26 年度 (本誌 90 号 107 頁発表以後) 本連盟で公認したるプールは次の通りである。

公認番號	名 稱	公稱距離	所 在 地	加盟団体
21 號	濱松市元城プール	(50 米)	濱松市元城町 131	濱名灣游泳協會
22 號	岡崎市葵プール	(50 米)	岡崎市伊賀町河原田 22 葵中學校内	愛知水泳連盟
23 號	市營上野プール	(50 米)	三重縣上野市小田原町	三重水泳連盟
25 號	松江市營白瀉プール	(50 米)	松江市白瀉埋立地	島根縣水泳連盟
26 號	大分市營水上競技場	(50 米)	大分市今津留	大分縣水泳協會
109 號	銚子市營プール	(25 米)	銚子市後飯町	千葉縣水泳連盟
110 號	尼ヶ崎高校プール	(25 米)	兵庫縣尼ヶ崎市北大物町 12	兵庫縣水泳連盟

東京各大學新人と

卒業生の動向

高等學校を卒業した優秀な選手がどの大學に入學したか、大學を卒業した選手はどうしたか、とゆうことは水泳ファンの春の重大關心の一つで、ファンから數多くの問合せがあつた。

もう時期を失した感もあるが、そのかわり確實なところを昨年 of 日本學生大會の成績の順に従つて各大學水泳部の動勢を御傳へしよう。

まづ昨年の覇者 **日本大學** では

古橋 廣之進	自由形	大同毛織、東京
濱口 喜博	〃	日本鋼管、〃
眞木 昌	〃	ブラジルコーチ
橋爪 四郎	〃	A・I・U. 東京
東 昇	〃	富士製織、〃
古橋 條司	〃	森永製菓、下田
宇田 久壽秀	平泳	富士製織、東京
榎谷 周二	背泳	〃 〃
萩原 甫	飛込	〃 〃
高田 弘一	〃	日本鋼管、〃
山口 準之助	水球	日本石油、新潟

等 11 選手を送り出し、八幡製織や横濱ゴムを慌てさせ、他の大學をほつとさせた。

ところが次のやうに新人をゴツソリ入學させて陣

容を備へ早大以下を驚かしてゐる。

谷川 禎次郎	佐伯一高	自由形
佐坂 宏夫	川島高	〃
宮本 英樹	田邊高	自由形
安岡 信雄	安藝高	〃
五島 繁富	中京商高	〃
廣重 俊一	三瀨高	〃
永井 武治	神愛高	〃
今吉 孝夫	加治木高	〃
小穴 善也	松商學園	〃
吉田 林之	嘉穂高	〃
清野 滿平	石巻高	背泳
野並 嘉好	中村高	〃
山本 正男	觀音寺一高	平泳
平山 綽保	田川高	〃
吉開 幸男	明善高	〃
坂本 章八	日大三高	飛込
馬 淵 良	金澤市工高	〃
江濱 敦子	筑紫女高	自由形
木村 富子	松蔭高	飛込

ほか、鈴木 弘 (岡崎高) が日大三高に轉校した

早稻田大學 は卒業者

藤岡 達昂	平泳	三菱鑛業、東京
柳本 隆	自由形	日本電報通信社、大阪
谷合 繁男	〃	〃

卒業者が比較的少く、新入生も數は少いが粒選りで一段と強化された。

杉原 滿弘	早高	自由形
北村 康雄	高知商高	〃

胡井啓作	今治西高	自由形
安藤隆章	津山成美	〃
原田利雄	今治西高	〃
中島雅好	早高	背泳
長澤二郎	〃	平泳
藤井義弘	門司東高	〃

ほかに

谷 訥	津島高	自由形
關川重久	佐渡高	背泳

が早稲田高校に轉校した。

明治大學 は卒業者

池本與吉	自由形	長崎酒業、長崎
------	-----	---------

わすか一名で、新入生は

片瓜幸雄	磐田南高	自由形
寺田大策	長崎東高	〃
神川裕康	瀬戸田高	〃
鷹野強	磐田農高	〃
石丸宗介	山口高	〃
吉村健三	長崎練早高	〃
阿部哲郎	今治南高	〃
遠藤修三	朝倉高	〃
砂田正行	關學高	背泳
徳田誠一郎	加治木高	〃
石井文男	浮羽高	〃
久保田省三	濱北高	平泳
道吉晃	津山成美高	〃
細谷昌次	濱北高	〃

昨年より飛躍的に陣容強化を示して居る。尙明大附屬の高校へ次の3選手が轉校した。

香川義英	三次高	自由形	中野高へ
森文太郎	福岡高	〃	〃
中村學	松山東	背泳	明治高へ

立教大學

杉山祐二	平泳	米國外國保險、東京
中里茂	自由形	文部省、〃
正木利造	背泳	明正通商、〃

が卒業し

オ野讓	三つ田高	自由形
加藤齊	新居濱高	〃
徳島寅雄	修猷館	〃
金川英一	北海高	〃

の4選手が入學したが、他の學校に比するとさびしい

慶應大學 は卒業者

上杉猛	自由形	麒麟ビール、東京
赤樫卓爾	背泳	日本ペイクライト、〃
神原昭三	飛込	横河電機、〃
小谷敏二	水球	日本ビール、横濱
中稻一馬	〃	アサヒビール、東京

新入生は次の通りで人数は少いが優秀でこれも相當な強化を見せてゐる。

青山幸郎	成蹊高	自由形
高橋勝	三原高	〃
中西理雄	神戸高	〃
吉岡清吉	慶應高	〃
松岡信義	〃	〃
本宮壽之	〃	〃
木田雄三	磐城高	背泳
清水敏夫	慶應高	平泳
平井顯吉	〃	〃

中央大學 新入生

足立益男	濱西高	自由形
森口昇	敦賀高	〃
堤文人	大分一高	〃
小澤悌雄	金澤二水	背泳
小泉喜嗣	湘南高	平泳
竹内充	高田高	〃

法政大學 新入生

肥川正直	佐伯一高	自由形
鎗屋敦三	瀬戸田高	〃
田中勝夫	田邊高	〃
田中武則	御船高	〃
中島毅	日大三高	平泳

以上各大學とも主なる新入部員のみ記したのであるが中央大學は外に12名、法政大學は外に16名とゆう多數の新入部員を得て、シード校進出の機會をねらつてゐる。

これ等の新入學の選手はその年飛躍的に強くなるのが例であるし、日・早・明・慶各大學の實力が接近したので今年の日本學生大會は對校的にも又記録的にも面白い。(島田)

× × ×
× × ×

昭和26年度

各地競技會記録

第1回冬季東北選手権

1月14日、志戸平温泉プール(25米)公認、
気温-3.5° 水温30.5°、

東北の雪の降るときに行われた競技會で、最初のものであるだけに、コンディションがよいのか悪いのかは別として、時折山から吹きつける風を防ぎ得なかつたので、小雪まじりの風が吹きつけると気温は急速に下り-5°~6°になつたが、選手に聞けば泳いでいる分には差支えないとの事だつた。

男子

100米自由形

1 小水 哲夫	東北配電	1:09.6
2 五十市 茂三	福岡高	1:09.7
3 米谷 實	金足農高	1:09.7

400米自由形

1 木村 憲	花巻高OB	5:04.4
2 阿部 好二	宮野目中	5:48.8
3 山口 隆一	沼宮内高	5:51.2

100米背泳

1 加賀谷 耕三	金足農高	1:20.8
2 村井 良和	岩手高	1:21.8
3 赤石 徹	宮城水協	1:25.0

200米平泳

1 清水 石孝志	石巻高	3:05.5
2 中森 喜徳	宮古高	3:10.7
3 田松 久夫	秋田市高	3:14.4

女子

100米自由形

1 小川 勝子	盛岡市高	1:32.6
2 小野 幸子	秋田北高	1:40.5
3 熊谷 幸子	盛岡市高	1:53.2

400米自由形

1 管 郁子	盛岡市高	7:42.4
2 似鳥 明美	秋田市商	8:08.8

100米背泳

1 小林 加代子	秋田市商	1:55.3
2 村田 慶子	盛岡市高	1:55.7

200米平泳

1 鳥居 たつ子	盛岡市高	4:07.9
2 小野 久美子	秋田北高	4:26.4
3 佐藤 まり子	ク	4:48.5

第2回春季熊本選手権

4月1日水前寺プール(25米)未公認
気温14° 水温18°

本大會は田中、山本、丸山三君の外福岡・和歌山等より参加あり、非常な盛況でした。生憎小雨模様の悪天候でしたが、観衆の傘でプールの外側は埋まりました。

男子の部

50米自由形

1 丸山 茂幸	日大	28.0
2 山本 新吾	關大	28.1
3 中村 隆	熊短大	29.6

100米自由形

1 丸山 茂幸	日大	1:02.0
2 山本 新吾	關大	1:04.2
3 筒井 五百造	明善高	1:04.4

200米自由形

1 田中 寧夫	早大	2:20.0
2 青木 行義	鹿本高	2:24.2
3 森文 太郎	福岡高	2:25.6

400米自由形

1 青木 行義	鹿本高	5:11.4
2 増田 進	山鹿高	5:28.8
3 松山 茂	熊工	5:32.6

50米背泳

1 山本 速永	關學	32.4
2 生津 盛行	三瀨高	34.4
3 川野 英隆	熊商	35.0

100米背泳

1 山本 速水	關學	1:12.6
2 川野 英隆	熊商	1:15.4
3 生津 盛行	三瀨高	1:18.4

100米平泳

1 菊地 忠夫	九學オ	1:18.2
2 寺崎 博之	三瀨學	1:19.0
3 小西 文彦	伊都高	1:23.6

200米平泳

1 寺崎 源之	三瀨高オ	2:57.0
2 菊地 忠夫	九學	2:57.0
3 戸上 雅雄	三瀨學オ	3:07.6

女子の部

50米自由形

1 森下美奈子	尙綱高	35.2
2 村田 照子	市立高	38.2
3 益川 京子	筑紫中	40.0

100米自由形

1 田村美佐子	伊都宮	1:16.0
2 森下美奈子	尙綱高	1:17.4

200米自由形

1 田村美佐子	伊都高	2:49.6
2 柿原 歌子	熊一高	3:11.6

100米背泳

1 前原ともえ	筑紫高	1:34.2
2 柿原 歌子	熊一高	1:41.6

200米平泳

池松 博子	筑紫中	4:11.2
-------	-----	--------

安房第一高校記録會

6月9日、館山プール(50米)公認
気温20.5° 水温21.5°

6月3日より合宿練習を行い、9日終了につき公式記録會を開催した。當日、雨天悪コンディションなるも、伊東高校との對校競技を目の前に控えての試金石に、先輩の叱咤激勵あり、選手よく奮闘して好記録が生れた。

200米自由形

1 藤 平 公 夫	2:36.2
2 宇 山 正 治	2:46.4
3 磯 垣 幸 治	2:53.8

400米自由形

1 庄 司 政 雄	4:58.8
2 藤 平 公 夫	5:44.6
3 青 柳 武 志	5:48.0

800米自由形

1 庄 司 政 雄	10:14.6
2 青 柳 武 志	12:20.8

50米背泳

1 野 山 守	35.4
2 佐 藤 忠	36.6
3 増 田 京 一	41.4

100米背泳

1 野 山 守	1:18.2
2 佐 藤 忠	1:20.4
3 増 田 京 一	1:18.2

100米バタフライ

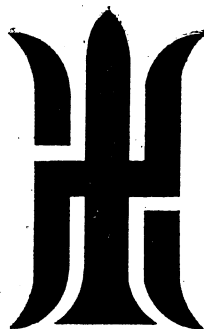
1 石 井 弘	1:20.4
---------	--------

200米バタフライ

1 石 井 弘	2:48.8
(ラツプ 38.0 1:21.0 2:04.6)	

昭和26年度

主要水上



競技會要項

目次

第2回全國勤勞者水上競技大會要項(中央大會).....	45
第2回全國勤勞者水上競技大會要項(都道府縣大會).....	46
昭和26年度日本選手權水上競技大會要項.....	46
東部・西部男子高等學校選手權水上競技大會要項.....	47
日本高等學校選手權水上競技大會要項.....	48
第6回國民體育大會水上競技大會要項.....	49

第2回全國勤勞者水上競技大會要項

◆ 中央大會

1. 主催 日本水泳連盟・厚生省
2. 期日 昭和26年8月4日(土)、5日(日)
3. 場所 長野縣野澤プール
4. 要項

(1) 競泳之部

1. 競技方法 職域對抗とする。
2. 參加資格 各都道府縣大會の成績第3位迄の團體及上記團體に所屬しない各種目第6位迄の入賞者(リレーを除く)、但し前年度第1位より第5位迄の團體が所屬する都道府縣は其の數だけ餘分に出場出来る。

3. 種目

(イ) 男子の部

男子一般

自由形	50米	100米	200米	400米
背泳	50米	100米		
平泳	100米	200米		
リレー	200米			
メドレーリレー	300米			

男子滿35歳以上

自由形	100米
背泳	100米
平泳	100米

(ロ) 女子之部

女子一般

自由形	50米	100米
背泳	50米	
平泳	100米	
メドレーリレー	150米	

4. 出場制限

(イ) 1團體(會社、工場、事業場、官廳等より)1種目2名以内(申込後出場者の變更を認めない)

(ロ) 1名2種目以内(但しリレーを除く)

(ハ) 個人出場者は各都道府縣大會の入賞種目に限る。

5. 採点 1等7点2等5点以下、6等迄4,3,2,1点として得点多い團體を優勝とする。(男子女子は別個に優勝を決定する)但し同点の場合はリレーの得点により尙同点の場合は優勝種目の多ものを優勝とする

(2) 飛込競技之部

1. 個人選手權とする。
2. 各加盟團體より自由に申込みことが出来る。
3. 種目

男子飛板飛込	規定1種(走前飛(伸)選抜4種(異群より))
高飛込	規定1種(種立前飛伸型10米)選抜4種(異群より)
女子飛板飛込	規定1種(走前飛伸型)

選択 3種(異群より)
 女子 高飛込 規定 1種(立前飛伸型10米)
 選択 3種(異群より)

(3) 水球競技之部

1. 東西 O・B 對抗
2. 東部選手は水連本部推薦による。
西部選手は水連關西支部推薦による。

(4) 申 込

(イ) 申込場所 正副2通を作成し都道府縣大會記録添付の上下記へ申込みこと。

- ① 長野市南縣町
信濃毎日新聞社内 野尻湖游泳協會
- ② 東京都千代田區神田駿河台 4ノ6
日本水泳連盟

(ロ) 申込締切 7月25日(水)必着のこと。

(5) 表 彰

優勝チームに優勝旗を授興する。

◆ 都 道 府 縣 大 會

1. 主 催 都道府縣、日本水泳連盟加盟團體
2. 期 日 各都道府縣毎に兩主催團體で協議決定する、但し7月22日迄に終了のこと
3. 場 所 各都道府縣毎に 兩主催團體で協議する。

4. 要 項

1. 競技方法 職域對抗とする。
2. 参加資格

(イ) 健康保險被保險者又は共済組合員(以下一括して被保險者と稱す)であること。但し當該被保險者として本年6月1日以前に資格を取得し現に被保險者であるものに限る。

(ロ) 日本水泳連盟 學生部會登録競技者を除く
 (ハ) 男子滿35歳以上の種目は(イ)(ロ)の該當者にして大正5年8月4日以前に生れた者に限る。

3. 種 目 男子一般

イ、男子自由形 50米 100米 200米 400米
 背 泳 50米 100米
 平 泳 100米 200米
 リレー 200米
 メドレーリレー 300米

男子滿 35 歳以上

自由形 100米
 背 泳 100米

平 泳 100米
 ロ、女子自由形 50米 100米
 背 泳 50米
 平 泳 100米
 メドレーリレー 150米

4. 出場制限

- イ、1 團體(會社、工場、事業場、官廳等より) 1種目 2名以内
- ロ、1名 2種目以内(但しリレーを除く)
- ハ、申込後出場者の變更を認めない。

5. 採 点

1等7点、2等5点、以下6等1点として得点多い團體を優勝とする。(男子、女子、別個に優勝を決定する)但し同点の場合はリレー得点による。尙同点の場合 優勝種目の多いものとする。

6. 本大會の上位3位迄の團體及び各種目6位迄の入賞者(リレーは除く)は全國大會に出場する資格を與える。

昭和26年度日本選手權
 水上競技大會要項

1. 期 日 昭和26年8月 10,11,12 日
2. 場 所 大阪扇町プール
3. 競技種目

1. 競 泳

男子	自由形	100米	200米	400米	1500米
	背 泳	50米	100米		
	平 泳	100米	200米		
女子	自由形	50米	100米	200米	400米
	背 泳	50米	100米		
	平 泳	100米	200米		

2. 飛込競技

男子飛板飛込

規定 6種 難易率合計 11.0以内各群より
 選択 6種 各群より

高 飛 込

規定 6種 難易率合計 11.0以内各群より
 選択 4種 異群より

女子飛板飛込

規定 5種 難易率合計 9.0 以内各群より
 選択 5種 各群より

高 飛 込

規定4種 難易率合計 7.0 以内各群より
選択2種 異群より

3. 水球競技

◎競泳、飛込、水球 總て日本水泳連盟競技規定に依り行ふ。

4. 参加申込規定

1. 申込資格者及申込方法

(イ) 前年度選手権保持者

直接本連盟宛前年度選手権保持種目に限り申込むことが出来る。但し、背泳は種目変更につき本年は兩種目に申込むことが出来る。

(ロ) 加盟団体本年度豫選通過者

加盟団体は必ず豫選會を行ふ義務がある。加盟団体豫選出場者中本項(イ)(ハ)該當者を除き競泳飛込は1種目につきAクラス加盟団体は6名迄、Bクラス加盟団体は3名迄、水球競技はAクラス加盟団体2チーム、Bクラス加盟団体1チーム迄加盟団体を通じて申込むことが出来る。

(ハ) 該當者以外で地方豫選會の記録が昭和25年度全日本競泳20傑表中第10位の記録以上の者に限り加盟団体の推薦を得て申込むことが出来る。

(ニ) 關東、關西春期學生水球大會上位2校、中部並西部學生水球大會優勝校關東O・B水球リーグ戦上位2チームは同大會の主管団体を通じて申込むことが出来る。

(ホ) 水球は1チーム監督1名、選手11名申込むこと。

2. 申込種目制限

競泳は1名2種目以内とする。

3. 申込場所

申込書2通を作成し地方豫選會の記録を添付の上下記宛1通づつ申込むこと。

① 大阪市北區絹笠町堂ビル5階

日本水泳連盟關西支部

② 東京都千代田區神田駿河台4ノ6

日本水泳連盟

4. 申込締切

7月31日正午必着のこと。

5. 前年度選手権保持者にして同種目に参加する者には地方在住者に限り往復汽車賃を支給する(但水球チームに對しては7名分とする)

6. 本大會の成績によりオリンピック代表候補選手を詮衡し發表する。

東部・西部男子高等學校 選手権水上競技大會要項

1. 期 日 8月18日19日

2. 場 所 東部 未定
西部 天理プール

3. 競技種目

1. 競泳 自由形 100米 200米 400米 1500米
背 泳 50米 100米
平 泳 100米 200米
(バタフライ何れの泳法に依るも可)
オーソドックス
リレー 200米 800米

2. 飛 込

飛板飛込

◇1米 規定5種 走前飛(伸) 後飛(伸) 走前逆飛(伸) 後踏切前飛(蝦) 走前飛半回捻(伸)

選択3種 異群より

◇3米 規定1種 走前飛蝦型

選択5種 各群より

3. 水球競技

4. 東部西部出場校區域區分

東部 福井、岐阜、愛知、三重の各縣を含む 南北の線以東の各縣

西部 京都、滋賀、奈良、和歌山の各縣を含む 北以西の各縣

5. 申込資格

1. 文部省認定の高等學校生徒にして昭和7年4月1日以降に生れた者に限る。尙第1學年を除き在學一年未滿の者は出場出来ない。

2. 競泳種目に於ては日本水泳連盟加盟団体主催の地方豫選會成績の上位2校と上記校に所屬しない各個人種目に於て決勝3位迄の入賞者(リレーは優勝チームのみ)は當該加盟団体の推薦を得て申込むことが出来る。

但し上位2校を除く各個人種目に出場するものは地方豫選會に於て出場したる種目に限る。

尙昨年度日本高等學校選手権水上競技大會に於て第1位より第10位迄を獲得したる學校の所屬

する加盟団体は 其の校数だけ余分に出場校を推薦することが出来る

3. 飛込競技は各加盟団体の推薦を得て 自由に申込むことが出来る。

4. 水球競技は地方豫選会に於ける 優勝校に出場の資格を興える。前年度 日本高校大会の準決勝に出場したる学校の 所屬する加盟団体は其の校数だけ余分に推薦することが出来る。

6. 申込金

参加者1名につき金50圓也(但 水球競技は1チーム金350圓とする)の割にて 申込書に添付し左記へ送ること。

東部

西部 奈良縣郡山町縣立郡山高等學校内
奈良縣水泳連盟

7. 選手権校決定法

得点(1等7点、2等5点、……6等1点、リレーも同じ)の最も多き學校を優勝とする。

得点同數なる場合は「リレー」による得点多きを上位とし、尙決定せざる時は 入賞者數多き學校を上位とする。但、「リレー」は4名として計算する。

8. 表彰

1. 入賞者を表彰する。
2. 東部、西部競泳水球優勝校は 日本高等學校選手権水上競技大会 東西優勝校爭覇戦へ参加する資格を興へる。
3. 各個人種目に於て成績優秀なるものは 本連盟に於て詮衡の上男子東西對抗戦へ 参加する資格を興へる。
4. 本大会上位5校の所屬する加盟団体は 來年度大会に其の校数だけ余分に 出場せしめられる。

9. 申込規定

1. 申込制限
1名1種目以内(但しリレーを除く)(申込後は出場者の變更を許さない)
1校1種目2名以内
水球競技は1校監督1名 選手11名申込むこと。
2. 申込場所
正副2通作製の上左記宛に送附の事。

① 東部(イ)

ク(ロ) 日本水泳連盟

東京都千代田區神田駿河台4ノ6

- ② 西部(イ) 奈良縣水泳連盟
奈良縣郡山町郡山高等學校内
ク(ロ) 日本水泳連盟關西支部
大阪市北區絹笠町堂ビル5階

③ 申込締切期日

8月9日 正午必着

第19回日本高等學校選手権 水上競技大會要項

1. 期 日 昭和26年8月下旬

2. 場 所 神宮プール

3. 實施要項

男子之部

1. 東西優勝校爭覇戦

A 競泳之部

種目	自由形	100米	200米	400米	1500米
	背泳	50米	100米		
	平泳	100米	200米		
	リレー	200米	800米		

出場制限 1種目3名以内

参加資格 東部、西部男子高等學校選手権水上競技大会に於て優勝せる高校(但し1校監督1名を含め15名以内)

採点法 1等3点、2等2点 3等1点として得点多きものを優勝とする。同点の場合はリレーの得点による。尙同点の場合は 入賞者多き方を優勝とする。

B 水球之部

東部・西部優勝せる高校(但し1校監督1名 選手11名以内)

2. 東西對抗戦

A 競泳種目

自由形	100米	200米	400米	1500米
背泳	50米	100米		
平泳	100米	200米		
リレー	200米	800米		

出場制限 1種目3名以内、1名2種目以内(リレーを除く)

参加資格 東部、西部 男子高校選手権水上競技大会に於て 成績優秀にて本連盟より詮衡せられたる 東部西部各18名以内の者

採点法 1等3点、2等2点、3等1点として得点
多きものを優勝とする。同点の場合
はリレーの得点による。尚同点の場
合は入賞者多き方を優勝とする。

B 飛込競技

種目

1. 1米飛板飛込 規定飛5種
①走前飛(伸) ②後飛(伸) ③走前逆飛(伸)
④後踏切前飛(蝦) ⑤走前飛半回捻り(伸)

選択飛3種異群より

2. 3米飛板飛込 規定飛1種、走前飛蝦型
選択飛5種各群より

出場制限 1種目3名以内

参加資格 東部、西部 男子高校選手権水上競技
大会で各種目3等までの入賞者。

採点法 1等7点、2等5点、3等4点、4等3点、
5等2点、6等1点として合計得点の多
い方を優勝とする。

女子之部

1. 競技種目

A競泳	自由形	50米	100米	200米	400米
	背泳	50米	100米		
	平泳	100米	200米		
	リレー		400米		
	メドレーリレー		300米		

B飛込

1米飛板飛込

規定5種 走前飛(伸)、後飛(伸)、走前
逆飛(伸)、後踏切前飛(蝦)、
走前飛半回捻り(伸)

選択3種 (異群より)

3米飛板飛込

規定1種 (走前飛蝦型)

選択5種 (異群より)

2. 申込資格

A 文部省認定の高校生徒にして昭和7年4
月1日以降に生れた者に限る。尚第1學年
を除き在學1年未滿の者は出場出来ない。

B 競泳種目に於ては日本水泳連盟加盟団体
主催の地方豫選会成績上位1校と上記校に
所属しない各個人種目に於て決勝3位迄の
入賞者(リレーは優勝チームのみ)を當該
加盟団体の推薦を経て申込むことが出来る
但し上位1校を除く各個人種目に種場する

ものは地方豫選会に於て出場したる種目に
限る。

尚昨年度日本高校選手権大会に於て第1位
より第10位迄を獲得したる學校の所屬する
加盟団体はその校数だけ餘分に出場校を推
薦する事が出来る。

C 飛込競技は加盟団体を通じて自由に申込
むことが出来る。

3. 選手権校決定法

得点(1等7点、2等5点、……6等1点、
リレーも同じ)の最も多き學校を優勝とする
得点同数なる場合は「リレー」による得点多き
學校を上位とし、尚決定せざる時は入賞者多き
學校を上位とする。但し「リレー」は4名とし
て計算する。尚飛込競技は個人選手権とする

4. 申込規定

A 出場制限

1名2種目以内(リレーを除く)

1校1種目2名以内

B 女子申込は8月18日正午迄必着にて日本
水泳連盟宛申込むこと。

5. 申込金

参加者1名につき金50圓也の割にて申込書に
添付の事

第6回國民体育大會 水上競技大會要項

1. 期 日 昭和26年9月21日—24日

2. 場 所 吳市營プール

3. 實施要項

◇男子之部

1. 競 泳

(イ) 高等學校府縣對抗

種目	自 由 形	100米	400米
	背 泳	100米	
	平 泳	200米	
	リレー	800米	
	メドレーリレー	300米	

出場制限

1府縣1種目2名以内、1名2種目以内、(リ
レーを除く)

文部省認定の高等學校生徒にして昭和7年4

月1日以降に生れた者に限る。
採点法 1等7点、2等5点、……6等1点とす。
得点多き府縣を優勝とする。得点同数なる時はリレーの順位による。

(ロ) 實業團府縣對抗

種目	自由形	100米	400米
	背泳	100米	
	平泳	200米	
	リレー	200米	
	メドレーリレー	300米	

出場制限 1府縣1種目2名以内、1名2種目以内

(リレーを除く)

採点法 (イ)に同じ。

(ハ) 教員 文部省認定の學校)府縣對抗

種目	自由形	100米	400米
	背泳	100米	
	平泳	200米	
	メドレーリレー	300米	

出場制限 1府縣1種目1名、1名2種目以内、勤勞者大會(地方、中央)大會共に出場したるものは其の資格に於てのみ参加出来る。

採点法 (イ)に同じ。

(ニ) 青年團府縣對抗

種目	自由形	100米	400米
	背泳	100米	
	平泳	200米	
	メドレーリレー	300米	

出場制限

参加資格を有するものは「大正15年4月1日」以降に生れたる(満25歳以内)男子青年団員にして本年4月1日以降同一市町村内に住居し嘗て専門學校或は大學の選手でなかつた者、又は現在學生生徒でなく、本大會の青年團競技以外に参加しないものに限る。特に全國勤勞者大會、中央、地方大會に出場したるものは本競技には出場出来ない。

出場制限

1府縣6名以内、1府縣1種目1名、1名2種目以内(但しリレーを除く)

採点法 (イ)に同じ。

(ホ) 社会人、學生、高校3部對抗

種目	自由形	100米	200米	400米
		800米		
	背泳	50米	100米	
	平泳	100米	200米	
	リレー	200米		
	メドレーリレー	300米		

出場制限 各種目3名以内、1名2種目迄(リレーを除く)選手は水泳連盟本部の推薦による。

採点法 1等7点、2等5点、3等4点、4等3点、5等2点、6等1点とし、得点多きものを優勝とする

2. 飛込

(イ) 3地域對抗(東部西部中部)

種目	飛板飛込	規定飛1種	走前飛伸型
		選択飛4種	異群より
	高飛込	規定飛1種	立前飛伸型 10米
		選択飛4種	異群より

出場制限 1地域1種目2名以内

採点法 1等7点、2等5点、……6等1点とし得点の多い地域を優勝とする。

(ロ) 3部對抗(社会人、學生、高校)

種目	飛板飛込	規定飛なし
		選択飛4種 異群より
	高飛込	規定飛なし
		選択飛5種 異群より

出場資格 水泳連盟本部推薦に依り定むる。

採点法 1等7点、2等5点、……6等1点とし合計得点の多い方を優勝とする。

3. 水球

(イ) 學生OB對抗

學生OB選手は水泳連盟本部推薦による。

(ロ) 全東西對抗

全東部選手は水泳連盟本部推薦による。

全西部選手は水泳連盟關西支部推薦による。

(ハ) 日本學生水球選手権—學生部会の推薦による。

◇女子之部

1. 競泳

(イ) 一般府縣對抗(學生も含む)

種目	自由形	100米	400米
	背泳	100米	
	平泳	200米	
	リレー	400米	
	メドレーリレー	300米	

出場制限 1府縣1種目2名以内、1名2種目迄(リレーを除く)

採点法 男子(イ)と同様

2. 飛込

3 地域對抗(東部、中部、西部)

種目	飛板飛込	規定飛なし、	選択飛3種
	高飛込	規定飛なし、	選択飛3種

出場制限 得点法は男子3地域對抗と同じ

4. 綜合優勝の決定 各府縣對抗競技種目の累計總得点の最も多き府縣を優勝とし、以下順に第8位迄の府縣を決定する。

5. 申込規定

(イ) 申込書2通を作製し左記へ1通宛送附すること。

① 東京都千代田區神田駿河台4ノ6
日本水泳連盟

② 廣島市霞町廣島縣庁内第6回國民体育大會廣島縣準備事務局 水泳演技係

(ロ) 申込締切日 昭和26年9月5日(木)到着迄とする。

(ハ) 申込後出場者の變更を認めない。

昭和26年度夏季男子高校・中學校 競泳選手合宿練習会要項

ヘルシンキ・オリンピック大會に備へて 高校並に
中學選手育成強化の爲め、次の要項で 夏季合宿練習
を実施する。

1. 期 日 自昭和26年7月29日(日)
至 " 8月12日(日)
2. 場 所 奈良縣 天理プール
3. 集 合 日時-昭和26年7月29日午後6時
場所-奈良縣丹波市町 天理プール
4. 指 導 員 日本水泳連盟最高技術指導委員
委員長 清川正二(背泳担当)
委 員 小池禮三(平泳")
" 遊佐正憲(自、短")
" 牧野正藏(自、長")
" 原 秀夫(マネージャー)
兼トレーナー)
5. 参加選手 A. 昭和26年7月現在に於て 高校又は中
學校に在學せる 選手にして 日本水泳連盟
本部より推薦せる下記選手。

自由形

鈴木 弘(日大三高) 後藤 暢(浮羽高)
谷 訥(早 高) 堂崎 治好(瀬戸田高)
庄司 義弘(安房一高) 浅野 滿(中京商高)
川口 友平(伊 東 高) 粕谷 保(安房一高)
石橋 明(傳習館) 横田 宜明(傳習館)
香川 義英(中野高)

平 泳

梶川 孝義(早 高) 田中 守(丹原高)

背 泳

倉橋 範彦(濱西高) 大久保憲二(逗子開成)
黒佐 清(佐伯一高) 近藤久仁正(中京商高)
關川 重久(早 高) 和氣 壽彦(慶 高)

B. 本年度公式競技会又は公式記録会に於て 次の
標準記録を突破し、該大会の統轄加盟団体よ
り推薦せられ水連本部より承認せられた選手

標準記録

	50米プールの 場合	25米プールの 場合
自由形	100米 62.8	61.2
	200米 2:19.8	2:16.6
	400米 4:58.0	4:52.4
	800米 10:30.0	10:17.2
	1500米 20:00.0	19:37.6
背 泳	50米 33.0	32.6
	100米 1:11.8	1:13.6
平 泳	100米 1:15.0	1:13.0
	200米 2:49.8	2:45.0

6. 持 参 品 健康診断書、筆記用具、水褌、タオル、
トレーニングシャツ及パンツ、運動靴、
寝巻、白米3升。
7. 費 用 往復3等汽車賃(含普通急行券)學割使用
分及び宿泊料は本連盟に於て負担する。
8. 合宿開始直ちに練習を開始し、8月10,11,12日大阪プ
ールに於て行われる日本選手権水上競技大会には全
員参加出場する。

外國女子水泳選手の來朝は昭和12年カザリン・ロール
ス以來14年間全くなかつたが、今度ハワイからテルマ・カ
ラマ嬢とエザアリン・河本嬢が日本選手権水上競技大会
に参加することに決定した。

此の2嬢はハワイのみならず
全米を代表する實力のある選

手でテルマカラマ嬢は自由形に強く、ロンドンのオリ
ンピックでは400米リレーを泳ぎ、その後主として400米で
活躍している。

ハワイ女子選手來朝

又河本嬢は平泳の選手で個人メドレーにも極めて優秀
な記録を出している。

此の2選手の來朝は男子陣に比べて不振の女子陣を啓發
するものとして大に期待され
ている。

尙附添には河本嬢の母堂が

見えることになっている。

一行は大阪の選手権大会終了後、東京で行われる日本
高校大会に出場の豫定である。

連 盟 日 誌

- | | |
|--|---|
| <p>1月1日(月) 冬期競泳選抜選手合宿練習會 第4日目
(東大室内プール・YMCA)</p> <p>7日(日) 同上合宿練習會終る</p> <p>12日(金) 石原田コーチ送別會(銀座松むら)</p> <p>16日(火) 競泳委員會・水球委員會</p> <p>18日(木) 常務理事会・關東學生總務委員會</p> <p>22日(月) 財務委員會(丸ビル精養軒)</p> <p>24日(水) 普及委員會・飛込委員會
「水泳」89號發行</p> <p>25日(木) 理事会</p> <p>27日(土) 日本學生代表委員會</p> <p>28日(日) 代議員會(丸ビル 精養軒)</p> <p>2月1日(木) 理事会</p> <p>6日(土) 山本禎氏歡迎會</p> <p>8日(木) 石原田コーチ ウルガイへ出發
常務理事会 飛込委員會
水球委員會 女子クラブの會</p> <p>15日(木) 理事会</p> <p>17日(土) 日本泳法研究会(伊東プール)</p> <p>18日(日) 〃
眞本コーチ プラゲルへ出發</p> <p>22日(木) 常務理事会 飛込委員會
女子クラブの會</p> <p>24日(木) オリピック コーチ會合(朝日)</p> <p>28日(日) 競泳委員會</p> <p>3月1日(木) 理事会</p> <p>8日(木) 常務理事会・飛込委員會
學生水球委員會</p> <p>15日(木) 理事会・學生總務委員會</p> <p>22日(木) 競泳委員會・飛込委員會</p> <p>31日(土) 松澤評議員歡迎會兼常務理事会</p> | <p>4月2日(月) 「水泳」90號發行</p> <p>5日(木) 理事会</p> <p>11日(水) ロサンゼルス和田勇氏夫妻來朝</p> <p>12日(木) 常務理事会・飛込委員會
水球委員會</p> <p>19日(木) 理事会</p> <p>24日(火) 春期競泳選抜選手合宿練習會始る
(東大室内プール YMCA)</p> <p>26日(木) 常務理事会・飛込委員會
水球委員會・映画會</p> <p>5月2日(水) 勤勞者大会打合會(松むら)</p> <p>3日(木) 合宿練習會終る
公式記録會(東大室内プール)</p> <p>4日(金) 水球・飛込合同練習會始る(東大プール)</p> <p>10日(木) 水球・飛込合同練習會終る
理事会・飛込委員會</p> <p>12日(土) 東部國公立大会打合會
映画會</p> <p>15日(火) 東部醫齒藥打合會</p> <p>17日(木) 常務理事会・水球委員會</p> <p>18日(金) 普及部委員會</p> <p>22日(火) 勤勞者大会要項全國發送</p> <p>23日(水) 普及部委員會</p> <p>24日(木) 理事会・飛込委員會
學生水球委員會</p> <p>26日(土) 水泳指導者檢定規則 全國發送</p> <p>28日(月) 和田氏招宴</p> <p>31日(木) 常務理事会
主要競技會要項・競技會報告用紙
飛込規則、水球規則解説全國發送</p> |
|--|---|

オリンピック参加が愈々決定、何としても 15 年振のこととて誠に喜ばしき限りです。本

あとがき
號はその意味で田畑會長にお願いをし、又顧問の杉本さんに女子競泳とオリンピックについ

ての寄稿を頂きました。松澤さんからはアジア大會の興味ある土産話を頂戴しました。かく

て本年も恒例の早慶と三大學でシーズンが始まつたわけですが開幕早々新人の活躍目ざましく、今後の日本選

手權・日本高校・日本學生が大に待たれるわけです。次號はこれら的大會を中心にまとめるつもりで、9月下旬に發行したいと思つて

います。各位の協力をお願いする次第です。尙本號のカットは新穂栄藏氏の作であることをつけ加えておきます。(宍道)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日本水泳連盟 機關雜誌</p> <hr/> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">水 泳</p> <hr/> <p>第 91 號</p> </div>	<p>昭和 26 年 7 月 10 日 印刷 昭和 26 年 7 月 16 日 發行</p> <p style="text-align: center;">日 本 水 泳 連 盟</p> <p>發行人 藤 田 明 編輯人 宍 道 洋 一 印刷所 株 式 會 社 成 島 印 刷 所 東京都中央区日本橋本石町3ノ4</p>	<p style="text-align: center;">定價 50 圓 年 4 回發行豫定 4 回分 ¥ 200.00</p> <p style="text-align: center;">豫約申込者に限り領布す (1年前金豫約は郵送料不要)</p> <p style="text-align: center;">東京都千代田區神田駿河台4ノ6 岸記念体育會館内 日 本 水 泳 連 盟 電話神田 (25) 3106 番</p>
--	--	---

目次に戻る

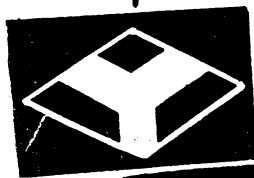


水泳も



自転車も

足が大切!



ヨコハマ
自転車用・リヤカ用
タイヤ

横濱護謨製造株式会社